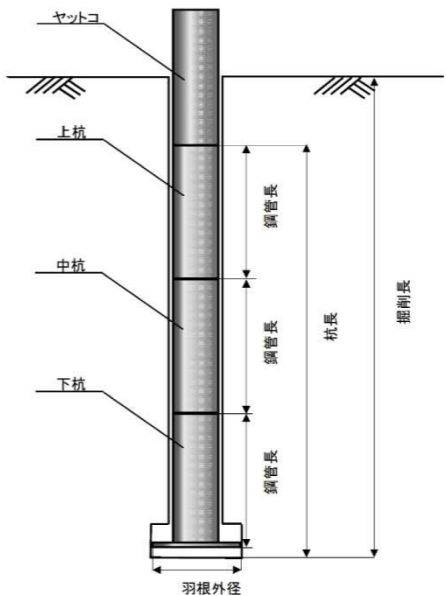
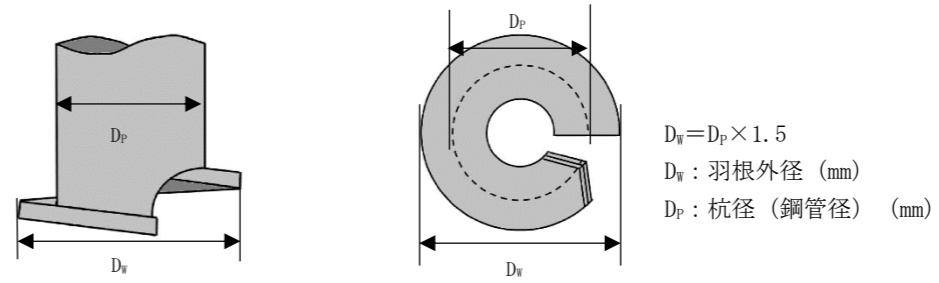
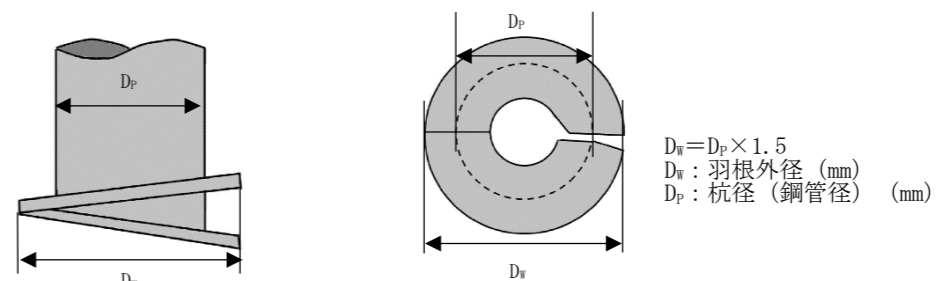


土木工事標準歩掛の改定
回転杭工

工種名	現行	改定	摘要
回転杭工		<p>① 鋼管・既製コンクリート杭打工</p> <p>①-4 回転杭工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、杭径800～1,200mmの胴体回転方式にて施工される掘削長48m以下の羽根外径が杭径の1.5倍である回転杭（開口タイプ、開端タイプ）に適用する。</p> <p>なお、以下の条件は適用範囲外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼管長が7m未満の杭 ・斜杭  <p>図1-1 施工図</p>  <p>図1-2 羽根の概要図（開口タイプ）</p> <p>$D_w = D_p \times 1.5$ D_w : 羽根外径 (mm) D_p : 杭径 (鋼管径) (mm)</p>  <p>図1-3 羽根の概要図（開端タイプ）</p> <p>$D_w = D_p \times 1.5$ D_w : 羽根外径 (mm) D_p : 杭径 (鋼管径) (mm)</p>	

土木工事標準歩掛の改定
回転杭工

現行基準のページ	現行	改定	摘要
回転杭工		<p>2. 施工概要</p> <p>回転杭工は、先端部に羽根を有する鋼管杭に全回転型オールケーシング掘削機（回転杭用）（回転貫入機）により回転力を付与して、地中に貫入させる工法である。施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph TD A[搬入] --> B[機械組立] B --> C[芯出し] C --> D[回転貫入機移動据付] D --> E[杭吊込・芯出し] E --> F[杭打作業 (回転貫入)] F --> G{継杭の有無} G -- 有 --> H[杭建込] H --> I[杭継作業] I --> J[杭打作業 (回転貫入)] J --> K[ヤットコ建込] K --> L[回転貫入め] L --> M[ヤットコ引抜] M --> N[穴埋め・整地作業] N --> O[杭頭処理部の掘削] O --> P[杭頭処理] P --> Q[機械解体] Q --> R[機械搬出] S[杭回転用カラー 取付け・取外し(注)2] -.-> E S -.-> F G -- 無 --> K G -- 有 --> J J -.-> T[継数分繰り返し] T -.-> J M -.-> U[施工本数分繰り返し] U -.-> D </pre> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 開端タイプを採用する場合</p>	

図2-1 施工フロー

土木工事標準歩掛の改定
回転杭工

現行基準 のページ	現行	改定	摘要																																										
回転杭工		<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" data-bbox="1555 338 2552 722"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回 転 貫 入</td> <td>全回転型 オールケーシング 掘削機 (回転杭 用)</td> <td>ケーシングドライバ (スキッド 式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径2,000mm 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>回転貫入機移動 据付, 杭建込, ヤットコ建込</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭回転用カラー 取付け・取外し</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 1 (注) 2</td> </tr> <tr> <td>穴 埋 め ・ 整 地 作 業</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ,クローラクレーン (4.9 t 吊) は、賃料とする。 2. 開端タイプを採用する場合は、クローラクレーン (4.9 t 吊) を計上する。 3. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>4. 日 当 り 編 成 人 員 日 当 り 編 成 人 員 は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 編 成 人 員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="1605 972 2502 1075"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>と び 工</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> <th>溶 接 工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>編 成 人 員</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2 (1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭径800mmの場合は、() 内の数値を計上する。 2. 継杭を施工しない場合は、溶接工は計上しない。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	回 転 貫 入	全回転型 オールケーシング 掘削機 (回転杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド 式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径2,000mm 排出ガス対策型 (第3次基準値)	台	1		回転貫入機移動 据付, 杭建込, ヤットコ建込	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	〃	1		杭回転用カラー 取付け・取外し	クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	〃	1	(注) 1 (注) 2	穴 埋 め ・ 整 地 作 業	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	1	(注) 1	職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工	編 成 人 員	1	1	1	1	2 (1)	
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																								
回 転 貫 入	全回転型 オールケーシング 掘削機 (回転杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド 式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径2,000mm 排出ガス対策型 (第3次基準値)	台	1																																									
回転貫入機移動 据付, 杭建込, ヤットコ建込	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	〃	1																																									
杭回転用カラー 取付け・取外し	クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準値)	〃	1	(注) 1 (注) 2																																								
穴 埋 め ・ 整 地 作 業	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	1	(注) 1																																								
職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工																																								
編 成 人 員	1	1	1	1	2 (1)																																								

土木工事標準歩掛の改定
回転杭工

現行基準 のページ	現行	改定	摘要																																													
回転杭工		<p>5. 施工歩掛</p> <p>5-1 杭10本当りの施工日数(T_d)</p> <p>杭10本当りの施工日数T_dは、次式による。</p> $T_d = \alpha \times \beta \times T_a$ <p>α : 土質係数 β : 板厚係数 T_a : 杭径別施工日数 (日/10本) (ヤットコの有無にかかわらず使用できるものとする。)</p> <p>(1) 土質係数 (α)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 土質係数 (α)</p> <table border="1" data-bbox="1718 709 2386 789"> <thead> <tr> <th>N 値の範囲</th> <th>20未満</th> <th>20以上40未満</th> <th>40以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土質係数</td> <td>1.00</td> <td>1.20</td> <td>1.51</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N 値は掘削層の加重平均とする。</p> <p>(2) 板厚係数 (β)</p> <p style="text-align: center;">表5.2 板厚係数 (β)</p> <table border="1" data-bbox="1718 961 2386 1041"> <thead> <tr> <th>最小板厚</th> <th>12mm</th> <th>14mm</th> <th>16mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>板厚係数</td> <td>1.00</td> <td>1.08</td> <td>1.16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 板厚の異なる継杭の場合は、最小板厚の板厚係数とする。</p> <p>(3) 杭径別施工日数 (T_a)</p> <p style="text-align: center;">表5.3 杭径別施工日数 (T_a) (日/10本)</p> <table border="1" data-bbox="1555 1218 2549 1509"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削長 (m)</th> <th colspan="5">杭径</th> </tr> <tr> <th>800mm</th> <th>900mm</th> <th>1,000mm</th> <th>1,100mm</th> <th>1,200mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>5.57</td> <td>5.77</td> <td>6.05</td> <td>6.33</td> <td>6.61</td> </tr> <tr> <td>16mを超え 32m以下</td> <td>10.11</td> <td>10.67</td> <td>11.37</td> <td>12.07</td> <td>12.77</td> </tr> <tr> <td>32mを超え 48m以下</td> <td>14.65</td> <td>15.56</td> <td>16.68</td> <td>17.81</td> <td>18.94</td> </tr> </tbody> </table>	N 値の範囲	20未満	20以上40未満	40以上	土質係数	1.00	1.20	1.51	最小板厚	12mm	14mm	16mm	板厚係数	1.00	1.08	1.16	掘削長 (m)	杭径					800mm	900mm	1,000mm	1,100mm	1,200mm	16m以下	5.57	5.77	6.05	6.33	6.61	16mを超え 32m以下	10.11	10.67	11.37	12.07	12.77	32mを超え 48m以下	14.65	15.56	16.68	17.81	18.94	
N 値の範囲	20未満	20以上40未満	40以上																																													
土質係数	1.00	1.20	1.51																																													
最小板厚	12mm	14mm	16mm																																													
板厚係数	1.00	1.08	1.16																																													
掘削長 (m)	杭径																																															
	800mm	900mm	1,000mm	1,100mm	1,200mm																																											
16m以下	5.57	5.77	6.05	6.33	6.61																																											
16mを超え 32m以下	10.11	10.67	11.37	12.07	12.77																																											
32mを超え 48m以下	14.65	15.56	16.68	17.81	18.94																																											

土木工事標準歩掛の改定
回転杭工

現行基準 のページ	現行	改定	摘要																																																														
回転杭工		<p>5-2 諸雑費</p> <p>回転杭工の諸雑費は、鋼管吊具、カウンタウェイト、回転反力装置、ヤットコ、チャックプレート、定規鉄板、施工管理装置、溶接機の損料、溶接ワイヤー及び銅バンドの材料費、足場材（敷鉄板）の賃料及び設置・撤去・移設、電力に関する経費等の費用であり、労務費、運転経費及び機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、ヤットコの有無にかかわらず、本諸雑費率を適用できる。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </table> <p>6. 単価表</p> <p>(1) 杭10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×T_d</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×T_d</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×T_d</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×T_d</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2 (1) ×T_d</td> <td>表4.1 (注) 2</td> </tr> <tr> <td>回 転 貫 入 機 運 転</td> <td>ケーシングドライバ（スキップ式・ディーゼル/油圧駆動） 最大掘削径 2,000mm 排出ガス対策型（第3次基準値）</td> <td>日</td> <td>T_d</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 100 t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>機械賃料 (注) 3</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運 転</td> <td>標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T_d: 杭10本当り施工日数（日/10本） 2. 鋼管杭径800mmの場合は、() 内の数値を計上する。 3. 開端タイプを採用する場合は、クローラクレーン（4.9 t吊）を計上する。</p>	諸 雑 費 率	7	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×T _d	表4.1	と び 工		〃	1×T _d	〃	特 殊 作 業 員		〃	1×T _d	〃	普 通 作 業 員		〃	1×T _d	〃	溶 接 工		〃	2 (1) ×T _d	表4.1 (注) 2	回 転 貫 入 機 運 転	ケーシングドライバ（スキップ式・ディーゼル/油圧駆動） 最大掘削径 2,000mm 排出ガス対策型（第3次基準値）	日	T _d	機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 100 t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	〃	T _d	機械損料	クローラクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	〃	T _d	機械賃料 (注) 3	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	T _d	機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					
諸 雑 費 率	7																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																													
土 木 一 般 世 話 役		人	1×T _d	表4.1																																																													
と び 工		〃	1×T _d	〃																																																													
特 殊 作 業 員		〃	1×T _d	〃																																																													
普 通 作 業 員		〃	1×T _d	〃																																																													
溶 接 工		〃	2 (1) ×T _d	表4.1 (注) 2																																																													
回 転 貫 入 機 運 転	ケーシングドライバ（スキップ式・ディーゼル/油圧駆動） 最大掘削径 2,000mm 排出ガス対策型（第3次基準値）	日	T _d	機械損料																																																													
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 100 t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	〃	T _d	機械損料																																																													
クローラクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	〃	T _d	機械賃料 (注) 3																																																													
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運 転	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	T _d	機械賃料																																																													
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																													
計																																																																	

土木工事標準歩掛の改定
回転杭工

現行基準 のページ	現行	改定	摘要																				
回転杭工		<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)</td> <td>ケーシングドライバ (スキッド 式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 174 機械損料数量→ 1.48</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準 値)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 94 機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準 値)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.18 燃料消費量→ 2.1 機械賃料数量→ 1.64</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 11 機械賃料数量→ 1.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 開端タイプを採用する場合は、クローラクレーン (4.9 t 吊) を計上する。</p>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド 式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 174 機械損料数量→ 1.48	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準 値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 94 機械損料数量→ 1.51	クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準 値)	機-28	運転労務数量→0.18 燃料消費量→ 2.1 機械賃料数量→ 1.64	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-28	運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 11 機械賃料数量→ 1.59	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																				
全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機 (回 転 杭 用)	ケーシングドライバ (スキッド 式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径2,000mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 174 機械損料数量→ 1.48																				
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準 値)	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 94 機械損料数量→ 1.51																				
クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型 (第3次基準 値)	機-28	運転労務数量→0.18 燃料消費量→ 2.1 機械賃料数量→ 1.64																				
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-28	運転労務数量→ 0.28 燃料消費量→ 11 機械賃料数量→ 1.59																				

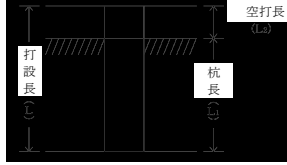
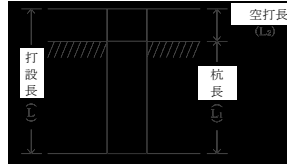
土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用
スラリー攪拌工(変位低減型)	<p style="text-align: center;">⑤ 軟弱地盤処理工</p> <p style="text-align: center;">⑤-1 スラリー攪拌工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行うセメント及び石灰によるスラリー攪拌工の陸上施工に適用する。 ただし、変位低減型(排土式)を除く。 なお、杭径及び打設長は以下のとおりとする。</p> <p>(1) 単軸施工：打設長3mを超え10m以下 杭径 800mm～1,200mm, 2,000mm (2) 単軸施工：打設長10mを超え30m以下 杭径1,000mm～1,600mm (3) 二軸施工：打設長3mを超え40m以下 杭径1,000mm</p> <p>また、単軸施工、二軸施工の選定にあたっては、下記条件等を考慮する。</p> <p>(1) 杭の配列 (2) 作業面積及び施工箇所のトラフィカビリティ</p> <p>2. 施工概要</p> <p>2-1 施工内容 スラリー攪拌工は、地盤中にセメント及び石灰系固化材をスラリー状(セメントミルク又はモルタル)で圧送・注入し、攪拌翼で原地盤と攪拌・混合することにより均一な混合処理改良体(コラム)を造成する工法である。</p> <p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. スラリプラントの現場内移設は必要に応じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	<p style="text-align: center;">⑤ 軟弱地盤処理工</p> <p style="text-align: center;">⑤-1 スラリー攪拌工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行うセメント及び石灰によるスラリー攪拌工の陸上施工に適用する。 ただし、変位低減型(排土式)のうち複合噴射攪拌式は除くものとする。 なお、杭径及び打設長は以下のとおりとする。</p> <p>(1) 単軸施工：打設長3mを超え10m以下 杭径 800mm～1,200mm, 2,000mm (2) 単軸施工：打設長10mを超え30m以下 杭径1,000mm～1,600mm (3) 二軸施工：打設長3mを超え40m以下 杭径1,000mm (4) 二軸施工(変位低減型)：打設長3mを超え40m以下 杭径1,000mm (5) 二軸施工(変位低減型)：打設長3mを超え36m以下 杭径1,600mm</p> <p>また、単軸施工、二軸施工の選定にあたっては、下記条件等を考慮する。</p> <p>(1) 杭の配列 (2) 作業面積及び施工箇所のトラフィカビリティ</p> <p>2. 施工概要</p> <p>2-1 施工内容 スラリー攪拌工は、地盤中にセメント及び石灰系固化材をスラリー状(セメントミルク又はモルタル)で圧送・注入し、攪拌翼で原地盤と攪拌・混合することにより均一な混合処理改良体(コラム)を造成する工法である。 変位低減型(排土式)は、周辺地盤や近接構造物に影響を与える恐れがある場合に適用する。</p> <p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. スラリプラントの現場内移設は必要に応じて計上する。 3. スラリー吐出は、工法及び施工管理方法により、貫入攪拌時または引抜攪拌時に行う。 4. 変位低減型の場合に、排出土処理作業を計上する。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																																																	
スラリー攪拌工(変位低減型)	<p>3. 機種 の 選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機械名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">単 軸 施 工</th> <th colspan="3">二 軸 施 工</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th>φ800mm~ φ1,200mm</th> <th>φ1,000mm~ φ1,600mm</th> <th>φ2,000mm</th> <th colspan="3">φ1,000mm</th> </tr> <tr> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 10mを超え 30m以下</th> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th> <th>打設長(L) 20mを超え 40m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">深層混合 処理機 (スラリー式)</td> <td>単軸式・小型地盤改良機 27.4kN・m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>単軸式 90~110kW×1</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>1_{※1}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>単軸式 90kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 45kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 55~60kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 90kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1_{※2}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スラリプラント (全自動)</td> <td>能力10m³/h</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>能力20m³/h</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリーンコンベア、セメントサイロ、水槽、ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。 3. ※の機種については、リーダー長は以下のとおりとする。 ※1 打設長が10mを超え20m以下の場合24m、打設長が20mを超え30m以下の場合33mとなる。 ※2 打設長が20mを超え30m以下の場合40m、打設長が30mを超え40m以下の場合50mとなる。</p>	機械名	規 格	単 位	単 軸 施 工			二 軸 施 工			摘 要	φ800mm~ φ1,200mm	φ1,000mm~ φ1,600mm	φ2,000mm	φ1,000mm			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 40m以下	深層混合 処理機 (スラリー式)	単軸式・小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—	—	単軸式 90~110kW×1	#	—	1 _{※1}	—	—	—	—	—	単軸式 90kW×2	#	—	—	1	—	—	—	—	二軸式 45kW×2	#	—	—	—	1	—	—	—	二軸式 55~60kW×2	#	—	—	—	—	1	—	—	二軸式 90kW×2	#	—	—	—	—	—	1 _{※2}	—	スラリプラント (全自動)	能力10m ³ /h	基	1	—	—	—	—	—	—	能力20m ³ /h	#	—	1	1	1	1	1	—	<p>3. 機種 の 選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機械名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">単 軸 施 工</th> <th colspan="3">二 軸 施 工</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th>φ800mm~ φ1,200mm</th> <th>φ1,000mm~ φ1,600mm</th> <th>φ2,000mm</th> <th colspan="3">φ1,000mm</th> </tr> <tr> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 10mを超え 30m以下</th> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th> <th>打設長(L) 20mを超え 40m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">深層混合 処理機 (スラリー式)</td> <td>単軸式・小型地盤改良機 27.4kN・m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>単軸式 90~110kW×1</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>1_{※1}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>単軸式 90kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 45kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 55~60kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 90kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1_{※2}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スラリプラント (全自動)</td> <td>能力10m³/h</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>能力20m³/h</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリーンコンベア、セメントサイロ、水槽、ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。 3. ※の機種については、リーダー長は以下のとおりとする。 ※1 打設長が10mを超え20m以下の場合24m、打設長が20mを超え30m以下の場合33mとなる。 ※2 打設長が20mを超え30m以下の場合40m、打設長が30mを超え40m以下の場合50mとなる。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 機種 の 選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機械名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="4">φ1,000mm</th> </tr> <tr> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th> <th>打設長(L) 20mを超え 30m以下</th> <th>打設長(L) 30mを超え 40m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">深層混合 処理機 (スラリー式)</td> <td>二軸式 45kW×2</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 55~60kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 75~90kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>二軸式 90kW×2</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力20m³/h</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリーンコンベア、セメントサイロ、水槽、ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。</p>	機械名	規 格	単 位	単 軸 施 工			二 軸 施 工			摘 要	φ800mm~ φ1,200mm	φ1,000mm~ φ1,600mm	φ2,000mm	φ1,000mm			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 40m以下	深層混合 処理機 (スラリー式)	単軸式・小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—	—	単軸式 90~110kW×1	#	—	1 _{※1}	—	—	—	—	—	単軸式 90kW×2	#	—	—	1	—	—	—	—	二軸式 45kW×2	#	—	—	—	1	—	—	—	二軸式 55~60kW×2	#	—	—	—	—	1	—	—	二軸式 90kW×2	#	—	—	—	—	—	1 _{※2}	—	スラリプラント (全自動)	能力10m ³ /h	基	1	—	—	—	—	—	—	能力20m ³ /h	#	—	1	1	1	1	1	—	機械名	規 格	単 位	二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)				摘 要	φ1,000mm				打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 30m以下	打設長(L) 30mを超え 40m以下	深層混合 処理機 (スラリー式)	二軸式 45kW×2	台	1	—	—	—	—	二軸式 55~60kW×2	#	—	1	—	—	二軸式 75~90kW×2	#	—	—	1	—	二軸式 90kW×2	#	—	—	—	1	スラリプラント (全自動)	能力20m ³ /h	基	1	1	1	1	
	機械名				規 格	単 位	単 軸 施 工			二 軸 施 工			摘 要																																																																																																																																																																																																																																							
φ800mm~ φ1,200mm							φ1,000mm~ φ1,600mm	φ2,000mm	φ1,000mm																																																																																																																																																																																																																																											
打設長(L) 3mを超え 10m以下		打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下			打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 40m以下																																																																																																																																																																																																																																												
深層混合 処理機 (スラリー式)	単軸式・小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	単軸式 90~110kW×1	#	—	1 _{※1}	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	単軸式 90kW×2	#	—	—	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	二軸式 45kW×2	#	—	—	—	1	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	二軸式 55~60kW×2	#	—	—	—	—	1	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
二軸式 90kW×2	#	—	—	—	—	—	1 _{※2}	—																																																																																																																																																																																																																																												
スラリプラント (全自動)	能力10m ³ /h	基	1	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	能力20m ³ /h	#	—	1	1	1	1	1	—																																																																																																																																																																																																																																											
機械名	規 格	単 位	単 軸 施 工			二 軸 施 工			摘 要																																																																																																																																																																																																																																											
			φ800mm~ φ1,200mm	φ1,000mm~ φ1,600mm	φ2,000mm	φ1,000mm																																																																																																																																																																																																																																														
			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 40m以下																																																																																																																																																																																																																																												
深層混合 処理機 (スラリー式)	単軸式・小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	単軸式 90~110kW×1	#	—	1 _{※1}	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	単軸式 90kW×2	#	—	—	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	二軸式 45kW×2	#	—	—	—	1	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	二軸式 55~60kW×2	#	—	—	—	—	1	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
二軸式 90kW×2	#	—	—	—	—	—	1 _{※2}	—																																																																																																																																																																																																																																												
スラリプラント (全自動)	能力10m ³ /h	基	1	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																											
	能力20m ³ /h	#	—	1	1	1	1	1	—																																																																																																																																																																																																																																											
機械名	規 格	単 位	二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)				摘 要																																																																																																																																																																																																																																													
			φ1,000mm																																																																																																																																																																																																																																																	
			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 30m以下	打設長(L) 30mを超え 40m以下																																																																																																																																																																																																																																														
深層混合 処理機 (スラリー式)	二軸式 45kW×2	台	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																													
	二軸式 55~60kW×2	#	—	1	—	—																																																																																																																																																																																																																																														
	二軸式 75~90kW×2	#	—	—	1	—																																																																																																																																																																																																																																														
	二軸式 90kW×2	#	—	—	—	1																																																																																																																																																																																																																																														
スラリプラント (全自動)	能力20m ³ /h	基	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																														

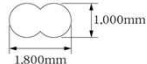
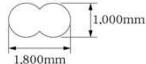
土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																													
スラリー攪拌工(変位低減型)	<div style="text-align: center;">  <p>図3-1 施工図</p> </div> <p>4. 編 成 人 員 スラリー攪拌工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>表4.1 日当り編成人員 (人)</caption> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単軸施工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(注) 1. 編成人員には、スラリプラントの管理運転労務を含む。 2. 深層混合処理機の運転労務歩掛は、「第2編1章一般事項①建設機械運転労務」による。</p>	工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	単軸施工	1	2	1	<div style="text-align: center;"> <p>表3.3 機種種の選定</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="4">二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="4">φ1,600mm</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th> <th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th> <th>打設長(L) 20mを超え 26m以下</th> <th>打設長(L) 26mを超え 36m以下</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td>二軸式、90kW×2 最大施工深度10m</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二軸式、90kW×2 最大施工深度20m</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二軸式、90kW×2 最大施工深度26m</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二軸式、90kW×2 最大施工深度36m</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力40m³/h</td> <td>基</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクレーコンベア、セメントサイロ、水槽、ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図3-1 施工図</p> </div> <p>4. 編 成 人 員 スラリー攪拌工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>表4.1 日当り編成人員 (人)</caption> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単軸施工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>二軸施工 (変位低減型)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(注) 1. 編成人員には、スラリプラントの管理運転労務を含む。 2. 深層混合処理機の運転労務歩掛は、「第2編1章一般事項①建設機械運転労務」による。</p> </div>	機械名	規 格	単 位	二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)				摘 要	φ1,600mm							打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 26m以下	打設長(L) 26mを超え 36m以下		深層混合処理機 (スラリー式)	二軸式、90kW×2 最大施工深度10m	台	1	-	-	-		二軸式、90kW×2 最大施工深度20m	#	-	1	-	-		二軸式、90kW×2 最大施工深度26m	#	-	-	1	-		二軸式、90kW×2 最大施工深度36m	#	-	-	-	1		スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	基	1	1	1	1		工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	単軸施工	1	2	1	二軸施工 (変位低減型)	1	3	1	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>参考資料 P27～28</p> </div>
工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																													
単軸施工	1	2	1																																																																													
機械名	規 格	単 位	二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)				摘 要																																																																									
			φ1,600mm																																																																													
			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 26m以下	打設長(L) 26mを超え 36m以下																																																																										
深層混合処理機 (スラリー式)	二軸式、90kW×2 最大施工深度10m	台	1	-	-	-																																																																										
	二軸式、90kW×2 最大施工深度20m	#	-	1	-	-																																																																										
	二軸式、90kW×2 最大施工深度26m	#	-	-	1	-																																																																										
	二軸式、90kW×2 最大施工深度36m	#	-	-	-	1																																																																										
スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	基	1	1	1	1																																																																										
工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																													
単軸施工	1	2	1																																																																													
二軸施工 (変位低減型)	1	3	1																																																																													

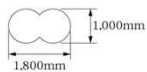
土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																				
スラリー攪拌工(変位低減型)	<p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭施工本数 1日当り杭施工本数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単 軸 施 工 (杭径φ800mm~φ1,200mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>21</td></tr> <tr><td>4m以上 5m未満</td><td>18</td></tr> <tr><td>5m以上 6m未満</td><td>15</td></tr> <tr><td>6m以上 7m未満</td><td>14</td></tr> <tr><td>7m以上 8m未満</td><td>12</td></tr> <tr><td>8m以上 9m未満</td><td>11</td></tr> <tr><td>9m以上 10m以下</td><td>10</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.2 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単 軸 施 工 (杭径φ1,000mm~φ1,600mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10mを超え 12m未満</td><td>7</td></tr> <tr><td>12m以上 14m未満</td><td>6</td></tr> <tr><td>14m以上 19m未満</td><td>5</td></tr> <tr><td>19m以上 25m未満</td><td>4</td></tr> <tr><td>25m以上 30m以下</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.3 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単 軸 施 工 (杭径φ2,000mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>10</td></tr> <tr><td>4m以上 5m未満</td><td>9</td></tr> <tr><td>5m以上 6m未満</td><td>8</td></tr> <tr><td>6m以上 7m未満</td><td>7</td></tr> <tr><td>7m以上 9m未満</td><td>6</td></tr> <tr><td>9m以上 10m以下</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動(敷鉄板の設置・撤去含む)、位置決め、貫入、攪拌、繰り返し、引抜きまでの一連の作業のものである。 2. 現場内移設に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立を別途計上する。 3. スラブリャントの現場内移設は、「5-4 スラブリャント現場内移設歩掛」により別途計上する。 4. 攪拌翼の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、「5-5 その他」(1)により別途計上する。 5. 軸の継足しがある場合は、別途計上する。 6. 安定処理工が必要な場合は、別途計上する。</p>	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ800mm~φ1,200mm)	3mを超え 4m未満	21	4m以上 5m未満	18	5m以上 6m未満	15	6m以上 7m未満	14	7m以上 8m未満	12	8m以上 9m未満	11	9m以上 10m以下	10	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ1,000mm~φ1,600mm)	10mを超え 12m未満	7	12m以上 14m未満	6	14m以上 19m未満	5	19m以上 25m未満	4	25m以上 30m以下	3	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ2,000mm)	3mを超え 4m未満	10	4m以上 5m未満	9	5m以上 6m未満	8	6m以上 7m未満	7	7m以上 9m未満	6	9m以上 10m以下	5	<p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭施工本数 1日当り杭施工本数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単 軸 施 工 (杭径φ800mm~φ1,200mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>21</td></tr> <tr><td>4m以上 5m未満</td><td>18</td></tr> <tr><td>5m以上 6m未満</td><td>15</td></tr> <tr><td>6m以上 7m未満</td><td>14</td></tr> <tr><td>7m以上 8m未満</td><td>12</td></tr> <tr><td>8m以上 9m未満</td><td>11</td></tr> <tr><td>9m以上 10m以下</td><td>10</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.2 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単 軸 施 工 (杭径φ1,000mm~φ1,600mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10mを超え 12m未満</td><td>7</td></tr> <tr><td>12m以上 14m未満</td><td>6</td></tr> <tr><td>14m以上 19m未満</td><td>5</td></tr> <tr><td>19m以上 25m未満</td><td>4</td></tr> <tr><td>25m以上 30m以下</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.3 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>単 軸 施 工 (杭径φ2,000mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>10</td></tr> <tr><td>4m以上 5m未満</td><td>9</td></tr> <tr><td>5m以上 6m未満</td><td>8</td></tr> <tr><td>6m以上 7m未満</td><td>7</td></tr> <tr><td>7m以上 9m未満</td><td>6</td></tr> <tr><td>9m以上 10m以下</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動(敷鉄板の設置・撤去含む)、位置決め、貫入、攪拌、繰り返し、引抜きまでの一連の作業のものである。 2. 現場内移設に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立を別途計上する。 3. スラブリャントの現場内移設は、「5-4 スラブリャント現場内移設歩掛」により別途計上する。 4. 攪拌翼の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、「5-5 その他」(1)により別途計上する。 5. 軸の継足しがある場合は、別途計上する。 6. 安定処理工が必要な場合は、別途計上する。</p>	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ800mm~φ1,200mm)	3mを超え 4m未満	21	4m以上 5m未満	18	5m以上 6m未満	15	6m以上 7m未満	14	7m以上 8m未満	12	8m以上 9m未満	11	9m以上 10m以下	10	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ1,000mm~φ1,600mm)	10mを超え 12m未満	7	12m以上 14m未満	6	14m以上 19m未満	5	19m以上 25m未満	4	25m以上 30m以下	3	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ2,000mm)	3mを超え 4m未満	10	4m以上 5m未満	9	5m以上 6m未満	8	6m以上 7m未満	7	7m以上 9m未満	6	9m以上 10m以下	5	
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ800mm~φ1,200mm)																																																																																						
3mを超え 4m未満	21																																																																																						
4m以上 5m未満	18																																																																																						
5m以上 6m未満	15																																																																																						
6m以上 7m未満	14																																																																																						
7m以上 8m未満	12																																																																																						
8m以上 9m未満	11																																																																																						
9m以上 10m以下	10																																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ1,000mm~φ1,600mm)																																																																																						
10mを超え 12m未満	7																																																																																						
12m以上 14m未満	6																																																																																						
14m以上 19m未満	5																																																																																						
19m以上 25m未満	4																																																																																						
25m以上 30m以下	3																																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ2,000mm)																																																																																						
3mを超え 4m未満	10																																																																																						
4m以上 5m未満	9																																																																																						
5m以上 6m未満	8																																																																																						
6m以上 7m未満	7																																																																																						
7m以上 9m未満	6																																																																																						
9m以上 10m以下	5																																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ800mm~φ1,200mm)																																																																																						
3mを超え 4m未満	21																																																																																						
4m以上 5m未満	18																																																																																						
5m以上 6m未満	15																																																																																						
6m以上 7m未満	14																																																																																						
7m以上 8m未満	12																																																																																						
8m以上 9m未満	11																																																																																						
9m以上 10m以下	10																																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ1,000mm~φ1,600mm)																																																																																						
10mを超え 12m未満	7																																																																																						
12m以上 14m未満	6																																																																																						
14m以上 19m未満	5																																																																																						
19m以上 25m未満	4																																																																																						
25m以上 30m以下	3																																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径φ2,000mm)																																																																																						
3mを超え 4m未満	10																																																																																						
4m以上 5m未満	9																																																																																						
5m以上 6m未満	8																																																																																						
6m以上 7m未満	7																																																																																						
7m以上 9m未満	6																																																																																						
9m以上 10m以下	5																																																																																						

土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																																																				
スラリー攪拌工(変位低減型)	<p style="text-align: center;">表5.4 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>二 輪 施 工 (杭径φ1,000mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>14</td></tr> <tr><td>4m以上 5m未満</td><td>13</td></tr> <tr><td>5m以上 6m未満</td><td>12</td></tr> <tr><td>6m以上 7m未満</td><td>11</td></tr> <tr><td>7m以上 9m未満</td><td>10</td></tr> <tr><td>9m以上 10m未満</td><td>9</td></tr> <tr><td>10m以上 12m未満</td><td>8</td></tr> <tr><td>12m以上 15m未満</td><td>7</td></tr> <tr><td>15m以上 18m未満</td><td>6</td></tr> <tr><td>18m以上 22m未満</td><td>5</td></tr> <tr><td>22m以上 30m未満</td><td>4</td></tr> <tr><td>30m以上 40m以下</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動(敷設板の設置・撤去含む)、位置決め、貫入、覆砕、繰り返し、引抜きまでの一連の作業のものである。 2. 現場内移動に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立費を別途計上する。 3. スラリアプラントの現場内移動は、「6-4 スラリアプラント現場内移動歩掛」により別途計上する。 4. 覆砕機の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、「6-5 その他」(1)により別途計上する。 5. 軸の磨足しがある場合は、別途計上する。 6. 安定処理工が必要な場合は、別途計上する。 7. 二輪施工の改良断面図は、下図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図5-1 改良断面図</p> </div>	打設長 L (m)	二 輪 施 工 (杭径φ1,000mm)	3mを超え 4m未満	14	4m以上 5m未満	13	5m以上 6m未満	12	6m以上 7m未満	11	7m以上 9m未満	10	9m以上 10m未満	9	10m以上 12m未満	8	12m以上 15m未満	7	15m以上 18m未満	6	18m以上 22m未満	5	22m以上 30m未満	4	30m以上 40m以下	3	<p style="text-align: center;">表5.4 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>二 輪 施 工 (杭径φ1,000mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>14</td></tr> <tr><td>4m以上 5m未満</td><td>13</td></tr> <tr><td>5m以上 6m未満</td><td>12</td></tr> <tr><td>6m以上 7m未満</td><td>11</td></tr> <tr><td>7m以上 9m未満</td><td>10</td></tr> <tr><td>9m以上 10m未満</td><td>9</td></tr> <tr><td>10m以上 12m未満</td><td>8</td></tr> <tr><td>12m以上 15m未満</td><td>7</td></tr> <tr><td>15m以上 18m未満</td><td>6</td></tr> <tr><td>18m以上 22m未満</td><td>5</td></tr> <tr><td>22m以上 30m未満</td><td>4</td></tr> <tr><td>30m以上 40m以下</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動(敷設板の設置・撤去含む)、位置決め、貫入、覆砕、繰り返し、引抜きまでの一連の作業のものである。 2. 現場内移動に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立費を別途計上する。 3. スラリアプラントの現場内移動は、「6-4 スラリアプラント現場内移動歩掛」により別途計上する。 4. 覆砕機の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、「6-5 その他」(1)により別途計上する。 5. 軸の磨足しがある場合は、別途計上する。 6. 安定処理工が必要な場合は、別途計上する。 7. 二輪施工の改良断面図は、下図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図5-1 改良断面図</p> </div>	打設長 L (m)	二 輪 施 工 (杭径φ1,000mm)	3mを超え 4m未満	14	4m以上 5m未満	13	5m以上 6m未満	12	6m以上 7m未満	11	7m以上 9m未満	10	9m以上 10m未満	9	10m以上 12m未満	8	12m以上 15m未満	7	15m以上 18m未満	6	18m以上 22m未満	5	22m以上 30m未満	4	30m以上 40m以下	3	
打設長 L (m)	二 輪 施 工 (杭径φ1,000mm)																																																						
3mを超え 4m未満	14																																																						
4m以上 5m未満	13																																																						
5m以上 6m未満	12																																																						
6m以上 7m未満	11																																																						
7m以上 9m未満	10																																																						
9m以上 10m未満	9																																																						
10m以上 12m未満	8																																																						
12m以上 15m未満	7																																																						
15m以上 18m未満	6																																																						
18m以上 22m未満	5																																																						
22m以上 30m未満	4																																																						
30m以上 40m以下	3																																																						
打設長 L (m)	二 輪 施 工 (杭径φ1,000mm)																																																						
3mを超え 4m未満	14																																																						
4m以上 5m未満	13																																																						
5m以上 6m未満	12																																																						
6m以上 7m未満	11																																																						
7m以上 9m未満	10																																																						
9m以上 10m未満	9																																																						
10m以上 12m未満	8																																																						
12m以上 15m未満	7																																																						
15m以上 18m未満	6																																																						
18m以上 22m未満	5																																																						
22m以上 30m未満	4																																																						
30m以上 40m以下	3																																																						

土木工事標準歩掛の改定
スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																								
スラリー攪拌工(変位低減型)		<p style="text-align: center;">表5.5 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>打設長 L (m)</th> <th>二軸施工(変位低減型) (板径φ1,000mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを超え 3.5m未満</td><td>12</td></tr> <tr><td>3.5m以上 4.5m未満</td><td>11</td></tr> <tr><td>4.5m以上 5.5m未満</td><td>10</td></tr> <tr><td>5.5m以上 7m未満</td><td>9</td></tr> <tr><td>7m以上 9m未満</td><td>8</td></tr> <tr><td>9m以上 11m未満</td><td>7</td></tr> <tr><td>11m以上 14m未満</td><td>6</td></tr> <tr><td>14m以上 19m未満</td><td>5</td></tr> <tr><td>19m以上 26m未満</td><td>4</td></tr> <tr><td>26m以上 39m未満</td><td>3</td></tr> <tr><td>39m以上 40m以下</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動(敷鉄板の設置・撤去含む)、位置決め、貫入、攪拌、抜き返し、引抜きまでの一連の作業のものである。また、掘削土処理作業を含む。</p> <p>2. 現場内移動に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、別途分解・組立費を別途計上する。</p> <p>3. スラリープラントの現場内移動は、「5-4 スラリープラント現場内移動歩掛」により別途計上する。</p> <p>4. 攪拌風の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、「5-5 その他」〔1〕により別途計上する。</p> <p>5. 軸の摩耗しがある場合は、別途計上する。</p> <p>6. 安定処理が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>7. 二軸施工の改良断面図は下図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図5-2 改良断面図</p> </div>	打設長 L (m)	二軸施工(変位低減型) (板径φ1,000mm)	3mを超え 3.5m未満	12	3.5m以上 4.5m未満	11	4.5m以上 5.5m未満	10	5.5m以上 7m未満	9	7m以上 9m未満	8	9m以上 11m未満	7	11m以上 14m未満	6	14m以上 19m未満	5	19m以上 26m未満	4	26m以上 39m未満	3	39m以上 40m以下	2	
打設長 L (m)	二軸施工(変位低減型) (板径φ1,000mm)																										
3mを超え 3.5m未満	12																										
3.5m以上 4.5m未満	11																										
4.5m以上 5.5m未満	10																										
5.5m以上 7m未満	9																										
7m以上 9m未満	8																										
9m以上 11m未満	7																										
11m以上 14m未満	6																										
14m以上 19m未満	5																										
19m以上 26m未満	4																										
26m以上 39m未満	3																										
39m以上 40m以下	2																										

土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																																											
スラリー攪拌工(変位低減型)	<p>5-2 改良材使用量 改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。なお、使用量は次式による。 $V = v \times L_1 \times (1 + K)$……………式5.1 V : 1本当り改良材使用量 (t/本) v : 杭長1m当り改良材使用量 (t/m) L₁: 杭 長 (m) K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5.5 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロ</td> <td style="text-align: center;">ス</td> <td style="text-align: center;">率</td> <td style="text-align: center;">+0.1</td> </tr> </table>	ロ	ス	率	+0.1	<p style="text-align: center;">表5.6 1日当り杭施工本数(N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">打設長 L (m)</th> <th colspan="2">二軸施工(変位低減型) (杭径φ1,600mm)</th> </tr> <tr> <th>ラップ式</th> <th>杭式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3mを越え 4m未満</td><td style="text-align: center;">11</td><td style="text-align: center;">22</td></tr> <tr><td>4m以上 5m未満</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">20</td></tr> <tr><td>5m以上 6m未満</td><td style="text-align: center;">9</td><td style="text-align: center;">18</td></tr> <tr><td>6m以上 7m未満</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">16</td></tr> <tr><td>7m以上 9m未満</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">14</td></tr> <tr><td>9m以上 11.5m未満</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">12</td></tr> <tr><td>11.5m以上 15m未満</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">10</td></tr> <tr><td>15m以上 20.5m未満</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">8</td></tr> <tr><td>20.5m以上 30m未満</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td>30m以上 36m以下</td><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数は杭間の移動(敷設板の設置・撤去含む)、位置決め、貫入、撥弁、絞り直し、引抜きまでの一連の作業のものである。また、掘削土処理作業を含む。 2. 現場内移動に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、別途分解・組立費を別途計上する。 3. スラリアラントの現場内移動は、「5-4 スラリアラント現場内移動歩掛」により別途計上する。 4. 攪拌機の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、「5-6 その他」(1)により別途計上する。 5. 軸の磨足しがある場合は、別途計上する。 6. 安定処理工が必要な場合は、別途計上する。 7. 二軸施工の改良断面図は下図を標準とする。 8. 杭式は、2本同時施工とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>ラップ式 杭式</p> <p style="text-align: center;">図5-3 改良断面図</p> </div> <p>5-2 改良材使用量 改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。なお、使用量は次式による。 $V = v \times L_1 \times (1 + K)$……………式5.1 V : 1本当り改良材使用量 (t/本) v : 杭長1m当り改良材使用量 (t/m) L₁: 杭 長 (m) K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5.7 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロ</td> <td style="text-align: center;">ス</td> <td style="text-align: center;">率</td> <td style="text-align: center;">+0.1</td> </tr> </table>	打設長 L (m)	二軸施工(変位低減型) (杭径φ1,600mm)		ラップ式	杭式	3mを越え 4m未満	11	22	4m以上 5m未満	10	20	5m以上 6m未満	9	18	6m以上 7m未満	8	16	7m以上 9m未満	7	14	9m以上 11.5m未満	6	12	11.5m以上 15m未満	5	10	15m以上 20.5m未満	4	8	20.5m以上 30m未満	3	6	30m以上 36m以下	2	4	ロ	ス	率	+0.1	
ロ	ス	率	+0.1																																											
打設長 L (m)	二軸施工(変位低減型) (杭径φ1,600mm)																																													
	ラップ式	杭式																																												
3mを越え 4m未満	11	22																																												
4m以上 5m未満	10	20																																												
5m以上 6m未満	9	18																																												
6m以上 7m未満	8	16																																												
7m以上 9m未満	7	14																																												
9m以上 11.5m未満	6	12																																												
11.5m以上 15m未満	5	10																																												
15m以上 20.5m未満	4	8																																												
20.5m以上 30m未満	3	6																																												
30m以上 36m以下	2	4																																												
ロ	ス	率	+0.1																																											

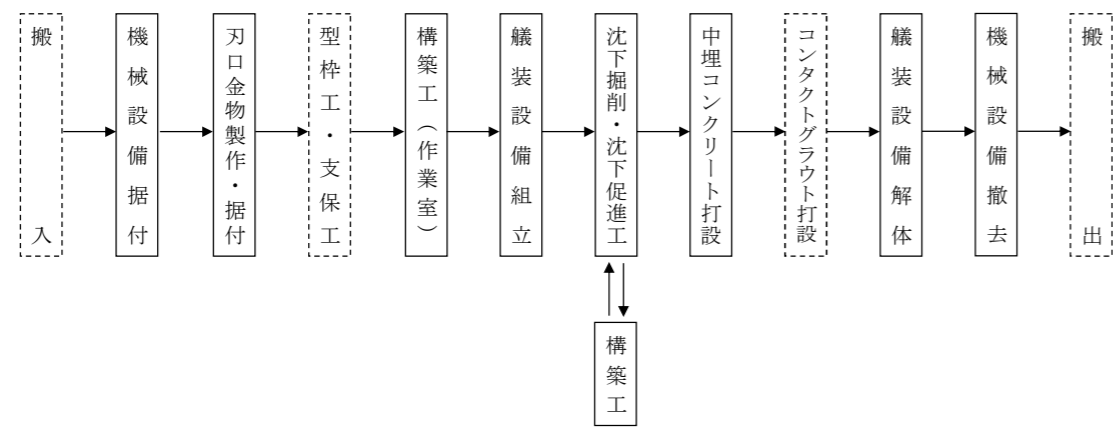
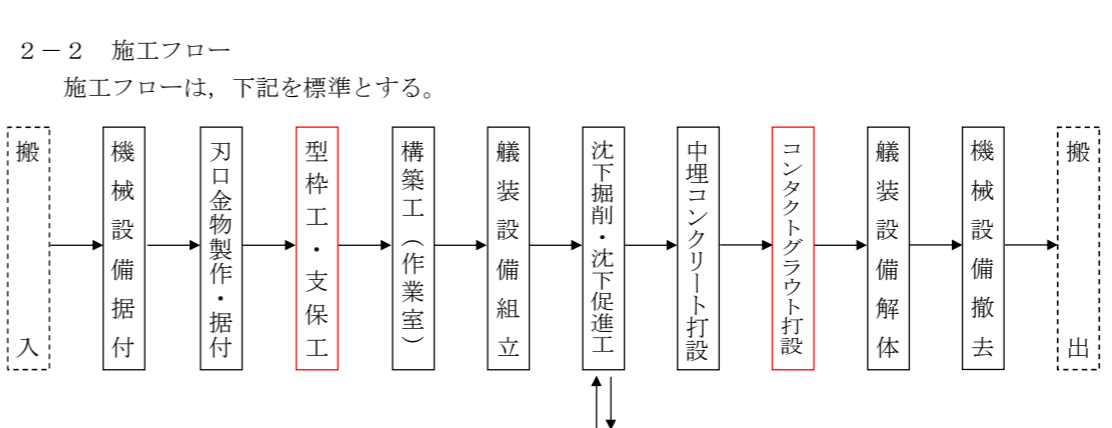
土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																	
スラリー攪拌工(変位低減型)	<p>5-3 諸雑費 諸雑費は、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、改良後の整地に要する費用、電力に関する経費等であり労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>打 設 長 (L)</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単 軸 施 工 杭径φ800mm~φ1,200mm</td> <td>3mを超え10m以下</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>単 軸 施 工 杭径φ1,000mm~φ1,600mm</td> <td>10mを超え30m以下</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>単 軸 施 工 杭径φ2,000mm</td> <td>3mを超え10m以下</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>二 軸 施 工 杭径φ1,000mm</td> <td>3mを超え40m以下</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 スラブリアント現場内移設歩掛 スラブリアントを中心に半径約100mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、スラブリアントを移設しなければならない場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.7 スラブリアント現場内移設歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>単軸施工</th> <th>単軸施工</th> <th>単軸施工</th> <th>二軸施工</th> </tr> <tr> <th>φ800mm~φ1,200mm</th> <th>φ1,000mm~φ1,600mm</th> <th>φ2,000mm</th> <th>φ1,000mm</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>打設長(L) 3mを超え10m以下</th> <th>打設長(L) 10mを超え30m以下</th> <th>打設長(L) 3mを超え10m以下</th> <th>打設長(L) 3mを超え40m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">2.9</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.4</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊</td> <td>日</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移設するスラブリアントはスクリーコンベア、セメントサイロ、水槽、ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ、スラブリアント制御盤及び発動発電機とする。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>5-5 その他 (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第5編1章土工②土工」による。 1) 表層安定処理等を行った地盤 2) 表層に転石等が多い地盤 3) 表層に障害物等のある地盤 (2) 汚泥土の処理が必要な場合は、別途計上する。 (3) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。 (4) スラリー攪拌工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。</p>	工 法	打 設 長 (L)	諸 雑 費 率	単 軸 施 工 杭径φ800mm~φ1,200mm	3mを超え10m以下	21	単 軸 施 工 杭径φ1,000mm~φ1,600mm	10mを超え30m以下	20	単 軸 施 工 杭径φ2,000mm	3mを超え10m以下	31	二 軸 施 工 杭径φ1,000mm	3mを超え40m以下	26	名 称	規 格	単 位	単軸施工	単軸施工	単軸施工	二軸施工	φ800mm~φ1,200mm	φ1,000mm~φ1,600mm	φ2,000mm	φ1,000mm				打設長(L) 3mを超え10m以下	打設長(L) 10mを超え30m以下	打設長(L) 3mを超え10m以下	打設長(L) 3mを超え40m以下	土木一般世話役		人	1.0				特殊作業員		人	2.9				普通作業員		人	1.4				ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日	1.4				<p>5-3 諸雑費 諸雑費は、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、改良後の整地に要する費用、電力に関する経費等であり労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、変位低減型の場合は、諸雑費率に排土・排出土処理(現場内仮置き)に関する費用を含む。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>杭 径</th> <th>打設長 L (m)</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">単 軸 施 工</td> <td>φ800mm~φ1,200mm</td> <td>3mを超え10m以下</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>φ1,000mm~φ1,600mm</td> <td>10mを超え30m以下</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>φ2,000mm</td> <td>3mを超え10m以下</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>二 軸 施 工</td> <td>φ1,000mm</td> <td>3mを超え40m以下</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二 軸 施 工 (変位低減型)</td> <td>φ1,000mm</td> <td>3mを超え40m以下</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>φ1,600mm</td> <td>3mを超え36m以下</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 スラブリアント現場内移設歩掛 スラブリアントを中心に施工位置が半径約100mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上ある等、スラブリアントを移設しなければならない場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 スラブリアント現場内移設歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>単軸施工</th> <th>二軸施工(変位低減型)</th> </tr> <tr> <th>φ800mm~φ1,200mm</th> <th>φ1,000mm~φ1,600mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">2.9</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1.4</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移設するスラブリアントはスクリーコンベア、セメントサイロ、水槽、ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ、スラブリアント制御盤及び発動発電機とする。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>5-5 その他 (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第5編1章土工②土工」による。 1) 表層安定処理等を行った地盤 2) 表層に転石等が多い地盤 3) 表層に障害物等のある地盤 (2) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (3) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。 (4) スラリー攪拌工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。</p>	工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率	単 軸 施 工	φ800mm~φ1,200mm	3mを超え10m以下	21	φ1,000mm~φ1,600mm	10mを超え30m以下	20	φ2,000mm	3mを超え10m以下	31	二 軸 施 工	φ1,000mm	3mを超え40m以下	26	二 軸 施 工 (変位低減型)	φ1,000mm	3mを超え40m以下	27	φ1,600mm	3mを超え36m以下	33	名 称	規 格	単 位	単軸施工	二軸施工(変位低減型)	φ800mm~φ1,200mm	φ1,000mm~φ1,600mm	土木一般世話役		人	1.0		特殊作業員		人	2.9		普通作業員		人	1.4		ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日	1.4		
工 法	打 設 長 (L)	諸 雑 費 率																																																																																																																		
単 軸 施 工 杭径φ800mm~φ1,200mm	3mを超え10m以下	21																																																																																																																		
単 軸 施 工 杭径φ1,000mm~φ1,600mm	10mを超え30m以下	20																																																																																																																		
単 軸 施 工 杭径φ2,000mm	3mを超え10m以下	31																																																																																																																		
二 軸 施 工 杭径φ1,000mm	3mを超え40m以下	26																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	単軸施工	単軸施工	単軸施工	二軸施工																																																																																																														
			φ800mm~φ1,200mm	φ1,000mm~φ1,600mm	φ2,000mm	φ1,000mm																																																																																																														
			打設長(L) 3mを超え10m以下	打設長(L) 10mを超え30m以下	打設長(L) 3mを超え10m以下	打設長(L) 3mを超え40m以下																																																																																																														
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																	
特殊作業員		人	2.9																																																																																																																	
普通作業員		人	1.4																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日	1.4																																																																																																																	
工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率																																																																																																																	
単 軸 施 工	φ800mm~φ1,200mm	3mを超え10m以下	21																																																																																																																	
	φ1,000mm~φ1,600mm	10mを超え30m以下	20																																																																																																																	
	φ2,000mm	3mを超え10m以下	31																																																																																																																	
二 軸 施 工	φ1,000mm	3mを超え40m以下	26																																																																																																																	
二 軸 施 工 (変位低減型)	φ1,000mm	3mを超え40m以下	27																																																																																																																	
	φ1,600mm	3mを超え36m以下	33																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	単軸施工	二軸施工(変位低減型)																																																																																																																
			φ800mm~φ1,200mm	φ1,000mm~φ1,600mm																																																																																																																
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																	
特殊作業員		人	2.9																																																																																																																	
普通作業員		人	1.4																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)25t吊	日	1.4																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の改定 スラリー攪拌工(変位低減型)

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																									
スラリー攪拌工(変位低減型)	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) スラリー攪拌工杭長○○m 1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>表4.1 表5.1～表5.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>$\frac{1}{N} \times 2$</td> <td>表4.1 表5.1～表5.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>表4.1 表5.1～表5.3</td> </tr> <tr> <td>改 良 材</td> <td></td> <td>t</td> <td>V</td> <td>式5.1, 表5.5</td> </tr> <tr> <td>深層混合処理機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{1}{N}$</td> <td>表3.1, 表5.1～表5.3 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラブリャント運転</td> <td></td> <td>#</td> <td>$\frac{1}{N}$</td> <td>表3.1, 表5.1～表5.3 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N: 1日当り杭施工本数(本/日) V: 1本当り改良材使用量(t/本)</p> <p>(2) スラブリャント現場内移設1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.7</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.7 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td rowspan="2">表3.1</td> <td rowspan="2">機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m→62 →110kw×1 30m→72 →90kw×2 →62 機械損料数量→1.59 </td> </tr> <tr> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56 機械損料数量→1.59 </td> </tr> <tr> <td>スラブリャント</td> <td>表3.1</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.3	特 殊 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 2$	表4.1 表5.1～表5.3	普 通 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.3	改 良 材		t	V	式5.1, 表5.5	深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1, 表5.1～表5.3 機械損料	スラブリャント運転		#	$\frac{1}{N}$	表3.1, 表5.1～表5.3 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.6	特 許 料 金		#	1	必要に応じて計上	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.7	特 殊 作 業 員		#	#	#	普 通 作 業 員		#	#	#	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表5.7 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m→62 →110kw×1 30m→72 →90kw×2 →62 機械損料数量→1.59	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56 機械損料数量→1.59	スラブリャント	表3.1	機-25	機械損料数量→1.59	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) スラリー攪拌工杭長○○m 1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>表4.1 表5.1～表5.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>$\frac{1}{N} \times 2 (3)$</td> <td>表4.1 表5.1～表5.6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>$\frac{1}{N} \times 1$</td> <td>表4.1 表5.1～表5.6</td> </tr> <tr> <td>改 良 材</td> <td></td> <td>t</td> <td>V</td> <td>式5.1, 表5.7</td> </tr> <tr> <td>深層混合処理機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{1}{N}$</td> <td>表3.1～表3.3 表5.1～表5.6 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラブリャント運転</td> <td></td> <td>#</td> <td>$\frac{1}{N}$</td> <td>表3.1～表3.3 表5.1～表5.6 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.8</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N: 1日当り杭施工本数(本/日) V: 1本当り改良材使用量(t/本) () 書き: 二輪施工(変位低減型)の場合に適用する。</p> <p>(2) スラブリャント現場内移設1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.9</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.9 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td rowspan="2">表3.1</td> <td rowspan="2">機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m→62 →110kw×1 30m→72 →90kw×2 →62 機械損料数量→1.59 </td> </tr> <tr> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56 機械損料数量→1.59 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型</td> <td rowspan="2">表3.2, 表3.3</td> <td rowspan="2">機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≦10m機 →53 →L≦20m機 →53 →L≦26m機 →66 →L≦36m機 →53 機械損料数量→1.59 </td> </tr> <tr> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≦10m機 →53 →L≦20m機 →53 →L≦26m機 →66 →L≦36m機 →53 機械損料数量→1.59 </td> </tr> <tr> <td>スラブリャント</td> <td>表3.1～表3.3</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.6	特 殊 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 2 (3)$	表4.1 表5.1～表5.6	普 通 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.6	改 良 材		t	V	式5.1, 表5.7	深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.6 機械損料	スラブリャント運転		#	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.6 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.8	特 許 料 金		#	1	必要に応じて計上	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.9	特 殊 作 業 員		#	#	#	普 通 作 業 員		#	#	#	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表5.9 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m→62 →110kw×1 30m→72 →90kw×2 →62 機械損料数量→1.59	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56 機械損料数量→1.59	深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2, 表3.3	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≦10m機 →53 →L≦20m機 →53 →L≦26m機 →66 →L≦36m機 →53 機械損料数量→1.59	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≦10m機 →53 →L≦20m機 →53 →L≦26m機 →66 →L≦36m機 →53 機械損料数量→1.59	スラブリャント	表3.1～表3.3	機-25	機械損料数量→1.59	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																							
	土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.3																																																																																																																																																																																																							
	特 殊 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 2$	表4.1 表5.1～表5.3																																																																																																																																																																																																							
	普 通 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.3																																																																																																																																																																																																							
	改 良 材		t	V	式5.1, 表5.5																																																																																																																																																																																																							
	深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1, 表5.1～表5.3 機械損料																																																																																																																																																																																																							
	スラブリャント運転		#	$\frac{1}{N}$	表3.1, 表5.1～表5.3 機械損料																																																																																																																																																																																																							
	諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																																																																																																																							
	特 許 料 金		#	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.7																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		#	#	#																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		#	#	#																																																																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表5.7 機械賃料																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																									
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m→62 →110kw×1 30m→72 →90kw×2 →62 機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									
			運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56 機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									
スラブリャント	表3.1	機-25	機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.6																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 2 (3)$	表4.1 表5.1～表5.6																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		#	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.6																																																																																																																																																																																																								
改 良 材		t	V	式5.1, 表5.7																																																																																																																																																																																																								
深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.6 機械損料																																																																																																																																																																																																								
スラブリャント運転		#	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.6 機械損料																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表5.8																																																																																																																																																																																																								
特 許 料 金		#	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.9																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		#	#	#																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		#	#	#																																																																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表5.9 機械賃料																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																									
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m→62 →110kw×1 30m→72 →90kw×2 →62 機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									
			運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56 機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									
深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2, 表3.3	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≦10m機 →53 →L≦20m機 →53 →L≦26m機 →66 →L≦36m機 →53 機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									
			運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≦10m機 →53 →L≦20m機 →53 →L≦26m機 →66 →L≦36m機 →53 機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									
スラブリャント	表3.1～表3.3	機-25	機械損料数量→1.59																																																																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要
ニューマチックケーソン工	<p>④ ニューマチックケーソン工</p> <p>注)平成27年4月1日から、高気圧作業安全衛生規則の一部改正に伴い、本歩掛については改定するまで適用できません。</p> <p>1.適用範囲 本資料は、掘削深度が40m未満でかつ掘削面積が300m²未満までのニューマチックケーソン工事に適用する。 なお、次項の掘削条件等の場合、又は現場条件により本資料により難しい場合は、別途考慮する。 (1) 函内作業気圧(函内作業気圧とはゲージ圧力(絶対圧力:大気圧)をいう)が、392kPa(4.0kgf/cm²)以上で施工する場合 (2) 工期等により2組以外の作業で施工する場合 (3) ケーソン1基に対し、1艀装(人力施工のみ)、2艀装(マンロック(空気減圧対策型)含む)以外で施工する場合</p> <p>2.施工概要 2-1 工法説明 ニューマチックケーソン工法は、ケーソンを構築し底部に作業室を設けて、送気設備より地下水に対抗する圧力の空気を送り、ドライに近い状態の室内へ作業員が入り、土砂を掘削、排出してケーソンを所定の支持地盤まで沈下させる工法である。</p> <p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. ケーソンにはピアケーソンと止水壁ケーソンがあり、このフローはピアケーソンについて適用する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	<p>④ ニューマチックケーソン工</p> <p>注)平成27年4月1日から、高気圧作業安全衛生規則の一部改正に伴い、本歩掛については改定するまで適用できません。</p> <p>1.適用範囲 本資料は、掘削深度が40m未満でかつ掘削面積が40m²以上300m²未満までのニューマチックケーソン工事に適用する。 なお、次項の掘削条件等の場合、又は現場条件により本資料により難しい場合は、別途考慮する。 (1) 函内作業気圧(函内作業気圧とはゲージ圧力(絶対圧力:大気圧)をいう)が、0.4MPa392kPa(4.0kgf/cm²)以上で施工する場合 (2) 工期等により2組以外の作業3組以上で施工する場合 なお、「組」については、「土木工事工事費積算要領及び基準の運用、第2章工事費の積算、2. 労務費」を参照 (3) ケーソン1基に対し、1艀装(人力施工のみ)、2艀装(マンロック(空気減圧対策型)又はマンロック(酸素減圧対策型)1艀装、マテリアルロック1艀装(空気減圧対策型)含む)以外で施工する場合</p> <p>2.施工概要 2-1 工法説明 ニューマチックケーソン工法は、ケーソンを構築し底部に作業室を設けて、送気設備より地下水に対抗する圧力の空気を送り、ドライに近い状態の室内へ作業員が入り、土砂を掘削、排出してケーソンを所定の支持地盤まで沈下させる工法である。</p> <p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. ケーソンにはピアケーソンと止水壁ケーソンがあり、このフローはピアケーソンについて適用する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																								
ニューマチックケーソン工	<p>3. 掘削工法及び艀装の選定 掘削工法及び艀装は、ケーソン1基の掘削面積により、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削工法及び艀装数</p> <table border="1" data-bbox="448 317 1294 464"> <thead> <tr> <th>ケーソン1基の掘削面積</th> <th>工 法</th> <th>艀装数</th> <th>艀 装 内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40m²未満</td> <td>人力掘削</td> <td>2(1)</td> <td>マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1</td> </tr> <tr> <td>40m²以上300m²未満</td> <td>機械掘削</td> <td>2</td> <td>マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ()書きは、40m²未満の場合、現場条件によって、艀装数1(マテリアルロック)になることもある。</p>	ケーソン1基の掘削面積	工 法	艀装数	艀 装 内 訳	40m ² 未満	人力掘削	2(1)	マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1	40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1	<p>3. 掘削工法及び艀装の選定 掘削工法及び艀装は、ケーソン1基の掘削面積により、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削工法及び艀装数</p> <table border="1" data-bbox="1590 317 2516 537"> <thead> <tr> <th>ケーソン1基の掘削面積</th> <th>工 法</th> <th>艀装数</th> <th>艀 装 内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40m²未満</td> <td>人力掘削</td> <td>2(1)</td> <td>マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1 またはマンロッター(酸素減圧対策型)1</td> </tr> <tr> <td>40m²以上300m²未満</td> <td>機械掘削</td> <td>2</td> <td><u>マンロック(空気減圧対策型)又は マンロック(酸素減圧対策型)1艀装, マテリアルロック1艀装</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. ()書きは、40m²未満の場合、現場条件によって、艀装数1(マテリアルロッター)になることもある。</p> <p><u>減圧方法が空気減圧を行う場合に空気減圧対応型を選定し、酸素減圧対応型を計上しない。また、減圧方法が酸素減圧を行う場合に酸素減圧対応型を選定し、空気減圧対応型を計上しない。</u></p>	ケーソン1基の掘削面積	工 法	艀装数	艀 装 内 訳	40m²未満	人力掘削	2(1)	マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1 またはマンロッター(酸素減圧対策型)1	40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	<u>マンロック(空気減圧対策型)又は マンロック(酸素減圧対策型)1艀装, マテリアルロック1艀装</u>	
ケーソン1基の掘削面積	工 法	艀装数	艀 装 内 訳																								
40m ² 未満	人力掘削	2(1)	マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1																								
40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1																								
ケーソン1基の掘削面積	工 法	艀装数	艀 装 内 訳																								
40m²未満	人力掘削	2(1)	マテリアルロック1, マンロック(空気減圧対策型)1 またはマンロッター(酸素減圧対策型)1																								
40m ² 以上300m ² 未満	機械掘削	2	<u>マンロック(空気減圧対策型)又は マンロック(酸素減圧対策型)1艀装, マテリアルロック1艀装</u>																								

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																																																																																																																																															
ニューマチックケーソン工	<p>4. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 機種 の 選 定 (ケーソン1基当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">排土</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バケツト</td> <td>1.0m³級</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>1マテリアルロックにつき2個</td> </tr> <tr> <td>土砂ホッパ</td> <td>10m³級</td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機装設備</td> <td>マテリアルロック</td> <td>通過可能バケツト1.0m³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>人力掘削1基 機械掘削1基</td> </tr> <tr> <td>マンロック (空気減圧対応型)</td> <td>立型10~12人用</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む</td> </tr> <tr> <td>マテリアルシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要数量</td> </tr> <tr> <td>マンシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要数量</td> </tr> <tr> <td>スペシャルシャフト</td> <td>径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>個</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボトムドア</td> <td>径1.4m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力調整装置</td> <td>径100mm級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧ホース</td> <td>径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa</td> <td>本</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械</td> <td>潜函用ショベル</td> <td>[電動バックホウ] 山積0.13m³(平積0.1m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>掘削面積 40m²以上100m²未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>天井走行式ショベル</td> <td>山積0.15m³(平積0.13m³)</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td>掘削面積100m²以上300m²未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">安全管理・連絡設備</td> <td>高気圧下用空気呼吸器</td> <td>[ボンベ式] 圧力0.1MPa 使用時間30min 8ℓ 級</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>掘削面積100m²当り1個</td> </tr> <tr> <td>ガス検知機</td> <td>携帯用</td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話又はインターホン</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブザー</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>函内T V</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 安全管理・連絡設備は、共通仮設費(率分)に含まれる。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	排土	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊	台	1		バケツト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個	土砂ホッパ	10m ³ 級	基	1		機装設備	マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	〃	1	人力掘削1基 機械掘削1基	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用	〃	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	式	1	必要数量	マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	〃	1	必要数量	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2		ボトムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	〃	2		圧力調整装置	径100mm級 圧力0.4MPa	〃	1		高圧ホース	径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7		照明設備		式	1		機 械	潜函用ショベル	[電動バックホウ] 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	台	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満		天井走行式ショベル	山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	〃	2	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満	安全管理・連絡設備	高気圧下用空気呼吸器	[ボンベ式] 圧力0.1MPa 使用時間30min 8ℓ 級	式	1	掘削面積100m ² 当り1個	ガス検知機	携帯用	個	1		電話又はインターホン		式	1		ブザー		〃	1		函内T V		〃	1		<p>4. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p><u>平成27年4月1日、高気圧作業安全衛生規則の改正に伴い、減圧方法が空気減圧を行う場合に空気減圧対応型を選定し、酸素減圧対応型を計上しない。又、減圧方法が酸素減圧を行う場合に酸素減圧対応型を選定し、空気減圧対応型を計上しない。</u></p> <p>表4.1 機種 の 選 定 (ケーソン1基当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">排土設備</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型(第1次基準値)</u> 50 t 吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>バケツト</td> <td>1.0m³級</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>1マテリアルロックにつき2個</td> </tr> <tr> <td>土砂ホッパ</td> <td>10m³級</td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">機装設備</td> <td>マテリアルロック</td> <td>通過可能バケツト1.0m³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td><u>大</u>力掘削1基 機械掘削1基</td> </tr> <tr> <td>マンロック (空気減圧対応型)</td> <td>立型10~12人用 <u>圧力0.4MPa</u></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む</td> </tr> <tr> <td><u>マンロック (酸素減圧対応型)</u></td> <td><u>立型8人用 圧力0.4MPa</u></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>暖房、自記気圧計、 自動換気装置、<u>酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器</u>を含む</td> </tr> <tr> <td><u>ケーソン用エレベータ (内圧用)</u></td> <td><u>3人用 圧力0.4MPa</u></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td><u>必要に応じて別途計上</u></td> </tr> <tr> <td><u>ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)</u></td> <td><u>3人用 圧力0.4MPa</u></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>マテリアルシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要数量</td> </tr> <tr> <td>マンシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スペシャルシャフト</td> <td>径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa</td> <td>個</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボトムドア</td> <td>径1.4m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>自動</u>圧力調整装置</td> <td>径100mm級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧ホース</td> <td>径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa</td> <td>本</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>送気管</u></td> <td><u>径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</u></td> <td>m</td> <td></td> <td><u>ゲージ設備からケーソンまで</u></td> </tr> <tr> <td>照明設備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">掘削設備</td> <td>潜函用ショベル</td> <td>[電動バックホウ] 山積0.13m³(平積0.1m³)</td> <td>台</td> <td>+</td> <td>掘削面積40m²以上100m²未満</td> </tr> <tr> <td><u>天井走行式ショベル</u></td> <td><u>山積0.15m³(平積0.13m³)</u></td> <td>台</td> <td>1</td> <td><u>掘削面積40m²以上100m²未満の場合</u></td> </tr> <tr> <td><u>走行レール (天井走行式ショベル用)</u></td> <td><u>長さ2m級×1本</u></td> <td>式</td> <td>1</td> <td><u>必要数量</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設安備全</td> <td><u>酸素集合装置</u></td> <td><u>マンロック、ホスピタルロック用</u></td> <td>基</td> <td>1</td> <td><u>必要に応じて別途計上(注)2</u></td> </tr> <tr> <td><u>酸素呼吸装置 (マンロック用)</u></td> <td><u>マンロック、ホスピタルロック用</u></td> <td>台</td> <td>10</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">安全管理・連絡設備</td> <td>高気圧下用空気呼吸器</td> <td>[ボンベ式] 圧力0.1MPa 使用時間30min 8ℓ 級</td> <td>式</td> <td>+</td> <td>掘削面積100m²当り1個</td> </tr> <tr> <td>ガス検知器</td> <td>携帯用</td> <td>個</td> <td>1</td> <td>(注) 3</td> </tr> <tr> <td>ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)</td> <td>定置式 [3点(酸素,メタン,H2S) 計測用]</td> <td>台</td> <td>1</td> <td rowspan="2">(注) 3,4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>定置式 [5点(酸素,メタン,H2S,CO,CO2)計測用]</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>電話又はインターホン</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>(注) 3</td> </tr> <tr> <td>ブザー</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>函内T V</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	排土設備	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型(第1次基準値)</u> 50 t 吊	台	1	(注) 1	バケツト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個	土砂ホッパ	10m ³ 級	基	1		機装設備	マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	〃	1	<u>大</u> 力掘削1基 機械掘削1基	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 <u>圧力0.4MPa</u>	〃	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む	<u>マンロック (酸素減圧対応型)</u>	<u>立型8人用 圧力0.4MPa</u>	〃	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置、 <u>酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器</u> を含む	<u>ケーソン用エレベータ (内圧用)</u>	<u>3人用 圧力0.4MPa</u>	〃	1	<u>必要に応じて別途計上</u>	<u>ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)</u>	<u>3人用 圧力0.4MPa</u>	式	1	〃	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	〃	1	必要数量	マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	〃	1	〃	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2		ボトムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	〃	2		<u>自動</u> 圧力調整装置	径100mm級 圧力0.4MPa	〃	1		高圧ホース	径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7		<u>送気管</u>	<u>径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</u>	m		<u>ゲージ設備からケーソンまで</u>	照明設備		式	1		掘削設備	潜函用ショベル	[電動バックホウ] 山積0.13m³(平積0.1m³)	台	+	掘削面積40m²以上100m²未満	<u>天井走行式ショベル</u>	<u>山積0.15m³(平積0.13m³)</u>	台	1	<u>掘削面積40m²以上100m²未満の場合</u>	<u>走行レール (天井走行式ショベル用)</u>	<u>長さ2m級×1本</u>	式	1	<u>必要数量</u>	設安備全	<u>酸素集合装置</u>	<u>マンロック、ホスピタルロック用</u>	基	1	<u>必要に応じて別途計上(注)2</u>	<u>酸素呼吸装置 (マンロック用)</u>	<u>マンロック、ホスピタルロック用</u>	台	10	〃 〃	安全管理・連絡設備	高気圧下用空気呼吸器	[ボンベ式] 圧力0.1MPa 使用時間30min 8ℓ 級	式	+	掘削面積100m²当り1個	ガス検知器	携帯用	個	1	(注) 3	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	定置式 [3点(酸素,メタン,H2S) 計測用]	台	1	(注) 3,4		定置式 [5点(酸素,メタン,H2S,CO,CO2)計測用]	〃	1	電話又はインターホン		式	1	(注) 3	ブザー		〃	1	〃	函内T V		〃	1	〃
	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																												
排土	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊	台	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	バケツト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個																																																																																																																																																																																																																																																													
	土砂ホッパ	10m ³ 級	基	1																																																																																																																																																																																																																																																														
機装設備	マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	〃	1	人力掘削1基 機械掘削1基																																																																																																																																																																																																																																																													
	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用	〃	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む																																																																																																																																																																																																																																																													
	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	式	1	必要数量																																																																																																																																																																																																																																																													
	マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	〃	1	必要数量																																																																																																																																																																																																																																																													
	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	ボトムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	〃	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	圧力調整装置	径100mm級 圧力0.4MPa	〃	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	高圧ホース	径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7																																																																																																																																																																																																																																																														
	照明設備		式	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	機 械	潜函用ショベル	[電動バックホウ] 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	台	1	掘削面積 40m ² 以上100m ² 未満																																																																																																																																																																																																																																																												
	天井走行式ショベル	山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	〃	2	掘削面積100m ² 以上300m ² 未満																																																																																																																																																																																																																																																													
安全管理・連絡設備	高気圧下用空気呼吸器	[ボンベ式] 圧力0.1MPa 使用時間30min 8ℓ 級	式	1	掘削面積100m ² 当り1個																																																																																																																																																																																																																																																													
	ガス検知機	携帯用	個	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	電話又はインターホン		式	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	ブザー		〃	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	函内T V		〃	1																																																																																																																																																																																																																																																														
種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																													
排土設備	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型(第1次基準値)</u> 50 t 吊	台	1	(注) 1																																																																																																																																																																																																																																																													
	バケツト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個																																																																																																																																																																																																																																																													
	土砂ホッパ	10m ³ 級	基	1																																																																																																																																																																																																																																																														
機装設備	マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	〃	1	<u>大</u> 力掘削1基 機械掘削1基																																																																																																																																																																																																																																																													
	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 <u>圧力0.4MPa</u>	〃	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置を含む																																																																																																																																																																																																																																																													
	<u>マンロック (酸素減圧対応型)</u>	<u>立型8人用 圧力0.4MPa</u>	〃	1	暖房、自記気圧計、 自動換気装置、 <u>酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器</u> を含む																																																																																																																																																																																																																																																													
	<u>ケーソン用エレベータ (内圧用)</u>	<u>3人用 圧力0.4MPa</u>	〃	1	<u>必要に応じて別途計上</u>																																																																																																																																																																																																																																																													
	<u>ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)</u>	<u>3人用 圧力0.4MPa</u>	式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	〃	1	必要数量																																																																																																																																																																																																																																																													
	マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	〃	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	ボトムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	〃	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	<u>自動</u> 圧力調整装置	径100mm級 圧力0.4MPa	〃	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	高圧ホース	径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7																																																																																																																																																																																																																																																														
	<u>送気管</u>	<u>径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</u>	m		<u>ゲージ設備からケーソンまで</u>																																																																																																																																																																																																																																																													
	照明設備		式	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	掘削設備	潜函用ショベル	[電動バックホウ] 山積0.13m³(平積0.1m³)	台	+	掘削面積40m²以上100m²未満																																																																																																																																																																																																																																																												
<u>天井走行式ショベル</u>		<u>山積0.15m³(平積0.13m³)</u>	台	1	<u>掘削面積40m²以上100m²未満の場合</u>																																																																																																																																																																																																																																																													
<u>走行レール (天井走行式ショベル用)</u>		<u>長さ2m級×1本</u>	式	1	<u>必要数量</u>																																																																																																																																																																																																																																																													
設安備全	<u>酸素集合装置</u>	<u>マンロック、ホスピタルロック用</u>	基	1	<u>必要に応じて別途計上(注)2</u>																																																																																																																																																																																																																																																													
	<u>酸素呼吸装置 (マンロック用)</u>	<u>マンロック、ホスピタルロック用</u>	台	10	〃 〃																																																																																																																																																																																																																																																													
安全管理・連絡設備	高気圧下用空気呼吸器	[ボンベ式] 圧力0.1MPa 使用時間30min 8ℓ 級	式	+	掘削面積100m²当り1個																																																																																																																																																																																																																																																													
	ガス検知器	携帯用	個	1	(注) 3																																																																																																																																																																																																																																																													
	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	定置式 [3点(酸素,メタン,H2S) 計測用]	台	1	(注) 3,4																																																																																																																																																																																																																																																													
		定置式 [5点(酸素,メタン,H2S,CO,CO2)計測用]	〃	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	電話又はインターホン		式	1	(注) 3																																																																																																																																																																																																																																																													
	ブザー		〃	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																													
函内T V		〃	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

		<p>(注)1. <u>クローラクレーンは、賃料とする。</u></p> <p>2. <u>酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置（マンロック用）について、共通仮設費の安全費で別途計上する。</u></p> <p>3. <u>安全管理・連絡設備は、共通仮設費（率分）に含まれる。</u></p> <p>3. 掘削面積40㎡以上100㎡未満の掘削機械の選定については、現場条件等によって決定する。</p> <p>4. <u>ガス検知器（ニューマチックケーソン用）は、現場条件により3点または5点計測用を用いる。</u></p> <p>5. 必要な酸素（医療用）量を別途計上する。</p> <p>5. <u>現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。</u></p>	
--	--	---	--

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																																							
ニューマチックケーソン工	<p>表4.2 機種を選定1工事当り機械設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">送気設備</td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>吐出量29/36m³/min 圧力0.4MPa</td> <td>台</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 1,100m³/h</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>クーリングタワー</td> <td>40~60 t/h</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 3, 4</td> </tr> <tr> <td>レシーバータンク</td> <td>容量2.5m³ 圧力0.7~0.9MPa</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">送 気 管</td> <td>径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td>空気圧縮機からゲージ設備まで</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>〃</td> <td>ゲージ設備からケーソンまで</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急設備</td> <td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td> <td>[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注) 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">予備設備</td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m³/min 10.5~11m³/min 18~19m³/min }の中から選定</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 6</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 35kVA</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 6</td> </tr> <tr> <td>電 力 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> <td>(注) 7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 必要空気量を求め、それに見合う空気圧縮機の台数を計上する。 2. 空気圧縮機の容量に見合う台数を計上する。 3. クーリングタワー用補給水として、清水(水道水、ろ過河川水等)を次の量補給する。 40 t/h……7ℓ/min 4. 空気圧縮機動力100kW当り180ℓ/minの清水が得られる場合は、その取水設備を計上し、クーリングタワーは計上しない。 5. 救急設備は、共通仮設費算定基準における安全費で別途計上する。 6. 予備設備の空気圧縮機、発動発電機は、賃料とする。 7. 予備電源は、現場条件によっては2系統受電でよい。 8. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h	〃	必要台数	(注) 2	クーリングタワー	40~60 t/h	〃	必要台数	(注) 3, 4	レシーバータンク	容量2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2	送 気 管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m	空気圧縮機からゲージ設備まで			径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	〃	ゲージ設備からケーソンまで			救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 5	予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11m ³ /min 18~19m ³ /min }の中から選定	〃	必要台数	(注) 6	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 35kVA	〃	必要台数	(注) 6	電 力 設 備		式		1	(注) 7	<p>表4.2 機種を選定(1工事当り機械設備)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">送気設備</td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>吐出量29/36m³/min 圧力0.4MPa</td> <td>台</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 1,100m³/h</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>クーリングタワー</td> <td>40~60 t/h</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 3, 4, 5</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ</td> <td>口径80mm・全揚程30m</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 3, 4, 5, 6</td> </tr> <tr> <td>レシーバータンク</td> <td>容量2.5m³ 圧力0.7~0.9MPa</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>送 気 管</td> <td>径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa 径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>m 〃</td> <td>空気圧縮機からゲージ設備まで ゲージ設備からケーソンまで</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">救急設備</td> <td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td> <td>[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>(注) 7</td> </tr> <tr> <td>ホスピタルロック (酸素再圧対応型)</td> <td>[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 7, 8</td> </tr> <tr> <td>酸素集合装置</td> <td>マンロック、ホスピタルロック用</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>酸素ポンプ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>±</td> <td>(注) 5, 10 必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸装置 (ホスピタルロック用)</td> <td>マンロック、ホスピタルロック用</td> <td>台</td> <td>4</td> <td>〃 必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 650m³/h</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 7</td> </tr> <tr> <td>高気圧下用 空気呼吸器</td> <td>[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min 3ℓ級</td> <td>個</td> <td>4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">予備設備</td> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m³/min 10.5~11m³/min 18~19m³/min }の中から選定</td> <td>台</td> <td>必要台数</td> <td>(注) 9</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 35kVA</td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 力 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> <td>(注) 8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 必要空気量を求め、それに見合う空気圧縮機の台数を計上する。 2. 空気圧縮機の容量に見合う台数を計上する。 3. クーリングタワー用補給水として、清水(水道水、ろ過河川水等)を次の量補給する。 40 t/h……7ℓ/min 4. 空気圧縮機動力100kW当り180ℓ/minの清水が得られる場合は、その取水設備を計上し、クーリングタワーと循環水ポンプは計上しない。 5. クーリングタワー用の補給水について、水道水等による補給が出来ず運搬を伴う場合には別途考慮する。 6. 循環水ポンプについては、必要台数に予備ポンプを含める。 7. 救急設備は、共通仮設費の算定基準における安全費で別途計上する。 8. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置(ホスピタルロック用)について、共通仮設費の安全費で別途計上する。 9. 予備設備の空気圧縮機、発動発電機は、賃料とする。 8. 予備電源は、現場条件によっては2系統受電でよい。 10. 現場条件により上表により難しい場合は、必要により別途考慮する。なお、空気圧縮機用の仮設建屋の費用は共通仮設費において、別途計上する。 10. 必要な酸素(医療用)量を別途計上する。</p>	種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h	〃	必要台数	(注) 2	クーリングタワー	40~60 t/h	〃	必要台数	(注) 3, 4, 5	循環水ポンプ	口径80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注) 3, 4, 5, 6	レシーバータンク	容量2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2	送 気 管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa 径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m 〃	空気圧縮機からゲージ設備まで ゲージ設備からケーソンまで		救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 7	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	〃	1	(注) 7, 8	酸素集合装置	マンロック、ホスピタルロック用	基	1	〃	酸素ポンプ		〃	±	(注) 5, 10 必要に応じて別途計上	酸素呼吸装置 (ホスピタルロック用)	マンロック、ホスピタルロック用	台	4	〃 必要に応じて別途計上	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ /h	〃	1	(注) 7	高気圧下用 空気呼吸器	[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min 3ℓ級	個	4	〃	予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11m ³ /min 18~19m ³ /min }の中から選定	台	必要台数	(注) 9	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 35kVA	〃	必要台数	〃	電 力 設 備		式		1	(注) 8	
	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																				
送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1																																																																																																																																																					
	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																					
	クーリングタワー	40~60 t/h	〃	必要台数	(注) 3, 4																																																																																																																																																					
	レシーバータンク	容量2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																					
送 気 管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m	空気圧縮機からゲージ設備まで																																																																																																																																																							
	径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	〃	ゲージ設備からケーソンまで																																																																																																																																																							
救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 5																																																																																																																																																					
予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11m ³ /min 18~19m ³ /min }の中から選定	〃	必要台数	(注) 6																																																																																																																																																					
	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 35kVA	〃	必要台数	(注) 6																																																																																																																																																					
電 力 設 備		式		1	(注) 7																																																																																																																																																					
種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量29/36m ³ /min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1																																																																																																																																																					
	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ /h	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																					
	クーリングタワー	40~60 t/h	〃	必要台数	(注) 3, 4, 5																																																																																																																																																					
	循環水ポンプ	口径80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注) 3, 4, 5, 6																																																																																																																																																					
	レシーバータンク	容量2.5m ³ 圧力0.7~0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																					
	送 気 管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa 径100mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m 〃	空気圧縮機からゲージ設備まで ゲージ設備からケーソンまで																																																																																																																																																						
救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 7																																																																																																																																																					
	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	〃	1	(注) 7, 8																																																																																																																																																					
	酸素集合装置	マンロック、ホスピタルロック用	基	1	〃																																																																																																																																																					
	酸素ポンプ		〃	±	(注) 5, 10 必要に応じて別途計上																																																																																																																																																					
	酸素呼吸装置 (ホスピタルロック用)	マンロック、ホスピタルロック用	台	4	〃 必要に応じて別途計上																																																																																																																																																					
	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ /h	〃	1	(注) 7																																																																																																																																																					
	高気圧下用 空気呼吸器	[半閉鎖循環式] 圧力0.4MPa 使用時間30min 3ℓ級	個	4	〃																																																																																																																																																					
予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5~7.8m ³ /min 10.5~11m ³ /min 18~19m ³ /min }の中から選定	台	必要台数	(注) 9																																																																																																																																																					
	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 35kVA	〃	必要台数	〃																																																																																																																																																					
電 力 設 備		式		1	(注) 8																																																																																																																																																					

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																														
ニューマチックケーソン工	<p>5. 掘削編成人員</p> <p>5-1 函内作業 ケーソン1基当たりの函内作業の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 函内編成人員 (人/基)</p> <table border="1" data-bbox="427 373 1311 537"> <thead> <tr> <th>掘削工法</th> <th>掘削面積</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人力掘削</td> <td>40m²未満</td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械掘削</td> <td>40m²以上100m²未満</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>潜函用ショベル1台</td> </tr> <tr> <td>100m²以上300m²未満</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>天井走行式ショベル2台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 2. 人力掘削の場合で作業室内体積(気積)が30m³未満の場合の編成人員は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 函内編成人員(作業室内体積(気積)30m³未満) (人/基)</p> <table border="1" data-bbox="522 705 1216 907"> <thead> <tr> <th>作業室内体積</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15m³未満</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15以上20m³未満</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20以上25m³未満</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25以上30m³未満</td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘要	人力掘削	40m ² 未満	1	5		機械掘削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	潜函用ショベル1台	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台	作業室内体積	潜かん世話役	潜かん工	摘要	15m ³ 未満	1	1		15以上20m ³ 未満	1	2		20以上25m ³ 未満	1	3		25以上30m ³ 未満	1	4		<p>5. 掘削編成人員</p> <p>5-1 函内作業 ケーソン1基当たりの函内作業の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 函内編成人員 (人/基)</p> <table border="1" data-bbox="1549 340 2555 525"> <thead> <tr> <th>掘削工法</th> <th>掘削面積</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人力掘削</td> <td>40m²未満</td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械掘削</td> <td>40m²以上100m²未満</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>潜函用ショベル1台 天井走行式ショベル1台</td> </tr> <tr> <td>100m²以上300m²未満</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>天井走行式ショベル2台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 2. 人力掘削の場合で作業室内体積(気積)が30m³未満の場合の編成人員は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 函内編成人員(作業室内体積(気積)30m³未満) (人/基)</p> <table border="1" data-bbox="1679 718 2424 919"> <thead> <tr> <th>作業室内体積</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15m³未満</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15以上20m³未満</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20以上25m³未満</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25以上30m³未満</td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘要	人力掘削	40m²未満	1	5		機械掘削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	潜函用ショベル1台 天井走行式ショベル1台	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台	作業室内体積	潜かん世話役	潜かん工	摘要	15m³未満	1	1		15以上20m³未満	1	2		20以上25m³未満	1	3		25以上30m³未満	1	4		
掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘要																																																																													
人力掘削	40m ² 未満	1	5																																																																														
機械掘削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	潜函用ショベル1台																																																																													
	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台																																																																													
作業室内体積	潜かん世話役	潜かん工	摘要																																																																														
15m ³ 未満	1	1																																																																															
15以上20m ³ 未満	1	2																																																																															
20以上25m ³ 未満	1	3																																																																															
25以上30m ³ 未満	1	4																																																																															
掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘要																																																																													
人力掘削	40m²未満	1	5																																																																														
機械掘削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	潜函用ショベル1台 天井走行式ショベル1台																																																																													
	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台																																																																													
作業室内体積	潜かん世話役	潜かん工	摘要																																																																														
15m³未満	1	1																																																																															
15以上20m³未満	1	2																																																																															
20以上25m³未満	1	3																																																																															
25以上30m³未満	1	4																																																																															

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																					
ニューマチックケーソン工	<p>5-2 函外作業 ケーソン1基当りの函外作業の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 函外編成人員 (人/基)</p> <table border="1" data-bbox="483 323 1258 445"> <thead> <tr> <th>艀装数</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1 (0)</td> <td>1</td> <td>人力掘削の場合</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1 (0)</td> <td>2</td> <td>機械掘削の場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 函内作業気圧が0 kPa (0 kgf/cm²) (素掘) の場合は、特殊作業員は計上しない。</p> <p>5-3 送気用設備 送気用設備の運転の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 送気用設備編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="602 674 1139 753"> <thead> <tr> <th>特殊作業員</th> <th>電工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 作業時間等</p> <p>6-1 函内作業及び函外作業 函内作業及び函外作業に従事する作業員の1組当り作業時間(賃金対象時間)は8時間とし、1日2交替(2組)とする。</p> <p>6-2 送気用設備 送気用設備の運転に従事する特殊作業員、電工の作業時間は、全日(24時間)とし、2交替で従事するものとする。 なお、所要日数は、送気開始日から終了日までとする。</p> <p>7. 設備等の供用日数 設備等の供用日数は、積上げて算出することを原則とするが、次表のとおり算定することが出来る。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 供用日数</p> <table border="1" data-bbox="421 1262 1320 1526"> <thead> <tr> <th>設備等</th> <th>供用日数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>艀装設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> <td rowspan="6">ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。</td> </tr> <tr> <td>潜函用ショベル</td> <td>(A+B+E) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>安全管理設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>連絡設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>送気設備</td> <td>(A+B+C+D) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>救急設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>予備設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、A：ケーソン構築日数(艀装日数含む) B：掘削沈下日数 C：中埋コンクリート打設・養生日数(支持力テスト含む) D：定置式空気圧縮機組立・分解日数 E：潜函用ショベル組立・分解日数</p> <p>(注) 1. 送気用空気圧縮機は、最大容量分を同時に据付・撤去する。 2. 送気用空気圧縮機は、各ロットの掘削又は構築作業毎に運転台数を求め計上する。 3. 艀装用シャフトは、ケーソン1基当り全使用本数の1/2は全供用日数を、残1/2は全供用日数の1/2を供用日数とする。 4. 供用日数は整数とし、小数点第1位を切り上げる。</p>	艀装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘要	2	1	1	1 (0)	1	人力掘削の場合	2	1	1	1 (0)	2	機械掘削の場合	特殊作業員	電工	1	1	設備等	供用日数	摘要	艀装設備	(A+B+C) × 1.4	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。	潜函用ショベル	(A+B+E) × 1.4	安全管理設備	(A+B+C) × 1.4	連絡設備	(A+B+C) × 1.4	送気設備	(A+B+C+D) × 1.4	救急設備	(A+B+C) × 1.4	予備設備	(A+B+C) × 1.4		<p>5-2 函外作業 ケーソン1基当りの函外作業の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 函外編成人員 (人/基)</p> <table border="1" data-bbox="1593 323 2510 445"> <thead> <tr> <th>艀装数</th> <th>潜かん世話役</th> <th>潜かん工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1 (0)</td> <td>1</td> <td>大力掘削の場合</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1 (0)</td> <td>2</td> <td>機械掘削の場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 函内作業気圧が0 MPa (0 kgf/cm²) (素掘) の場合は、特殊作業員は計上しない。</p> <p>5-3 送気用設備 送気用設備の運転の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 送気用設備編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="1783 674 2320 753"> <thead> <tr> <th>特殊作業員</th> <th>電工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 作業時間等</p> <p>6-1 函内作業及び函外作業 函内作業及び函外作業に従事する作業員の1組当り作業時間(賃金対象時間)は8時間とし、1日2交替(2組)とする。</p> <p>6-2 送気用設備 送気用設備の運転に従事する特殊作業員、電工の作業時間は、全日(24時間)とし、2交替で従事するものとする。 なお、所要日数は、送気開始日から終了日までとする。</p> <p>7. 設備等の供用日数 設備等の供用日数は、積上げて算出することを原則とするが、次表のとおり算定することが出来る。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 供用日数</p> <table border="1" data-bbox="1605 1247 2504 1526"> <thead> <tr> <th>設備等</th> <th>供用日数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排土設備</td> <td>(A+B+E) × 1.4</td> <td rowspan="6">ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。</td> </tr> <tr> <td>掘削設備</td> <td>(A+B+E) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>艀装設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>安全管理設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>連絡設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>送気設備</td> <td>(A+B+C+D) × 1.4</td> </tr> <tr> <td>救急設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予備設備</td> <td>(A+B+C) × 1.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、A：ケーソン構築日数(艀装日数含む) B：掘削沈下日数 C：中埋コンクリート打設・養生日数(支持力テスト含む) D：定置式空気圧縮機組立・分解日数 E：天井走行式ショベル潜函用ショベル組立・分解日数</p> <p>(注) 1. 送気用空気圧縮機は、最大容量分を同時に据付・撤去する。 2. 送気用空気圧縮機は、各ロットの掘削又は構築作業毎に運転台数を求め計上する。 3. 艀装用シャフトは、ケーソン1基当り全使用本数の1/2は全供用日数を、残1/2は全供用日数の1/2を供用日数とする。 4. 供用日数は整数止めとし、小数点以下第1位を切り上げるものとする。</p>	艀装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘要	2	1	1	1 (0)	1	大力掘削の場合	2	1	1	1 (0)	2	機械掘削の場合	特殊作業員	電工	1	1	設備等	供用日数	摘要	排土設備	(A+B+E) × 1.4	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。	掘削設備	(A+B+E) × 1.4	艀装設備	(A+B+C) × 1.4	安全管理設備	(A+B+C) × 1.4	連絡設備	(A+B+C) × 1.4	送気設備	(A+B+C+D) × 1.4	救急設備	(A+B+C) × 1.4		予備設備	(A+B+C) × 1.4		
艀装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘要																																																																																			
2	1	1	1 (0)	1	人力掘削の場合																																																																																			
2	1	1	1 (0)	2	機械掘削の場合																																																																																			
特殊作業員	電工																																																																																							
1	1																																																																																							
設備等	供用日数	摘要																																																																																						
艀装設備	(A+B+C) × 1.4	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。																																																																																						
潜函用ショベル	(A+B+E) × 1.4																																																																																							
安全管理設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
連絡設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
送気設備	(A+B+C+D) × 1.4																																																																																							
救急設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
予備設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
艀装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘要																																																																																			
2	1	1	1 (0)	1	大力掘削の場合																																																																																			
2	1	1	1 (0)	2	機械掘削の場合																																																																																			
特殊作業員	電工																																																																																							
1	1																																																																																							
設備等	供用日数	摘要																																																																																						
排土設備	(A+B+E) × 1.4	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。																																																																																						
掘削設備	(A+B+E) × 1.4																																																																																							
艀装設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
安全管理設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
連絡設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
送気設備	(A+B+C+D) × 1.4																																																																																							
救急設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							
予備設備	(A+B+C) × 1.4																																																																																							

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																																																																																																		
ニューマチックケーソン工	<p>8. 施工歩掛</p> <p>8-1 刃口金物製作・据付</p> <p>8-1-1 刃口金物の製作 刃口金物の製作については、別途計上する。</p> <p>8-1-2 刃口金物の据付け 刃口金物の据付けは、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 刃口金物据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" data-bbox="341 514 1397 793"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3×T₁</td> <td rowspan="3">T₁: 1基当り刃口金物質量(t)</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4×T₁</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.8×T₁</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 20t吊</td> <td>日</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 溶接工には、機械工を含む。 3. 電気溶接機の運転を含む。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、電気溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接棒等の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-2 沈下掘削</p> <p>8-2-1 人力掘削</p> <p>(1) 1日当り(2組)の掘削量(D₀)は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表8.2 人力掘削1日(2組)当り掘削量(D₀) (m³・地山/日)</p> <table border="1" data-bbox="326 1161 1412 1654"> <thead> <tr> <th rowspan="2">函内作業気圧 (kPa[kgf/cm²])</th> <th colspan="5">土質</th> </tr> <tr> <th>砂、砂質土、粘性土及び粘土</th> <th>レキ及びレキ質土</th> <th>玉石混り砂レキ</th> <th>軟岩(I)</th> <th>軟岩(II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0(素掘)</td><td>31.6</td><td>25.0</td><td>17.1</td><td>10.1</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>0を超え98.0以下[0を超え1.0以下]</td><td>30.2</td><td>23.9</td><td>16.4</td><td>9.7</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>98.0を超え137.2以下[1.0を超え1.4以下]</td><td>23.9</td><td>18.9</td><td>13.0</td><td>7.6</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>137.2を超え176.4以下[1.4を超え1.8以下]</td><td>21.2</td><td>16.8</td><td>11.5</td><td>6.8</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>176.4を超え215.6以下[1.8を超え2.2以下]</td><td>15.8</td><td>12.5</td><td>8.6</td><td>5.0</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>215.6を超え254.8以下[2.2を超え2.6以下]</td><td>14.0</td><td>11.1</td><td>7.6</td><td>4.5</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>254.8を超え294.0以下[2.6を超え3.0以下]</td><td>11.7</td><td>9.3</td><td>6.4</td><td>3.8</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>294.0を超え333.2以下[3.0を超え3.4以下]</td><td>9.9</td><td>7.9</td><td>5.4</td><td>3.2</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>333.2を超え352.8以下[3.4を超え3.6以下]</td><td>8.1</td><td>6.4</td><td>4.4</td><td>2.6</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>352.8を超え372.4以下[3.6を超え3.8以下]</td><td>7.2</td><td>5.7</td><td>3.9</td><td>2.3</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>372.4を超え392.0以下[3.8を超え4.0以下]</td><td>6.8</td><td>5.4</td><td>3.7</td><td>2.2</td><td>1.0</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 刃口据付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩(I)は、ピックハンマ等の併用による掘削、軟岩(II)は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩(II)の場合、掘削10m³当りダイナマイト2.1kg、雷管13個を計上する。 なお、削孔に要する設備として削岩機3台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕1台を計上する。 4. 軟岩(I)の場合は、ピックハンマ4台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕1台を計上する。 5. 軟岩(I)で亀裂が少なくブレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩(II)において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	0.3×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量(t)	溶接工		〃	1.4×T ₁	普通作業員		〃	0.8×T ₁	ラフテレーンクレーン運	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 20t吊	日	1.2		諸雑費率		%	6		函内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	土質					砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)	0(素掘)	31.6	25.0	17.1	10.1	4.8	0を超え98.0以下[0を超え1.0以下]	30.2	23.9	16.4	9.7	4.6	98.0を超え137.2以下[1.0を超え1.4以下]	23.9	18.9	13.0	7.6	3.7	137.2を超え176.4以下[1.4を超え1.8以下]	21.2	16.8	11.5	6.8	3.2	176.4を超え215.6以下[1.8を超え2.2以下]	15.8	12.5	8.6	5.0	2.4	215.6を超え254.8以下[2.2を超え2.6以下]	14.0	11.1	7.6	4.5	2.1	254.8を超え294.0以下[2.6を超え3.0以下]	11.7	9.3	6.4	3.8	1.8	294.0を超え333.2以下[3.0を超え3.4以下]	9.9	7.9	5.4	3.2	1.5	333.2を超え352.8以下[3.4を超え3.6以下]	8.1	6.4	4.4	2.6	1.2	352.8を超え372.4以下[3.6を超え3.8以下]	7.2	5.7	3.9	2.3	1.1	372.4を超え392.0以下[3.8を超え4.0以下]	6.8	5.4	3.7	2.2	1.0	<p>8. 施工歩掛</p> <p>8-1 刃口金物製作・据付</p> <p>8-1-1 刃口金物の材料費 刃口金物の材料費(製作費含む)は、一般管理費等のみ対象とする。</p> <p>8-1-2 刃口金物の据付け 刃口金物の据付けは、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 刃口金物据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" data-bbox="1522 478 2579 798"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5×T₁</td> <td rowspan="3">T₁: 1基当り刃口金物質量(t)</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0×T₁</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.8×T₁</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.24×T₁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 溶接工には、機械工を含む。 3. 電気溶接機の運転を含む。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、電力に関する経費、溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接ワイヤー等の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-2 沈下掘削</p> <p>8-2-1 人力掘削</p> <p>(1) 1日当り(2組)の掘削量(D₀)は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表8.2 人力掘削1日(2組)当り掘削量(D₀) (m³・地山/日)</p> <table border="1" data-bbox="1507 1161 2594 1654"> <thead> <tr> <th rowspan="2">函内作業気圧 (kPa[kgf/cm²])</th> <th colspan="5">土質</th> </tr> <tr> <th>砂、砂質土、粘性土及び粘土</th> <th>レキ及びレキ質土</th> <th>玉石混り砂レキ</th> <th>軟岩(I)</th> <th>軟岩(II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0(素掘)</td><td>31.6</td><td>25.0</td><td>17.1</td><td>10.1</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>0を超え98.0以下[0を超え1.0以下]</td><td>30.2</td><td>23.9</td><td>16.4</td><td>9.7</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>98.0を超え137.2以下[1.0を超え1.4以下]</td><td>23.9</td><td>18.9</td><td>13.0</td><td>7.6</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>137.2を超え176.4以下[1.4を超え1.8以下]</td><td>21.2</td><td>16.8</td><td>11.5</td><td>6.8</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>176.4を超え215.6以下[1.8を超え2.2以下]</td><td>15.8</td><td>12.5</td><td>8.6</td><td>5.0</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>215.6を超え254.8以下[2.2を超え2.6以下]</td><td>14.0</td><td>11.1</td><td>7.6</td><td>4.5</td><td>2.1</td></tr> <tr><td>254.8を超え294.0以下[2.6を超え3.0以下]</td><td>11.7</td><td>9.3</td><td>6.4</td><td>3.8</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>294.0を超え333.2以下[3.0を超え3.4以下]</td><td>9.9</td><td>7.9</td><td>5.4</td><td>3.2</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>333.2を超え352.8以下[3.4を超え3.6以下]</td><td>8.1</td><td>6.4</td><td>4.4</td><td>2.6</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>352.8を超え372.4以下[3.6を超え3.8以下]</td><td>7.2</td><td>5.7</td><td>3.9</td><td>2.3</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>372.4を超え392.0以下[3.8を超え4.0以下]</td><td>6.8</td><td>5.4</td><td>3.7</td><td>2.2</td><td>1.0</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 刃口据付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩(I)は、ピックハンマ等の併用による掘削、軟岩(II)は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩(II)の場合、掘削10m³当りダイナマイト2.1kg、雷管13個を計上する。 なお、削孔に要する設備として削岩機3台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕1台を計上する。 4. 軟岩(I)の場合は、ピックハンマ4台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕1台を計上する。 5. 軟岩(I)で亀裂が少なくブレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩(II)において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	0.5×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量(t)	溶接工		〃	1.0×T ₁	普通作業員		〃	0.8×T ₁	ラフテレーンクレーン運	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	0.24×T ₁		諸雑費率		%	7		函内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	土質					砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)	0(素掘)	31.6	25.0	17.1	10.1	4.8	0を超え98.0以下[0を超え1.0以下]	30.2	23.9	16.4	9.7	4.6	98.0を超え137.2以下[1.0を超え1.4以下]	23.9	18.9	13.0	7.6	3.7	137.2を超え176.4以下[1.4を超え1.8以下]	21.2	16.8	11.5	6.8	3.2	176.4を超え215.6以下[1.8を超え2.2以下]	15.8	12.5	8.6	5.0	2.4	215.6を超え254.8以下[2.2を超え2.6以下]	14.0	11.1	7.6	4.5	2.1	254.8を超え294.0以下[2.6を超え3.0以下]	11.7	9.3	6.4	3.8	1.8	294.0を超え333.2以下[3.0を超え3.4以下]	9.9	7.9	5.4	3.2	1.5	333.2を超え352.8以下[3.4を超え3.6以下]	8.1	6.4	4.4	2.6	1.2	352.8を超え372.4以下[3.6を超え3.8以下]	7.2	5.7	3.9	2.3	1.1	372.4を超え392.0以下[3.8を超え4.0以下]	6.8	5.4	3.7	2.2	1.0	
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
土木一般世話役		人	0.3×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量(t)																																																																																																																																																																																																																	
溶接工		〃	1.4×T ₁																																																																																																																																																																																																																		
普通作業員		〃	0.8×T ₁																																																																																																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン運	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 20t吊	日	1.2																																																																																																																																																																																																																		
諸雑費率		%	6																																																																																																																																																																																																																		
函内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	土質																																																																																																																																																																																																																				
	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)																																																																																																																																																																																																																
0(素掘)	31.6	25.0	17.1	10.1	4.8																																																																																																																																																																																																																
0を超え98.0以下[0を超え1.0以下]	30.2	23.9	16.4	9.7	4.6																																																																																																																																																																																																																
98.0を超え137.2以下[1.0を超え1.4以下]	23.9	18.9	13.0	7.6	3.7																																																																																																																																																																																																																
137.2を超え176.4以下[1.4を超え1.8以下]	21.2	16.8	11.5	6.8	3.2																																																																																																																																																																																																																
176.4を超え215.6以下[1.8を超え2.2以下]	15.8	12.5	8.6	5.0	2.4																																																																																																																																																																																																																
215.6を超え254.8以下[2.2を超え2.6以下]	14.0	11.1	7.6	4.5	2.1																																																																																																																																																																																																																
254.8を超え294.0以下[2.6を超え3.0以下]	11.7	9.3	6.4	3.8	1.8																																																																																																																																																																																																																
294.0を超え333.2以下[3.0を超え3.4以下]	9.9	7.9	5.4	3.2	1.5																																																																																																																																																																																																																
333.2を超え352.8以下[3.4を超え3.6以下]	8.1	6.4	4.4	2.6	1.2																																																																																																																																																																																																																
352.8を超え372.4以下[3.6を超え3.8以下]	7.2	5.7	3.9	2.3	1.1																																																																																																																																																																																																																
372.4を超え392.0以下[3.8を超え4.0以下]	6.8	5.4	3.7	2.2	1.0																																																																																																																																																																																																																
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																	
土木一般世話役		人	0.5×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量(t)																																																																																																																																																																																																																	
溶接工		〃	1.0×T ₁																																																																																																																																																																																																																		
普通作業員		〃	0.8×T ₁																																																																																																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン運	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	0.24×T ₁																																																																																																																																																																																																																		
諸雑費率		%	7																																																																																																																																																																																																																		
函内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	土質																																																																																																																																																																																																																				
	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)																																																																																																																																																																																																																
0(素掘)	31.6	25.0	17.1	10.1	4.8																																																																																																																																																																																																																
0を超え98.0以下[0を超え1.0以下]	30.2	23.9	16.4	9.7	4.6																																																																																																																																																																																																																
98.0を超え137.2以下[1.0を超え1.4以下]	23.9	18.9	13.0	7.6	3.7																																																																																																																																																																																																																
137.2を超え176.4以下[1.4を超え1.8以下]	21.2	16.8	11.5	6.8	3.2																																																																																																																																																																																																																
176.4を超え215.6以下[1.8を超え2.2以下]	15.8	12.5	8.6	5.0	2.4																																																																																																																																																																																																																
215.6を超え254.8以下[2.2を超え2.6以下]	14.0	11.1	7.6	4.5	2.1																																																																																																																																																																																																																
254.8を超え294.0以下[2.6を超え3.0以下]	11.7	9.3	6.4	3.8	1.8																																																																																																																																																																																																																
294.0を超え333.2以下[3.0を超え3.4以下]	9.9	7.9	5.4	3.2	1.5																																																																																																																																																																																																																
333.2を超え352.8以下[3.4を超え3.6以下]	8.1	6.4	4.4	2.6	1.2																																																																																																																																																																																																																
352.8を超え372.4以下[3.6を超え3.8以下]	7.2	5.7	3.9	2.3	1.1																																																																																																																																																																																																																
372.4を超え392.0以下[3.8を超え4.0以下]	6.8	5.4	3.7	2.2	1.0																																																																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																																																								
ニューマチックケーソン工	<p>(2) 人力掘削で、作業室内体積(気積)が30m³未満の場合の1日(2組)当りの掘削量(D_b)は、次式による。</p> $D_b = \alpha \times D_{b1}$ <p>D_b: 1日(2組)当りの掘削量(m³・地山/日) α: 補正係数 D_{b1}: 作業室内体積30m³未満の1日(2組)当りの掘削量(m³・地山/日)</p>	<p>(2) 人力掘削で、作業室内体積(気積)が30m³未満の場合の1日(2組)当りの掘削量(D_b)は、次式による。</p> $D_b = \alpha \times D_{b1}$ <p>D_b: 1日(2組)当りの掘削量(m³・地山/日) α: 補正係数 D_{b1}: 作業室内体積30m³未満の1日(2組)当りの掘削量(m³・地山/日)</p>																																																																																																																																																																									
	<p>表8.3 作業室内体積30m³未満の1日(2組)当りの掘削量(D_{b1}) (m³・地山/日)</p>	<p>表8.3 作業室内体積30m³未満の1日(2組)当りの掘削量(D_{b1}) (m³・地山/日)</p>																																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>掘内作業気圧 (kPa[kgf/cm²])</th> <th>作業室内体積(m³)</th> <th>0~10未満</th> <th>10~15未満</th> <th>15~20未満</th> <th>20~25未満</th> <th>25~30未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0(素掘)</td> <td></td> <td>5.3</td> <td>10.5</td> <td>15.8</td> <td>21.1</td> <td>26.3</td> </tr> <tr> <td>0を超え98.0以下 [0を超え1.0以下]</td> <td></td> <td>5.0</td> <td>10.1</td> <td>15.1</td> <td>20.2</td> <td>25.2</td> </tr> <tr> <td>98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>8.0</td> <td>12.0</td> <td>15.9</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]</td> <td></td> <td>3.5</td> <td>7.1</td> <td>10.6</td> <td>14.1</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]</td> <td></td> <td>2.6</td> <td>5.3</td> <td>7.9</td> <td>10.5</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>4.7</td> <td>7.0</td> <td>9.3</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>3.9</td> <td>5.9</td> <td>7.8</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]</td> <td></td> <td>1.7</td> <td>3.3</td> <td>5.0</td> <td>6.6</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]</td> <td></td> <td>1.4</td> <td>2.7</td> <td>4.1</td> <td>5.4</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]</td> <td></td> <td>1.2</td> <td>2.4</td> <td>3.6</td> <td>4.8</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]</td> <td></td> <td>1.1</td> <td>2.3</td> <td>3.4</td> <td>4.5</td> <td>5.6</td> </tr> </tbody> </table>	掘内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	作業室内体積(m ³)	0~10未満	10~15未満	15~20未満	20~25未満	25~30未満	0(素掘)		5.3	10.5	15.8	21.1	26.3	0を超え98.0以下 [0を超え1.0以下]		5.0	10.1	15.1	20.2	25.2	98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]		4.0	8.0	12.0	15.9	19.9	137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]		3.5	7.1	10.6	14.1	17.7	176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]		2.6	5.3	7.9	10.5	13.2	215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]		2.3	4.7	7.0	9.3	11.7	254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]		2.0	3.9	5.9	7.8	9.8	294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]		1.7	3.3	5.0	6.6	8.3	333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]		1.4	2.7	4.1	5.4	6.8	352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]		1.2	2.4	3.6	4.8	6.0	372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]		1.1	2.3	3.4	4.5	5.6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>掘内作業気圧 (kPa[kgf/cm²])</th> <th>作業室内体積(m³)</th> <th>0~10未満</th> <th>10~15未満</th> <th>15~20未満</th> <th>20~25未満</th> <th>25~30未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0(素掘)</td> <td></td> <td>5.3</td> <td>10.5</td> <td>15.8</td> <td>21.1</td> <td>26.3</td> </tr> <tr> <td>0を超え98.0以下 [0を超え1.0以下]</td> <td></td> <td>5.0</td> <td>10.1</td> <td>15.1</td> <td>20.2</td> <td>25.2</td> </tr> <tr> <td>98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>8.0</td> <td>12.0</td> <td>15.9</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]</td> <td></td> <td>3.5</td> <td>7.1</td> <td>10.6</td> <td>14.1</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]</td> <td></td> <td>2.6</td> <td>5.3</td> <td>7.9</td> <td>10.5</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>4.7</td> <td>7.0</td> <td>9.3</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>3.9</td> <td>5.9</td> <td>7.8</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]</td> <td></td> <td>1.7</td> <td>3.3</td> <td>5.0</td> <td>6.6</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]</td> <td></td> <td>1.4</td> <td>2.7</td> <td>4.1</td> <td>5.4</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]</td> <td></td> <td>1.2</td> <td>2.4</td> <td>3.6</td> <td>4.8</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]</td> <td></td> <td>1.1</td> <td>2.3</td> <td>3.4</td> <td>4.5</td> <td>5.6</td> </tr> </tbody> </table>	掘内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	作業室内体積(m ³)	0~10未満	10~15未満	15~20未満	20~25未満	25~30未満	0(素掘)		5.3	10.5	15.8	21.1	26.3	0を超え98.0以下 [0を超え1.0以下]		5.0	10.1	15.1	20.2	25.2	98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]		4.0	8.0	12.0	15.9	19.9	137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]		3.5	7.1	10.6	14.1	17.7	176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]		2.6	5.3	7.9	10.5	13.2	215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]		2.3	4.7	7.0	9.3	11.7	254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]		2.0	3.9	5.9	7.8	9.8	294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]		1.7	3.3	5.0	6.6	8.3	333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]		1.4	2.7	4.1	5.4	6.8	352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]		1.2	2.4	3.6	4.8	6.0	372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]		1.1	2.3	3.4	4.5	5.6	
掘内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	作業室内体積(m ³)	0~10未満	10~15未満	15~20未満	20~25未満	25~30未満																																																																																																																																																																					
0(素掘)		5.3	10.5	15.8	21.1	26.3																																																																																																																																																																					
0を超え98.0以下 [0を超え1.0以下]		5.0	10.1	15.1	20.2	25.2																																																																																																																																																																					
98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]		4.0	8.0	12.0	15.9	19.9																																																																																																																																																																					
137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]		3.5	7.1	10.6	14.1	17.7																																																																																																																																																																					
176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]		2.6	5.3	7.9	10.5	13.2																																																																																																																																																																					
215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]		2.3	4.7	7.0	9.3	11.7																																																																																																																																																																					
254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]		2.0	3.9	5.9	7.8	9.8																																																																																																																																																																					
294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]		1.7	3.3	5.0	6.6	8.3																																																																																																																																																																					
333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]		1.4	2.7	4.1	5.4	6.8																																																																																																																																																																					
352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]		1.2	2.4	3.6	4.8	6.0																																																																																																																																																																					
372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]		1.1	2.3	3.4	4.5	5.6																																																																																																																																																																					
掘内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	作業室内体積(m ³)	0~10未満	10~15未満	15~20未満	20~25未満	25~30未満																																																																																																																																																																					
0(素掘)		5.3	10.5	15.8	21.1	26.3																																																																																																																																																																					
0を超え98.0以下 [0を超え1.0以下]		5.0	10.1	15.1	20.2	25.2																																																																																																																																																																					
98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]		4.0	8.0	12.0	15.9	19.9																																																																																																																																																																					
137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]		3.5	7.1	10.6	14.1	17.7																																																																																																																																																																					
176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]		2.6	5.3	7.9	10.5	13.2																																																																																																																																																																					
215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]		2.3	4.7	7.0	9.3	11.7																																																																																																																																																																					
254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]		2.0	3.9	5.9	7.8	9.8																																																																																																																																																																					
294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]		1.7	3.3	5.0	6.6	8.3																																																																																																																																																																					
333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]		1.4	2.7	4.1	5.4	6.8																																																																																																																																																																					
352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]		1.2	2.4	3.6	4.8	6.0																																																																																																																																																																					
372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]		1.1	2.3	3.4	4.5	5.6																																																																																																																																																																					
	<p>表8.4 土質による補正係数(α)</p>	<p>表8.4 土質による補正係数(α)</p>																																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>砂,砂質土,粘性土及び粘土</th> <th>レキ及びレキ質土</th> <th>玉石混り砂レキ</th> <th>軟岩(I)</th> <th>軟岩(II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>0.79</td> <td>0.54</td> <td>0.32</td> <td>0.15</td> </tr> </tbody> </table>	土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)	補正係数	1.00	0.79	0.54	0.32	0.15	<table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>砂,砂質土,粘性土及び粘土</th> <th>レキ及びレキ質土</th> <th>玉石混り砂レキ</th> <th>軟岩(I)</th> <th>軟岩(II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td>1.00</td> <td>0.79</td> <td>0.54</td> <td>0.32</td> <td>0.15</td> </tr> </tbody> </table>	土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)	補正係数	1.00	0.79	0.54	0.32	0.15																																																																																																																																																	
土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)																																																																																																																																																																						
補正係数	1.00	0.79	0.54	0.32	0.15																																																																																																																																																																						
土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩(I)	軟岩(II)																																																																																																																																																																						
補正係数	1.00	0.79	0.54	0.32	0.15																																																																																																																																																																						
	<p>(注) 1. 刃口掘付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩(I)は、ピックハンマ等の併用による掘削、軟岩(II)は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩(II)の場合、掘削10m³当りダイナマイト2.1kg、雷管13個を計上する。 なお、削孔に要する設備として削岩機3台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)1台を計上する。 4. 軟岩(I)の場合、ピックハンマ4台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)1台を計上する。 5. 軟岩(I)で亀裂が少なくプレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩(II)において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。</p>	<p>(注) 1. 刃口掘付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩(I)は、ピックハンマ等の併用による掘削、軟岩(II)は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩(II)の場合、掘削10m³当りダイナマイト2.1kg、雷管13個を計上する。 なお、削孔に要する設備として削岩機3台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)1台を計上する。 4. 軟岩(I)の場合、ピックハンマ4台、空気圧縮機(7.5~7.8m³/min)可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)1台を計上する。 5. 軟岩(I)で亀裂が少なくプレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩(II)において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。</p>																																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																								
ニューマチックケーソン工	<p>8-2-2 機械掘削（掘削面積40m²以上100m²未満は、潜函用ショベルによる掘削、100m²以上300m²未満は、天井走行式ショベルによる掘削） 施工1日（2組）当りの掘削量（D_c）は、次式による。 $D_c = \beta \times D_{c1}$ D_c：1日（2組）当りの掘削量（m³・地山/日） β：補正係数 D_{c1}：機械掘削1日（2組）当りの掘削量（m³・地山/日）</p>	<p>8-2-1 機械掘削（掘削面積40m²以上100m²未満は、潜函用ショベルによる掘削、100m²以上300m²未満は、天井走行式ショベルによる掘削） 施工1日（2組）当りの掘削量（D_c）は、次式による。 $D_c = \beta \times D_{c1}$ D_c：1日（2組）当りの掘削量（m³・地山/日） β：補正係数 D_{c1}：機械掘削1日（2組）当りの掘削量（m³・地山/日）</p>																																																																																																																									
	<p>表8.5 機械掘削1日（2組）当りの掘削量（D_{c1}） （m³・地山/日）</p>	<p>表8.2 機械掘削1日（2組）当りの掘削量（D_{c1}） （m³・地山/日）</p>																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削面積 (m²) 函内作業気圧 (kPa[kgf/cm²])</th> <th>40~60未満</th> <th>60~100未満</th> <th>100~300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 (素掘)</td><td>43.3</td><td>49.8</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>0を超え 98.0以下 [0を超え1.0以下]</td><td>41.3</td><td>47.6</td><td>92.2</td></tr> <tr><td>98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]</td><td>32.8</td><td>37.6</td><td>73.0</td></tr> <tr><td>137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]</td><td>29.0</td><td>33.5</td><td>64.8</td></tr> <tr><td>176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]</td><td>21.7</td><td>24.9</td><td>48.2</td></tr> <tr><td>215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]</td><td>19.2</td><td>22.0</td><td>42.6</td></tr> <tr><td>254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]</td><td>16.1</td><td>18.4</td><td>35.8</td></tr> <tr><td>294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]</td><td>13.6</td><td>15.6</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]</td><td>11.1</td><td>12.7</td><td>24.7</td></tr> <tr><td>352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]</td><td>9.8</td><td>11.3</td><td>22.0</td></tr> <tr><td>372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]</td><td>9.3</td><td>10.7</td><td>20.6</td></tr> </tbody> </table>	掘削面積 (m ²) 函内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	40~60未満	60~100未満	100~300未満	0 (素掘)	43.3	49.8	96.3	0を超え 98.0以下 [0を超え1.0以下]	41.3	47.6	92.2	98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]	32.8	37.6	73.0	137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]	29.0	33.5	64.8	176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]	21.7	24.9	48.2	215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]	19.2	22.0	42.6	254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]	16.1	18.4	35.8	294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]	13.6	15.6	30.3	333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]	11.1	12.7	24.7	352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]	9.8	11.3	22.0	372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]	9.3	10.7	20.6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削面積 (m²) 函内作業気圧 (MPa[kPa[kgf/cm²])</th> <th colspan="2">40~60未満</th> <th colspan="2">60~100未満</th> <th>100~300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 (素掘)</td><td>43.3</td><td>53.4</td><td>49.7</td><td>61.4</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>0 を超え0.10以下</td><td>42.0</td><td>51.9</td><td>48.3</td><td>59.6</td><td>93.6</td></tr> <tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>34.0 (36.5)</td><td>42.0 (45.0)</td><td>39.1 (41.9)</td><td>48.2 (51.8)</td><td>75.7 (81.2)</td></tr> <tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>24.7 (29.7)</td><td>30.5 (36.6)</td><td>28.4 (34.1)</td><td>35.1 (42.1)</td><td>55.1 (66.1)</td></tr> <tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>16.1 (21.6)</td><td>19.8 (26.7)</td><td>18.5 (24.9)</td><td>22.8 (30.7)</td><td>35.8 (48.2)</td></tr> <tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>13.0 (18.5)</td><td>16.0 (22.9)</td><td>14.9 (21.3)</td><td>18.4 (26.3)</td><td>28.9 (41.3)</td></tr> <tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>9.9 (14.8)</td><td>12.2 (18.3)</td><td>11.4 (17.1)</td><td>14.0 (21.1)</td><td>22.0 (33.0)</td></tr> <tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>— (11.7)</td><td>— (14.5)</td><td>— (13.5)</td><td>— (16.7)</td><td>— (26.2)</td></tr> <tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>— (9.3)</td><td>— (11.4)</td><td>— (10.7)</td><td>— (13.2)</td><td>— (20.6)</td></tr> <tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>— (8.0)</td><td>— (9.9)</td><td>— (9.2)</td><td>— (11.4)</td><td>— (17.9)</td></tr> <tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>— (8.0)</td><td>— (9.9)</td><td>— (9.2)</td><td>— (11.4)</td><td>— (17.9)</td></tr> </tbody> </table>	掘削面積 (m ²) 函内作業気圧 (MPa[kPa[kgf/cm ²])	40~60未満		60~100未満		100~300未満	0 (素掘)	43.3	53.4	49.7	61.4	96.3	0 を超え0.10以下	42.0	51.9	48.3	59.6	93.6	0.10を超え0.14以下	34.0 (36.5)	42.0 (45.0)	39.1 (41.9)	48.2 (51.8)	75.7 (81.2)	0.14を超え0.18以下	24.7 (29.7)	30.5 (36.6)	28.4 (34.1)	35.1 (42.1)	55.1 (66.1)	0.18を超え0.22以下	16.1 (21.6)	19.8 (26.7)	18.5 (24.9)	22.8 (30.7)	35.8 (48.2)	0.22を超え0.26以下	13.0 (18.5)	16.0 (22.9)	14.9 (21.3)	18.4 (26.3)	28.9 (41.3)	0.26を超え0.30以下	9.9 (14.8)	12.2 (18.3)	11.4 (17.1)	14.0 (21.1)	22.0 (33.0)	0.30を超え0.34以下	— (11.7)	— (14.5)	— (13.5)	— (16.7)	— (26.2)	0.34を超え0.36以下	— (9.3)	— (11.4)	— (10.7)	— (13.2)	— (20.6)	0.36を超え0.38以下	— (8.0)	— (9.9)	— (9.2)	— (11.4)	— (17.9)	0.38を超え0.40以下	— (8.0)	— (9.9)	— (9.2)	— (11.4)	— (17.9)	
掘削面積 (m ²) 函内作業気圧 (kPa[kgf/cm ²])	40~60未満	60~100未満	100~300未満																																																																																																																								
0 (素掘)	43.3	49.8	96.3																																																																																																																								
0を超え 98.0以下 [0を超え1.0以下]	41.3	47.6	92.2																																																																																																																								
98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]	32.8	37.6	73.0																																																																																																																								
137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]	29.0	33.5	64.8																																																																																																																								
176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]	21.7	24.9	48.2																																																																																																																								
215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]	19.2	22.0	42.6																																																																																																																								
254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]	16.1	18.4	35.8																																																																																																																								
294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]	13.6	15.6	30.3																																																																																																																								
333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]	11.1	12.7	24.7																																																																																																																								
352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]	9.8	11.3	22.0																																																																																																																								
372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]	9.3	10.7	20.6																																																																																																																								
掘削面積 (m ²) 函内作業気圧 (MPa[kPa[kgf/cm ²])	40~60未満		60~100未満		100~300未満																																																																																																																						
0 (素掘)	43.3	53.4	49.7	61.4	96.3																																																																																																																						
0 を超え0.10以下	42.0	51.9	48.3	59.6	93.6																																																																																																																						
0.10を超え0.14以下	34.0 (36.5)	42.0 (45.0)	39.1 (41.9)	48.2 (51.8)	75.7 (81.2)																																																																																																																						
0.14を超え0.18以下	24.7 (29.7)	30.5 (36.6)	28.4 (34.1)	35.1 (42.1)	55.1 (66.1)																																																																																																																						
0.18を超え0.22以下	16.1 (21.6)	19.8 (26.7)	18.5 (24.9)	22.8 (30.7)	35.8 (48.2)																																																																																																																						
0.22を超え0.26以下	13.0 (18.5)	16.0 (22.9)	14.9 (21.3)	18.4 (26.3)	28.9 (41.3)																																																																																																																						
0.26を超え0.30以下	9.9 (14.8)	12.2 (18.3)	11.4 (17.1)	14.0 (21.1)	22.0 (33.0)																																																																																																																						
0.30を超え0.34以下	— (11.7)	— (14.5)	— (13.5)	— (16.7)	— (26.2)																																																																																																																						
0.34を超え0.36以下	— (9.3)	— (11.4)	— (10.7)	— (13.2)	— (20.6)																																																																																																																						
0.36を超え0.38以下	— (8.0)	— (9.9)	— (9.2)	— (11.4)	— (17.9)																																																																																																																						
0.38を超え0.40以下	— (8.0)	— (9.9)	— (9.2)	— (11.4)	— (17.9)																																																																																																																						
		<p>(注) 酸素減圧を行う場合は、()内の数を計上する。</p>																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																								
ニューマチックケーソン工	<p style="text-align: center;">表8.6 土質による補正係数 (β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">土質</th> <th style="width: 15%;">砂,砂質土,粘性土及び粘土</th> <th style="width: 15%;">レキ及びレキ質土</th> <th style="width: 15%;">玉石混り砂レキ</th> <th style="width: 15%;">軟岩 (I)</th> <th style="width: 15%;">軟岩 (II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">0.84</td> <td style="text-align: center;">0.56</td> <td style="text-align: center;">0.35</td> <td style="text-align: center;">0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 刃口据付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩(I)は、ピックハンマ等による掘削、軟岩(II)は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩(II)の場合、掘削10m³当りダイナマイト2.1kg、雷管13個を計上する。 4. 軟岩(II)の場合は削岩機を、軟岩(I)の場合はピックハンマを次の台数計上する。 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機(削岩機用) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機(削岩機用) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機(ピックハンマ) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機(ピックハンマ) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 5. 軟岩(I)で亀裂が少なくプレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩(II)において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。</p>	土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)	補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17	<p style="text-align: center;">表8.3 土質による補正係数 (β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">土質</th> <th style="width: 15%;">砂,砂質土,粘性土及び粘土</th> <th style="width: 15%;">レキ及びレキ質土</th> <th style="width: 15%;">玉石混り砂レキ</th> <th style="width: 15%;">軟岩 (I)</th> <th style="width: 15%;">軟岩 (II)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">0.84</td> <td style="text-align: center;">0.56</td> <td style="text-align: center;">0.35</td> <td style="text-align: center;">0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 刃口据付面から掘削深3mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩(I)は、ピックハンマ等による掘削、軟岩(II)は発破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩(II)の場合、掘削10m³当りダイナマイト+火薬2.1kg、雷管13個を計上する。 4. 軟岩(II)の場合は削岩機を、軟岩(I)の場合はピックハンマを次の台数計上する。 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機(削岩機用) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機(削岩機用) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機(ピックハンマ) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機(ピックハンマ) 7.5~7.8m³/min [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] × 1台 5. 軟岩(I)で亀裂が少なくプレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩(II)において中硬岩に近く相当に発破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。</p>	土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)	補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17	
土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)																						
補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17																						
土質	砂,砂質土,粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩 (I)	軟岩 (II)																						
補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17																						

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要												
ニューマチックケーソン工	<p>8-3 沈下促進工法</p> <p>8-3-1 載荷工法</p> <p>(1) 材料 水荷重（ポンプによる注排水）を標準とするが、現場条件等によりその他の工法が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) 労務 労務歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.7 水荷重（ポンプによる注排水）作業歩掛 (1 t 当り)</p> <table border="1" data-bbox="468 520 1276 598"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 注排水は、工事用水中モータポンプ 普通型(潜水ポンプ) φ100を必要台数計上する。</p> <p>8-4 構築工</p> <p>8-4-1 本体及び止水壁の製作 本体及び止水壁は、鉄筋コンクリート構造を標準とする。</p> <p>(1) 本体及び止水壁の構築日数 コンクリートは早強セメント使用を標準とし、1リフト（ロット）当り標準構築日数は、艀装の組立・解体を含めて10日（普通セメント使用の場合12日）とする。なお、止水壁の製作は止水壁ケーソンを使用する場合のみ適用する。</p> <p>(2) 投入打設工 「第5編3章コンクリート工①コンクリート工（鉄筋構造物）」により別途計上する。</p> <p>(3) 足場工</p> <p>① 足場は枠組足場を標準とし、掛面積は、次式による。 $1 \text{ ロット足場掛面積 (掛m}^2) = 1 \text{ ロット外周面積} \times 1.6$ なお、上式の数量は、ケーソン内側の足場数量も含む。</p> <p>② 足場の設置及び撤去は、1ロット毎に計上する。</p> <p>③ 足場の架設器材及び設置・撤去歩掛は、「第2編6章仮設工⑤足場工」により、別途計上する。</p> <p>(4) 型枠工 「第5編3章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。</p> <p>(5) 支保工 「第2編6章仮設工⑥支保工」により別途計上する。</p> <p>(6) 鉄筋工 鉄筋工は、市場単価により別途計上する。</p> <p>(7) 養生工 「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」により別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	特 殊 作 業 員	人	0.02	<p>8-3 沈下促進工法</p> <p>8-3-1 載荷工法</p> <p>(1) 材料 水荷重（ポンプによる注排水）を標準とするが、現場条件等によりその他の工法が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) <u>水荷重（ポンプによる注排水）作業</u> <u>水荷重（ポンプによる注排水）作業</u>は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.4 水荷重（ポンプによる注排水）作業歩掛 (1 t 当り)</p> <table border="1" data-bbox="1656 520 2463 598"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 注排水は、工事用水中モータポンプ 普通型(潜水ポンプ) φ100を必要台数計上する。</p> <p>8-4 構築工</p> <p>8-4-1 本体及び止水壁の製作 本体及び止水壁は、鉄筋コンクリート構造を標準とする。</p> <p>(1) 本体及び止水壁の構築日数 コンクリートは早強セメント使用を標準とし、1リフト（ロット）当り標準構築日数は、艀装の組立・解体を含めて10日（普通セメント使用の場合12日）とする。なお、止水壁の製作は止水壁ケーソンを使用する場合のみ適用する。</p> <p>(2) 投入打設工 「第5編3章コンクリート工①コンクリート工（鉄筋構造物）」により別途計上する。</p> <p>(3) 足場工</p> <p>① 足場は枠組足場を標準とし、掛面積は、次式による。 $1 \text{ ロット足場掛面積 (掛m}^2) = 1 \text{ ロット外周面積} \times 1.6 \text{ (掛m}^2)$ なお、上式の数量は、ケーソン内側の足場数量も含む。</p> <p>② 足場の設置及び撤去は、1ロット毎に計上する。</p> <p>③ 足場の架設器材及び設置・撤去歩掛は、「第2編6章仮設工⑤足場工」により、別途計上する。</p> <p>(4) 型枠工 「第5編3章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。</p> <p>(5) 支保工 「第2編6章仮設工⑥支保工」により別途計上する。</p> <p>(6) 鉄筋工 鉄筋工は、市場単価により別途計上する。</p> <p>(7) 養生工 「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」により別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	特 殊 作 業 員	人	0.02	
名 称	単 位	数 量													
特 殊 作 業 員	人	0.02													
名 称	単 位	数 量													
特 殊 作 業 員	人	0.02													

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																										
ニューマチックケーソン工	<p>8-4-2 中埋コンクリート打設</p> <p>(1) 中埋コンクリート工 中埋コンクリート打設、コンクリートポンプ車の運転経費は「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 型枠工 「第5編3章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。</p> <p>(3) 支保工 「第2編6章仮設工⑥支保工」により別途計上する。</p> <p>(4) 鉄筋工 鉄筋工は、市場単価により別途計上する。</p> <p>(5) 養生工 「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>(6) ブローパイプバルブ調整 ケーソン1基当りのブローパイプのバルブ調整は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.8 ブローパイプバルブ調整 (1基当り)</p> <table border="1" data-bbox="468 760 1276 882"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 かん 工 人</td> <td>人</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バルブ調整は中埋コンクリートの打設量に関係ない。 2. 諸雑費はボールバルブ、フランジの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-4-3 コンタクトグラウト打設 コンタクトグラウト打設が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>8-5 止水壁とりこわし工 鉄筋コンクリート構造の止水壁のとりこわしは、火薬によるとりこわしを標準とするが、振動、騒音等を防止する必要がある場合は、コンクリート圧砕機によるとりこわし等、他の工法による。</p> <p>8-5-1 火薬によるとりこわし 火薬によるとりこわし歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.9 火薬によるとりこわし歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="415 1402 1329 1680"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>火 薬</td> <td>榎2号</td> <td>kg</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>電 気 雷 管</td> <td>瞬発、脚線長 3.0m, 6号</td> <td>個</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、発破作業、鉄筋切断及び簡単な後片付けまでであり、コンクリート殻の運搬が必要な場合は、別途計上する。 2. 火薬充填用孔は、あらかじめ施工しておくものとする。 3. 諸雑費は、アセチレン・酸素等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-5-2 コンクリート圧砕機によるとりこわし コンクリート圧砕機(バックハウ装着)によるとりこわしは、別途考慮する。</p>	名 称	単 位	数 量	潜 かん 工 人	人	6.3	諸 雑 費	%	21	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.1	特 殊 作 業 員		〃	0.8	普 通 作 業 員		〃	0.3	火 薬	榎2号	kg	2.7	電 気 雷 管	瞬発、脚線長 3.0m, 6号	個	20	諸 雑 費 率		%	10	<p>8-4-2 中埋コンクリート打設</p> <p>(1) 中埋コンクリート工 中埋コンクリート打設、コンクリートポンプ車の運転経費は「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 型枠工 「第5編3章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。</p> <p>(3) 支保工 「第2編6章仮設工⑥支保工」により別途計上する。</p> <p>(4) 鉄筋工 鉄筋工は、市場単価により別途計上する。</p> <p>(5) 養生工 「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>(6) ブローパイプバルブ調整 ケーソン1基当りのブローパイプのバルブ調整は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.5 ブローパイプバルブ調整 (1基当り)</p> <table border="1" data-bbox="1647 760 2454 882"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜 かん 工 人</td> <td>人</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バルブ調整は中埋コンクリートの打設量に関係ない。 2. 諸雑費はボールバルブ、フランジの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-4-3 コンタクトグラウト打設 コンタクトグラウト打設が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>8-5 止水壁とりこわし工 鉄筋コンクリート構造の止水壁のとりこわしは、火薬によるとりこわしを標準とするが、振動、騒音等を防止する必要がある場合は、コンクリート圧砕機によるとりこわし等、他の工法による。</p> <p>8-5-1 火薬によるとりこわし 火薬によるとりこわし歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.6 火薬によるとりこわし歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1593 1402 2507 1680"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>火 薬</td> <td>榎2号</td> <td>kg</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>電 気 雷 管</td> <td>瞬発、脚線長 3.0m, 6号</td> <td>個</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、発破作業、鉄筋切断及び簡単な後片付けまでであり、コンクリート殻の運搬が必要な場合は、別途計上する。 2. 火薬充填用孔は、あらかじめ施工しておくものとする。 3. 諸雑費は、アセチレン・酸素等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-5-2 コンクリート圧砕機によるとりこわし コンクリート圧砕機(バックハウ装着)によるとりこわしは、別途考慮する。</p>	名 称	単 位	数 量	潜 かん 工 人	人	6.3	諸 雑 費	%	21	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.1	特 殊 作 業 員		〃	0.8	普 通 作 業 員		〃	0.3	火 薬	榎2号	kg	2.7	電 気 雷 管	瞬発、脚線長 3.0m, 6号	個	20	諸 雑 費 率		%	10	
名 称	単 位	数 量																																																																											
潜 かん 工 人	人	6.3																																																																											
諸 雑 費	%	21																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.1																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	0.8																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.3																																																																										
火 薬	榎2号	kg	2.7																																																																										
電 気 雷 管	瞬発、脚線長 3.0m, 6号	個	20																																																																										
諸 雑 費 率		%	10																																																																										
名 称	単 位	数 量																																																																											
潜 かん 工 人	人	6.3																																																																											
諸 雑 費	%	21																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.1																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	0.8																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.3																																																																										
火 薬	榎2号	kg	2.7																																																																										
電 気 雷 管	瞬発、脚線長 3.0m, 6号	個	20																																																																										
諸 雑 費 率		%	10																																																																										

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ニューマチックケーソン工	<p>9. 仮設備工 9-1 仮設備の組立・解体 仮設備の組立・解体は、次表により計上する。 ただし、定置式空気圧縮機設備、土砂ホッパ、潜函用ショベル等を同場所に同時に2台以上組立・解体する場合は、次表に台数分を乗じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">表9.1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">定置式空気圧縮機設備 (29/36m³/min)</th> <th colspan="2">土砂ホッパ (10m³級)</th> <th colspan="2">潜函用ショベル (電動バックホウ山積 0.13m³/平積0.1m³)</th> <th colspan="2">天井走行式ショベル (山積0.15m³ 平積0.13m³)</th> <th colspan="2">クーリングタワー設備 (40~60t/h)</th> <th colspan="2">ホスピタルロック</th> </tr> <tr> <th>組立 7.0日</th> <th>解体 5.0日</th> <th>組立 1.5日</th> <th>解体 1.0日</th> <th>組立 1.0日</th> <th>解体 1.0日</th> <th>組立 3.2日</th> <th>解体 3.2日</th> <th>組立 1.0日</th> <th>解体 1.0日</th> <th>組立 1.1日</th> <th>解体 1.0日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.3</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>7.0</td> <td>3.0</td> <td>5.2</td> <td>2.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>14.0</td> <td>5.0</td> <td>3.5</td> <td>1.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.0</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>7.9</td> <td>6.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>11.0</td> <td>5.0</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.7</td> <td>0.3</td> <td>3.3</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 16t吊</td> <td>日</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>3.2</td> <td>3.2</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">24</td> <td colspan="2">2</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">10</td> <td colspan="2">33</td> <td colspan="2">8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 組立材料は、地盤状態のよい水平面上に設置した場合の必要量であり、コンクリートの打設歩掛は組立・解体歩掛に含まれている。 2. 天井走行式ショベルの組立・解体には、天井走行レールの組立・解体を含む。 3. 定置式空気圧縮機の歩掛は、レシーバータンク、圧縮空気清浄装置の組立・解体を含んでいる。 4. クーリングタワーの歩掛は、空気圧縮機等からの配管を含む。 5. 潜函用ショベルの解体歩掛は、函内作業気圧254.8kPa(2.6kgf/cm²)までを標準とし、それ以上については別途計上する。 6. 諸雑費は組立に必要な配管、ボルトナット、バルブ、パッキン等であり、労務費、材料費、賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名称	規格	単位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		土砂ホッパ (10m ³ 級)		潜函用ショベル (電動バックホウ山積 0.13m ³ /平積0.1m ³)		天井走行式ショベル (山積0.15m ³ 平積0.13m ³)		クーリングタワー設備 (40~60t/h)		ホスピタルロック		組立 7.0日	解体 5.0日	組立 1.5日	解体 1.0日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 3.2日	解体 3.2日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 1.1日	解体 1.0日	土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	—	—	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0	とび工		〃	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	—	—	3.0	1.0	溶接工		〃	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	—	—	4.0	1.1	潜かん工		〃	—	—	—	—	4.0	3.0	7.9	6.3	—	—	—	—	電工		〃	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	—	—	—	—	普通作業員		〃	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0	コンクリート		m ³	12	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2	—	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 16t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	0.5	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0	諸雑費		%	24		2		—		10		33		8		<p>9. 仮設備工 9-1 仮設備の組立・解体 仮設備の組立・解体は、次表により計上する。 ただし、定置式空気圧縮機設備、土砂ホッパ、潜函用ショベル等を同場所に同時に2台以上組立・解体する場合は、次表に台数分を乗じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">表9.1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">定置式空気圧縮機設備 (29/36m³/min)</th> <th colspan="2">土砂ホッパ (10m³級)</th> <th colspan="2">潜函用ショベル (電動バックホウ山積 0.13m³/平積0.1m³)</th> <th colspan="2">天井走行式ショベル (山積0.15m³ 平積0.13m³)</th> <th colspan="2">クーリングタワー設備 (40~60t/h)</th> <th colspan="2">ホスピタルロック</th> </tr> <tr> <th>組立 7.0日</th> <th>解体 5.0日</th> <th>組立 1.5日</th> <th>解体 1.0日</th> <th>組立 1.0日</th> <th>解体 1.0日</th> <th>組立 3.2日</th> <th>解体 3.2日</th> <th>組立 1.0日</th> <th>解体 1.0日</th> <th>組立 1.1日</th> <th>解体 1.0日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.3</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>7.0</td> <td>3.0</td> <td>5.2</td> <td>2.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>14.0</td> <td>5.0</td> <td>3.5</td> <td>1.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.0</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>7.9</td> <td>6.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>11.0</td> <td>5.0</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.7</td> <td>0.3</td> <td>3.3</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>3.2</td> <td>3.2</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">24</td> <td colspan="2"><u>7</u></td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">10</td> <td colspan="2"><u>32</u></td> <td colspan="2"><u>14</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 組立材料は、地盤状態のよい水平面上に設置した場合の必要量を計上するものとし、コンクリートの打設歩掛は組立・解体歩掛に含まれている。 2. 天井走行式ショベルの組立・解体には、天井走行レールの組立・解体を含む。 3. 定置式空気圧縮機の歩掛は、レシーバータンク、圧縮空気清浄装置の組立・解体を含んでいる。 4. クーリングタワーの歩掛は、空気圧縮機等からの配管を含む。 5. 潜函用ショベル天井走行式ショベルの解体歩掛は、函内作業気圧0.22MPa(酸素減圧の場合は0.26MPa) 254.8kPa(2.6kgf/cm²)までを標準とし、それ以上については別途考慮する。 6. 諸雑費は組立に必要な配管、ボルトナット、バルブ、パッキン、<u>土砂ホッパの足下に設置するH形鋼、ホスピタルロックの建屋材等</u>であり、労務費、<u>組立材料費、機械賃料</u>の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. <u>定置式空気圧縮機設備の基礎コンクリートの撤去については、市場単価により別途計上する。</u> 8. <u>ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</u></p>	名称	規格	単位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		土砂ホッパ (10m ³ 級)		潜函用ショベル (電動バックホウ山積 0.13m ³ /平積0.1m ³)		天井走行式ショベル (山積0.15m ³ 平積0.13m ³)		クーリングタワー設備 (40~60t/h)		ホスピタルロック		組立 7.0日	解体 5.0日	組立 1.5日	解体 1.0日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 3.2日	解体 3.2日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 1.1日	解体 1.0日	土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	—	—	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0	とび工		〃	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	—	—	3.0	1.0	溶接工		〃	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	—	—	4.0	1.1	潜かん工		〃	—	—	—	—	4.0	3.0	7.9	6.3	—	—	—	—	電工		〃	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	—	—	—	—	普通作業員		〃	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0	コンクリート		m ³	12	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2	—	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	0.5	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0	諸雑費		%	24		<u>7</u>		—		10		<u>32</u>		<u>14</u>		
	名称				規格	単位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		土砂ホッパ (10m ³ 級)		潜函用ショベル (電動バックホウ山積 0.13m ³ /平積0.1m ³)		天井走行式ショベル (山積0.15m ³ 平積0.13m ³)		クーリングタワー設備 (40~60t/h)		ホスピタルロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		組立 7.0日	解体 5.0日	組立 1.5日			解体 1.0日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 3.2日	解体 3.2日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 1.1日	解体 1.0日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	—	—	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	とび工		〃	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	—	—	3.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	溶接工		〃	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	—	—	4.0	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	潜かん工		〃	—	—	—	—	4.0	3.0	7.9	6.3	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	電工		〃	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	普通作業員		〃	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	コンクリート		m ³	12	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 16t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	0.5	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
諸雑費		%	24		2		—		10		33		8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	規格	単位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		土砂ホッパ (10m ³ 級)		潜函用ショベル (電動バックホウ山積 0.13m ³ /平積0.1m ³)		天井走行式ショベル (山積0.15m ³ 平積0.13m ³)		クーリングタワー設備 (40~60t/h)		ホスピタルロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			組立 7.0日	解体 5.0日	組立 1.5日	解体 1.0日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 3.2日	解体 3.2日	組立 1.0日	解体 1.0日	組立 1.1日	解体 1.0日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	—	—	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
とび工		〃	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	—	—	3.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
溶接工		〃	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	—	—	4.0	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
潜かん工		〃	—	—	—	—	4.0	3.0	7.9	6.3	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
電工		〃	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
普通作業員		〃	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリート		m ³	12	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	0.5	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
諸雑費		%	24		<u>7</u>		—		10		<u>32</u>		<u>14</u>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>9-2 送気用配管設備 配管は、一般配管用鋼管(ガス管)とし、空気圧縮機からゲージ設備まではφ150mm、ゲージ設備からケーソンまではφ100mmを標準とし、配管歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.2 配管歩掛 (100m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">管径 (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">100</th> <th colspan="2">150</th> </tr> <tr> <th>組立</th> <th>解体</th> <th>組立</th> <th>解体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>配管工</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td>%</td> <td colspan="2">21</td> <td colspan="2">16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費はパッキン、ボルトナット、ティー、バルブの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名称	単位	管径 (mm)				100		150		組立	解体	組立	解体	土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6	普通作業員	〃	3.0	2.0	4.0	2.0	配管工	〃	3.0	2.0	5.0	3.0	諸雑費	%	21		16		<p>現行どおり</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																															
名称	単位			管径 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				100		150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		組立	解体	組立	解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
普通作業員	〃	3.0	2.0	4.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
配管工	〃	3.0	2.0	5.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
諸雑費	%	21		16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																
ニューマチックケーソン工	<p>9-3 艀装設備組立・解体 潜函のシャフト（たて管）、送気管、排気管及び配電管等の設備機械の艀装は、1リフト（ロット）毎に組立・解体を行い、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.3 組立・解体歩掛 (人/1艀装・1リフト（ロット）当り)</p> <table border="1" data-bbox="454 363 1285 600"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 沈下完了後の解体労務は、上記の歩掛に含まれている。 2. 艀装組立・解体日数は、1艀装1リフト(ロット)当り1日とする。 3. クローラクレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は艀装に伴うボルトナット、パッキンであり、労務費、賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>10. 参考資料 10-1 函内照明設備 函内照明は100W電球とし、個数は次式による。 $N > (1 + \frac{L}{6}) S + 0.14A$ N：ケーソン内100W電球個数（個） L：シャフト長（m） S：艀装数（基） A：掘削面積（m²）</p> <p>10-2 1組当り掘削実作業時間 1組当りの掘削実作業時間は、次表を基準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10.1 1組当り掘削実作業時間</p> <table border="1" data-bbox="430 1171 1308 1682"> <thead> <tr> <th>函内作業気圧 (kPa [kgf/cm²])</th> <th>1組当り掘削実作業時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 (素掘)</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>0を超え 98.0以下 [0を超え1.0以下]</td> <td>6.7</td> </tr> <tr> <td>98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上記の1組当り掘削実作業時間は、「高気圧作業安全衛生規則」労働省第40号による高圧下の時間(高圧室内作業者に加圧を開始した時から減圧を開始するまでの時間)を基礎に函内休止率等を考慮し定めたものである。</p>	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	1.0	潜かん工		〃	3.0	溶接工		〃	5.5	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊	日	1.0	諸雑費		%	6	函内作業気圧 (kPa [kgf/cm ²])	1組当り掘削実作業時間 (h)	0 (素掘)	7.0	0を超え 98.0以下 [0を超え1.0以下]	6.7	98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]	5.3	137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]	4.7	176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]	3.5	215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]	3.1	254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]	2.6	294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]	2.2	333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]	1.8	352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]	1.6	372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]	1.5	<p>9-3 艀装設備組立・解体 潜函のシャフト（たて管）、送気管、排気管及び配電管等の設備機械の艀装は、1リフト（ロット）毎に組立・解体を行い、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.3 組立・解体歩掛 (人/1艀装・1リフト（ロット）当り)</p> <table border="1" data-bbox="1635 363 2466 642"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・<u>排出ガス対策型（第1次基準値）</u> 50t吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 沈下完了後の解体労務は、上記の工数に含まれているので別途計上しない。 2. 艀装組立・解体日数は、1艀装1リフト(ロット)当り1日とする。 3. クローラクレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は艀装に伴うボルトナット、<u>送排気管</u>、パッキンであり、労務費、賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>10. 参考資料 10-1 函内照明設備 函内照明は<u>40W蛍光灯</u>とし、個数は次式による。 $N > (1 + \frac{L}{6}) S + 0.14A$ N：ケーソン内<u>40W蛍光灯</u>個数（個） L：<u>マン</u>シャフト長（m） S：<u>マンロック数</u>（基） A：掘削面積（m²）</p> <p>10-2 1組当り掘削実作業時間 1組当りの掘削実作業時間は、次表を<u>標準</u>とする。</p> <p style="text-align: center;">表10.1 1組当り掘削実作業時間</p> <table border="1" data-bbox="1611 1199 2490 1829"> <thead> <tr> <th>函内作業気圧 (<u>MPa</u>kPa-[kgf/cm²])</th> <th>1組当り掘削実作業時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 (素掘)</td> <td><u>7.0</u> (7.0)</td> </tr> <tr> <td>0を超え<u>0.10</u>以下 [0を超え1.0以下]</td> <td><u>6.8</u> (6.7)</td> </tr> <tr> <td><u>0.10</u>を超え<u>0.14</u>以下 [1.0を超え1.4以下]</td> <td><u>5.5</u> (5.3)</td> </tr> <tr> <td><u>0.14</u>を超え<u>0.18</u>以下 [1.4を超え1.8以下]</td> <td><u>4.0</u> (4.8)</td> </tr> <tr> <td><u>0.18</u>を超え<u>0.22</u>以下 [1.8を超え2.2以下]</td> <td><u>2.6</u> (3.5)</td> </tr> <tr> <td><u>0.22</u>を超え<u>0.26</u>以下 [2.2を超え2.6以下]</td> <td><u>2.1</u> (3.0)</td> </tr> <tr> <td><u>0.26</u>を超え<u>0.30</u>以下 [2.6を超え3.0以下]</td> <td><u>1.6</u> (2.4)</td> </tr> <tr> <td><u>0.30</u>を超え<u>0.34</u>以下 [3.0を超え3.4以下]</td> <td><u>-</u> (1.9)</td> </tr> <tr> <td><u>0.34</u>を超え<u>0.36</u>以下 [3.4を超え3.6以下]</td> <td><u>-</u> (1.5)</td> </tr> <tr> <td><u>0.36</u>を超え<u>0.38</u>以下 [3.6を超え3.8以下]</td> <td><u>-</u> (1.3)</td> </tr> <tr> <td><u>0.38</u>を超え<u>0.40</u>以下 [3.8を超え4.0以下]</td> <td><u>-</u> (1.3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <u>上記の1組当り掘削実作業時間は、平成27年4月「高気圧作業安全衛生規則」の改正により、高圧下の時間（高圧室内作業者に加圧を開始した時から減圧を開始するまでの時間）を基礎に純作業時間を考慮し示したものである。</u> 2. ()内は酸素減圧を行った場合の作業時間を示す。</p>	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	1.0	潜かん工		〃	3.0	溶接工		〃	5.5	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型（第1次基準値）</u> 50t吊	日	1.0	諸雑費		%	6	函内作業気圧 (<u>MPa</u> kPa-[kgf/cm ²])	1組当り掘削実作業時間 (h)	0 (素掘)	<u>7.0</u> (7.0)	0を超え <u>0.10</u> 以下 [0を超え1.0 以下]	<u>6.8</u> (6.7)	<u>0.10</u> を超え <u>0.14</u> 以下 [1.0を超え1.4 以下]	<u>5.5</u> (5.3)	<u>0.14</u> を超え <u>0.18</u> 以下 [1.4を超え1.8 以下]	<u>4.0</u> (4.8)	<u>0.18</u> を超え <u>0.22</u> 以下 [1.8を超え2.2 以下]	<u>2.6</u> (3.5)	<u>0.22</u> を超え <u>0.26</u> 以下 [2.2を超え2.6 以下]	<u>2.1</u> (3.0)	<u>0.26</u> を超え <u>0.30</u> 以下 [2.6を超え3.0 以下]	<u>1.6</u> (2.4)	<u>0.30</u> を超え <u>0.34</u> 以下 [3.0を超え3.4 以下]	<u>-</u> (1.9)	<u>0.34</u> を超え <u>0.36</u> 以下 [3.4を超え3.6 以下]	<u>-</u> (1.5)	<u>0.36</u> を超え <u>0.38</u> 以下 [3.6を超え3.8 以下]	<u>-</u> (1.3)	<u>0.38</u> を超え <u>0.40</u> 以下 [3.8を超え4.0 以下]	<u>-</u> (1.3)	
名称	規格	単位	数量																																																																																																
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																
潜かん工		〃	3.0																																																																																																
溶接工		〃	5.5																																																																																																
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50t吊	日	1.0																																																																																																
諸雑費		%	6																																																																																																
函内作業気圧 (kPa [kgf/cm ²])	1組当り掘削実作業時間 (h)																																																																																																		
0 (素掘)	7.0																																																																																																		
0を超え 98.0以下 [0を超え1.0以下]	6.7																																																																																																		
98.0を超え137.2以下 [1.0を超え1.4以下]	5.3																																																																																																		
137.2を超え176.4以下 [1.4を超え1.8以下]	4.7																																																																																																		
176.4を超え215.6以下 [1.8を超え2.2以下]	3.5																																																																																																		
215.6を超え254.8以下 [2.2を超え2.6以下]	3.1																																																																																																		
254.8を超え294.0以下 [2.6を超え3.0以下]	2.6																																																																																																		
294.0を超え333.2以下 [3.0を超え3.4以下]	2.2																																																																																																		
333.2を超え352.8以下 [3.4を超え3.6以下]	1.8																																																																																																		
352.8を超え372.4以下 [3.6を超え3.8以下]	1.6																																																																																																		
372.4を超え392.0以下 [3.8を超え4.0以下]	1.5																																																																																																		
名称	規格	単位	数量																																																																																																
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																
潜かん工		〃	3.0																																																																																																
溶接工		〃	5.5																																																																																																
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型（第1次基準値）</u> 50t吊	日	1.0																																																																																																
諸雑費		%	6																																																																																																
函内作業気圧 (<u>MPa</u> kPa-[kgf/cm ²])	1組当り掘削実作業時間 (h)																																																																																																		
0 (素掘)	<u>7.0</u> (7.0)																																																																																																		
0を超え <u>0.10</u> 以下 [0を超え1.0 以下]	<u>6.8</u> (6.7)																																																																																																		
<u>0.10</u> を超え <u>0.14</u> 以下 [1.0を超え1.4 以下]	<u>5.5</u> (5.3)																																																																																																		
<u>0.14</u> を超え <u>0.18</u> 以下 [1.4を超え1.8 以下]	<u>4.0</u> (4.8)																																																																																																		
<u>0.18</u> を超え <u>0.22</u> 以下 [1.8を超え2.2 以下]	<u>2.6</u> (3.5)																																																																																																		
<u>0.22</u> を超え <u>0.26</u> 以下 [2.2を超え2.6 以下]	<u>2.1</u> (3.0)																																																																																																		
<u>0.26</u> を超え <u>0.30</u> 以下 [2.6を超え3.0 以下]	<u>1.6</u> (2.4)																																																																																																		
<u>0.30</u> を超え <u>0.34</u> 以下 [3.0を超え3.4 以下]	<u>-</u> (1.9)																																																																																																		
<u>0.34</u> を超え <u>0.36</u> 以下 [3.4を超え3.6 以下]	<u>-</u> (1.5)																																																																																																		
<u>0.36</u> を超え <u>0.38</u> 以下 [3.6を超え3.8 以下]	<u>-</u> (1.3)																																																																																																		
<u>0.38</u> を超え <u>0.40</u> 以下 [3.8を超え4.0 以下]	<u>-</u> (1.3)																																																																																																		

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																											
ニューマチックケーソン工		<p><u>10-3 酸素使用量</u> <u>作業圧力毎の1人1組当り酸素使用量は以下を標準とする。</u></p> <p><u>(1) 酸素使用量</u> 酸素使用量は、次式による $\text{酸素使用量 (m}^3\text{)} = \Sigma (\text{a} \times \text{b} \times \text{c})$ 酸素使用量：1組当り酸素使用量 (m³) <u>a：区分毎の1人当り酸素使用量 (m³/人)</u> <u>b：区分毎の1組当り函内編成人員 (人/組)</u> <u>c：区分毎の交替数 (組)</u></p> <p style="text-align: right;"><u>表10.2 酸素使用量</u> (m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">1人当り 酸素使用量 <u>a</u> (m³/人)</th> <th style="width: 20%;">1組当り 函内編成人員 <u>b</u> (人/組)</th> <th style="width: 20%;">交替数 <u>c</u> (組)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">掘削作業時</td> <td>0.10を越え 0.14以下</td> <td>2.1</td> <td>編成人員(表5.1)</td> <td>交替数</td> </tr> <tr> <td>0.14を越え 0.18以下</td> <td>3.8</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.18を越え 0.22以下</td> <td>3.6</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.22を越え 0.26以下</td> <td>4.5</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.26を越え 0.30以下</td> <td>4.4</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.30を越え 0.34以下</td> <td>4.7</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.34を越え 0.36以下</td> <td>4.3</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.36を越え 0.38以下</td> <td>4.0</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>0.38を越え 0.40以下</td> <td>4.4</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</td> <td>作業室内設備解体</td> <td>(注)3</td> <td>4人/組</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地耐力試験</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中埋コンクリート確認</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 酸素使用量には、酸素ボンベ内の圧力低下によるロス率25%を含む。 2. 酸素(医療用)費用については、共通仮設費の安全費で別途計上する。 3. 函内作業気圧時の酸素使用量を用いる。</p> <p><u>10-4 酸素集合装置設置・撤去 (マンロック・ホスピタルロック用)</u> <u>酸素集合装置設置・撤去は、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: right;"><u>表10.3 酸素集合装置設置・撤去 (マンロック・ホスピタルロック用)</u> (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 15%;">設 置</th> <th style="width: 25%;">撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記には、酸素集合装置の設置及び配管を含む。 2. 諸雑費は、設置に伴う配管材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>		区 分	1人当り 酸素使用量 <u>a</u> (m ³ /人)	1組当り 函内編成人員 <u>b</u> (人/組)	交替数 <u>c</u> (組)	掘削作業時	0.10を越え 0.14以下	2.1	編成人員(表5.1)	交替数	0.14を越え 0.18以下	3.8	〃	〃	0.18を越え 0.22以下	3.6	〃	〃	0.22を越え 0.26以下	4.5	〃	〃	0.26を越え 0.30以下	4.4	〃	〃	0.30を越え 0.34以下	4.7	〃	〃	0.34を越え 0.36以下	4.3	〃	〃	0.36を越え 0.38以下	4.0	〃	〃	0.38を越え 0.40以下	4.4	〃	〃	その他	作業室内設備解体	(注)3	4人/組	〃	地耐力試験	〃	〃	〃	中埋コンクリート確認	〃	〃	〃	名 称	規 格	単 位	設 置	撤 去	特 殊 作 業 員		人	2.0	1.0	普 通 作 業 員		〃	1.0	0.5	諸 雑 費 率		%	30		
	区 分	1人当り 酸素使用量 <u>a</u> (m ³ /人)	1組当り 函内編成人員 <u>b</u> (人/組)	交替数 <u>c</u> (組)																																																																										
掘削作業時	0.10を越え 0.14以下	2.1	編成人員(表5.1)	交替数																																																																										
	0.14を越え 0.18以下	3.8	〃	〃																																																																										
	0.18を越え 0.22以下	3.6	〃	〃																																																																										
	0.22を越え 0.26以下	4.5	〃	〃																																																																										
	0.26を越え 0.30以下	4.4	〃	〃																																																																										
	0.30を越え 0.34以下	4.7	〃	〃																																																																										
	0.34を越え 0.36以下	4.3	〃	〃																																																																										
	0.36を越え 0.38以下	4.0	〃	〃																																																																										
	0.38を越え 0.40以下	4.4	〃	〃																																																																										
その他	作業室内設備解体	(注)3	4人/組	〃																																																																										
	地耐力試験	〃	〃	〃																																																																										
	中埋コンクリート確認	〃	〃	〃																																																																										
名 称	規 格	単 位	設 置	撤 去																																																																										
特 殊 作 業 員		人	2.0	1.0																																																																										
普 通 作 業 員		〃	1.0	0.5																																																																										
諸 雑 費 率		%	30																																																																											

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名 ニューマチックケーソン工	現行	改定	摘要
		<p>【排土設備】 クローラクレーン 土砂ホッパ</p> <p>【纜装設備】 マンロック (空気減圧対応型) マンシャフト マテリアルシャフト マテリアルロック スペシャルシャフト ボトムドア 天井走行レール 天井走行式ショベル バケット</p> <p>【送気設備】 圧縮空気清浄機 レシーバタンク 定置式空気圧縮機 クーリングタワー 循環水ポンプ</p> <p>【予備設備】 エンジン式空気圧縮機 発電機</p> <p>【安全設備】 ガス検知器</p> <p>【救急設備】 ホスピタルロック (空気再圧対応型) 圧縮空気清浄機</p> <p>自動圧力調整装置 送気管φ100 送気管φ150 高圧ホース</p>	

参考図1 ニューマチックケーソン工法（空気減圧）概要図

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要
ニューマチックケーソン工			

参考図2 ニューマチックケーソン工法（酸素減圧）概要図

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																																																										
ニューマチックケーソン工	<p>11. 単 価 表</p> <p>(1) 刃口金物据付1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="379 499 1359 819"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 20t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表8.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人力掘削10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="379 892 1359 1222"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜かん世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50t吊</td> <td>日</td> <td>10/(D_a又はD_b)</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発破経費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. M=表5.1, 表5.2の潜かん世話役(潜かん工)人員+表5.3の潜かん世話役(潜かん工)人員 2. 函内作業気圧が0kPa(0kgf/cm²)(素掘)の場合は, 特殊作業員は計上しない。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表8.1	溶接工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 20t吊	日		表8.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表8.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜かん世話役		人	M×2×10/(D _a 又はD _b)		潜かん工		〃	M×2×10/(D _a 又はD _b)		特殊作業員		〃	M×2×10/(D _a 又はD _b)		普通作業員		〃	M×2×10/(D _a 又はD _b)		クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50t吊	日	10/(D _a 又はD _b)	機械賃料	発破経費		式	1	必要に応じて別途計上	諸 雑 費		〃	1		<p>11. 単 価 表</p> <p>(1) 刃口金物材料費1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 273 2546 436"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材 料 費</td> <td></td> <td>基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 刃口金物据付1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 510 2546 835"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値)25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人力掘削10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 909 2546 1243"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜かん世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/(D_a又はD_b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50t吊</td> <td>日</td> <td>10/(D_a又はD_b)</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発破経費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. M=表5.1, 表5.2の潜かん世話役(潜かん工)人員+表5.3の潜かん世話役(潜かん工)人員 2. 函内作業気圧が0kPa(0kgf/cm²)(素掘)の場合は, 特殊作業員は計上しない。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	材 料 費		基			諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表8.1	溶接工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値)25t吊	日		〃 機械賃料	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	潜かん世話役		人	M×2×10/(D_a又はD_b)		潜かん工		〃	M×2×10/(D_a又はD_b)		特殊作業員		〃	M×2×10/(D_a又はD_b)		普通作業員		〃	M×2×10/(D_a又はD_b)		クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50t吊	日	10/(D_a又はD_b)	機械賃料	発破経費		式	1	必要に応じて別途計上	諸 雑 費		〃	1		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
土木一般世話役		人		表8.1																																																																																																																																																																									
溶接工		〃		〃																																																																																																																																																																									
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 20t吊	日		表8.1 機械賃料																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表8.1																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
潜かん世話役		人	M×2×10/(D _a 又はD _b)																																																																																																																																																																										
潜かん工		〃	M×2×10/(D _a 又はD _b)																																																																																																																																																																										
特殊作業員		〃	M×2×10/(D _a 又はD _b)																																																																																																																																																																										
普通作業員		〃	M×2×10/(D _a 又はD _b)																																																																																																																																																																										
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50t吊	日	10/(D _a 又はD _b)	機械賃料																																																																																																																																																																									
発破経費		式	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		〃	1																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
材 料 費		基																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
土木一般世話役		人		表8.1																																																																																																																																																																									
溶接工		〃		〃																																																																																																																																																																									
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値)25t吊	日		〃 機械賃料																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
潜かん世話役		人	M×2×10/(D_a又はD_b)																																																																																																																																																																										
潜かん工		〃	M×2×10/(D_a又はD_b)																																																																																																																																																																										
特殊作業員		〃	M×2×10/(D_a又はD_b)																																																																																																																																																																										
普通作業員		〃	M×2×10/(D_a又はD_b)																																																																																																																																																																										
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50t吊	日	10/(D_a又はD_b)	機械賃料																																																																																																																																																																									
発破経費		式	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		〃	1																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																										
ニューマチックケーソン工	<p>(3) 機械掘削10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="379 231 1359 630"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜かん世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シヨベル電力</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>Hw</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊</td> <td>日</td> <td>10/D_c</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発破経費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. M=表5.1の潜かん世話役(潜かん工)人員+表5.3の潜かん世話役(潜かん工)人員 2. Hw: シヨベル電力 $Hw = P_s \times Q_s \times D \times 2 \times H \times 10 / D_c$ P_s: 潜函用シヨベル電力 (kW) Q_s: 潜函用シヨベル燃料消費率 (kWh/kW) D: 潜函用シヨベル台数 (台) H: 1組当り掘削実作業時間……表10.1 D_c: 機械掘削1日(2組)当り掘削量 3. 函内作業気圧が0 kPa (0 kgf/cm²) (素掘) の場合は, 特殊作業員は計上しない。</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	潜かん世話役		人	M×2×10/D _c		潜かん工		〃	M×2×10/D _c		特殊作業員		〃	M×2×10/D _c		普通作業員		〃	M×2×10/D _c		シヨベル電力		kWh	Hw		クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊	日	10/D _c	機械賃料	発破経費		式	1	必要に応じて別途計上	諸雑費		〃	1		<p>(3) 機械掘削10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1561 231 2540 661"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜かん世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>M×2×10/D_c</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シヨベル電力</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>Hw</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・<u>排出ガス対策型(第1次基準値)</u> 50 t 吊</td> <td>日</td> <td>10/D_c</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発破経費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて別途計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. M=表5.1の潜かん世話役(潜かん工)人員+表5.2の潜かん世話役(潜かん工)人員 2. Hw: シヨベル電力 $Hw = P_s \times Q_s \times D \times 2 \times H \times 10 / D_c$ P_s: <u>天井走行式シヨベル潜函用シヨベル</u>電力 (kW) Q_s: <u>天井走行式シヨベル潜函用シヨベル</u>燃料消費率 (kWh/kW) D: <u>天井走行式シヨベル潜函用シヨベル</u>台数 (台) H: 1組当り掘削実作業時間……表10.1 D_c: 機械掘削1日(2組)当り掘削量 3. 函内作業気圧が0 MPa<u>kPa</u> (0 kgf/cm²) (素掘) の場合は, 特殊作業員は計上しない。 4. <u>軟岩(I), 軟岩(II) の場合は, 削岩機, ピックハンマ, 空気圧縮機(排出ガス対策型(第1次基準値)), ダイナマイト火薬, 雷管を必要数計上する。</u></p>	名称	規格	単位	数量	摘要	潜かん世話役		人	M×2×10/D _c		潜かん工		〃	M×2×10/D _c		特殊作業員		〃	M×2×10/D _c		普通作業員		〃	M×2×10/D _c		シヨベル電力		kWh	Hw		クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型(第1次基準値)</u> 50 t 吊	日	10/D _c	機械賃料	発破経費		式	1	必要に応じて別途計上	諸雑費		〃	1		
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																									
潜かん世話役		人	M×2×10/D _c																																																																																										
潜かん工		〃	M×2×10/D _c																																																																																										
特殊作業員		〃	M×2×10/D _c																																																																																										
普通作業員		〃	M×2×10/D _c																																																																																										
シヨベル電力		kWh	Hw																																																																																										
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊	日	10/D _c	機械賃料																																																																																									
発破経費		式	1	必要に応じて別途計上																																																																																									
諸雑費		〃	1																																																																																										
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																									
潜かん世話役		人	M×2×10/D _c																																																																																										
潜かん工		〃	M×2×10/D _c																																																																																										
特殊作業員		〃	M×2×10/D _c																																																																																										
普通作業員		〃	M×2×10/D _c																																																																																										
シヨベル電力		kWh	Hw																																																																																										
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型(第1次基準値)</u> 50 t 吊	日	10/D _c	機械賃料																																																																																									
発破経費		式	1	必要に応じて別途計上																																																																																									
諸雑費		〃	1																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																															
ニューマチックケーソン工	<p>(4) 送気用設備運転1日当り単価表(2交替)</p> <table border="1" data-bbox="379 247 1359 451"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	特殊作業員		人		表5.4	電工		人		〃	諸雑費		式	1		計					<p>(4) 送気用設備運転1日当り単価表(2交替)</p> <table border="1" data-bbox="1561 247 2540 688"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{1(人) \times 2(2方)}{\times 11/8(h)}$</td> <td>表5.3(数量×供用日数)</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{1(人) \times 2(2方)}{\times 11/8(h)}$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電力量 (空気圧縮用)</td> <td></td> <td>kWh</td> <td>$\frac{86kWh(50Hz)}{110kWh(60Hz)}$</td> <td>数量×延運転時間</td> </tr> <tr> <td>電力量 (クーリングタワー用)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.91kWh</td> <td>必要に応じて別途計上 数量×延運転時間</td> </tr> <tr> <td>電力量 (循環水ポンプ用)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.3kWh</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	特殊作業員		人	$\frac{1(人) \times 2(2方)}{\times 11/8(h)}$	表5.3(数量×供用日数)	電工		人	$\frac{1(人) \times 2(2方)}{\times 11/8(h)}$	〃	電力量 (空気圧縮用)		kWh	$\frac{86kWh(50Hz)}{110kWh(60Hz)}$	数量×延運転時間	電力量 (クーリングタワー用)		〃	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間	電力量 (循環水ポンプ用)		〃	5.3kWh	〃	諸雑費		式	1		計																			
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																													
	特殊作業員		人		表5.4																																																																													
	電工		人		〃																																																																													
	諸雑費		式	1																																																																														
	計																																																																																	
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																													
特殊作業員		人	$\frac{1(人) \times 2(2方)}{\times 11/8(h)}$	表5.3(数量×供用日数)																																																																														
電工		人	$\frac{1(人) \times 2(2方)}{\times 11/8(h)}$	〃																																																																														
電力量 (空気圧縮用)		kWh	$\frac{86kWh(50Hz)}{110kWh(60Hz)}$	数量×延運転時間																																																																														
電力量 (クーリングタワー用)		〃	0.91kWh	必要に応じて別途計上 数量×延運転時間																																																																														
電力量 (循環水ポンプ用)		〃	5.3kWh	〃																																																																														
諸雑費		式	1																																																																															
計																																																																																		
<p>(5) 水荷重(ポンプによる注排水)作業1t当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="379 745 1359 955"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.7</td> </tr> <tr> <td>工用水中モータ ポンプ運転</td> <td>普通型(潜水ポンプ) φ100</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要日数計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	特殊作業員		人		表8.7	工用水中モータ ポンプ運転	普通型(潜水ポンプ) φ100	日		必要日数計上 機械損料	諸雑費		式	1		計					<p>(5) 水荷重(ポンプによる注排水)作業1t当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1561 772 2540 982"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.02</td> <td>表8.4</td> </tr> <tr> <td>工用水中モータ ポンプ運転</td> <td>普通型(潜水ポンプ) φ100</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要日数計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	特殊作業員		人	0.02	表8.4	工用水中モータ ポンプ運転	普通型(潜水ポンプ) φ100	日		必要日数計上 機械損料	諸雑費		式	1		計																																			
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																														
特殊作業員		人		表8.7																																																																														
工用水中モータ ポンプ運転	普通型(潜水ポンプ) φ100	日		必要日数計上 機械損料																																																																														
諸雑費		式	1																																																																															
計																																																																																		
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																														
特殊作業員		人	0.02	表8.4																																																																														
工用水中モータ ポンプ運転	普通型(潜水ポンプ) φ100	日		必要日数計上 機械損料																																																																														
諸雑費		式	1																																																																															
計																																																																																		
<p>(6) ブローパイプバルブ調整ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="379 1045 1359 1207"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>人</td> <td>6.3</td> <td>表8.8</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	潜かん工		人	6.3	表8.8	諸雑費		式	1	〃	計					<p>(6) ブローパイプバルブ調整ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1561 1073 2540 1234"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>人</td> <td>6.3</td> <td>表8.5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	潜かん工		人	6.3	表8.5	諸雑費		式	1	〃	計																																													
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																														
潜かん工		人	6.3	表8.8																																																																														
諸雑費		式	1	〃																																																																														
計																																																																																		
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																														
潜かん工		人	6.3	表8.5																																																																														
諸雑費		式	1	〃																																																																														
計																																																																																		
<p>(7) 火薬による(止水壁)とりこわし10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="379 1291 1359 1627"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td>表8.9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>火薬</td> <td>榎2号</td> <td>kg</td> <td>2.7</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電気雷管</td> <td>瞬発,脚線長3.0m, 6号</td> <td>個</td> <td>20</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	0.1	表8.9	特殊作業員		人	0.8	〃	普通作業員		人	0.3	〃	火薬	榎2号	kg	2.7	〃	電気雷管	瞬発,脚線長3.0m, 6号	個	20	〃	諸雑費		式	1	〃	計					<p>(6) 火薬による(止水壁)とりこわし10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1561 1318 2540 1654"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td>表8.6</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>火薬</td> <td>榎2号</td> <td>kg</td> <td>2.7</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電気雷管</td> <td>瞬発,脚線長3.0m, 6号</td> <td>個</td> <td>20</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	0.1	表8.6	特殊作業員		人	0.8	〃	普通作業員		人	0.3	〃	火薬	榎2号	kg	2.7	〃	電気雷管	瞬発,脚線長3.0m, 6号	個	20	〃	諸雑費		式	1	〃	計					
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																														
土木一般世話役		人	0.1	表8.9																																																																														
特殊作業員		人	0.8	〃																																																																														
普通作業員		人	0.3	〃																																																																														
火薬	榎2号	kg	2.7	〃																																																																														
電気雷管	瞬発,脚線長3.0m, 6号	個	20	〃																																																																														
諸雑費		式	1	〃																																																																														
計																																																																																		
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																														
土木一般世話役		人	0.1	表8.6																																																																														
特殊作業員		人	0.8	〃																																																																														
普通作業員		人	0.3	〃																																																																														
火薬	榎2号	kg	2.7	〃																																																																														
電気雷管	瞬発,脚線長3.0m, 6号	個	20	〃																																																																														
諸雑費		式	1	〃																																																																														
計																																																																																		

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																						
ニューマチックケーソン工	(8) 艀装設備組立・解体1 艀装1 リフト (ロット) 当り単価表	(7) 艀装設備組立・解体1 艀装1 リフト (ロット) 当り単価表																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>表9.3 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	1.0	表9.3	潜かん工		〃	3.0	〃	溶接工		〃	5.5	〃	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊	日	1.0	表9.3 機械賃料	諸雑費		式	1	表9.3	計					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型 (第1次基準値)</u> 50 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>〃 <u>機械賃料</u></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	1.0	表9.3	潜かん工		〃	3.0	〃	溶接工		〃	5.5	〃	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型 (第1次基準値)</u> 50 t 吊	日	1.0	〃 <u>機械賃料</u>	諸雑費		式	1	表9.3	計					
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																				
	土木一般世話役		人	1.0	表9.3																																																																				
	潜かん工		〃	3.0	〃																																																																				
	溶接工		〃	5.5	〃																																																																				
	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50 t 吊	日	1.0	表9.3 機械賃料																																																																				
諸雑費		式	1	表9.3																																																																					
計																																																																									
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																					
土木一般世話役		人	1.0	表9.3																																																																					
潜かん工		〃	3.0	〃																																																																					
溶接工		〃	5.5	〃																																																																					
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ <u>排出ガス対策型 (第1次基準値)</u> 50 t 吊	日	1.0	〃 <u>機械賃料</u>																																																																					
諸雑費		式	1	表9.3																																																																					
計																																																																									

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																												
ニューマチックケーソン工		<p>(8) 排土設備ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 247 2540 537"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン 運 転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対 策型(第1次基準値) 50 t 吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>バ ケ ッ ト</td> <td>1.0m³級</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>土 砂 ホ ッ パ</td> <td>10m³級</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9) 舩装設備ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 625 2540 1411"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マテリアルロック</td> <td>通過可能バケツト1.0m³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5 m級 圧力0.4MPa</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>マンロック (空気減圧対応型)</td> <td>立型10~12人用 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>マンロック (酸素減圧対応)</td> <td>立型8人用 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータ (内圧用)</td> <td>3人用 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃(必要に応じて 別途計上)</td> </tr> <tr> <td>ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)</td> <td>3人用 圧力0.4MPa</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃(〃)</td> </tr> <tr> <td>マテリアルシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m 級 圧力0.4MP</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃(必要数量)</td> </tr> <tr> <td>マンシャフト</td> <td>径×長さφ1.2m×2.0m 級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃(〃)</td> </tr> <tr> <td>スペシャルシャフト</td> <td>径×長さφ1.4m×0.5m 級 圧力0.4MPa</td> <td>個</td> <td>2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ボットムドア</td> <td>径1.4m級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>自動圧力調整装置</td> <td>径100mm級 圧力0.4MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高 圧 ホ ー ス</td> <td>径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa</td> <td>本</td> <td>7</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>送 気 管</td> <td>径100mm 長さ5.5m 圧力 1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>〃(ゲージ設備か らケーソンまで)</td> </tr> <tr> <td>照 明 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(10) 掘削設備ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 1495 2540 1810"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井走行式ショベル</td> <td>山積0.15m³(平積0.13m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.1 掘削面積40m²以上 100m²未満</td> </tr> <tr> <td>天井走行式ショベル</td> <td>山積0.15m³(平積0.13m³)</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td>〃 〃 100m² 〃 300m² 〃</td> </tr> <tr> <td>走 行 レ ー ル (天井走行式ショベル用)</td> <td>長さ2m級×1本</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃(必要数量)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対 策型(第1次基準値) 50 t 吊	台	1	表4.1	バ ケ ッ ト	1.0m ³ 級	個	2	〃	土 砂 ホ ッ パ	10m ³ 級	基	1	〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5 m級 圧力0.4MPa	基	1	表4.1	マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 圧力0.4MPa	〃	1	〃	マンロック (酸素減圧対応)	立型8人用 圧力0.4MPa	〃	1	〃	ケーソン用エレベータ (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	〃	1	〃(必要に応じて 別途計上)	ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	〃(〃)	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m 級 圧力0.4MP	〃	1	〃(必要数量)	マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m 級 圧力0.4MPa	〃	1	〃(〃)	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m 級 圧力0.4MPa	個	2	〃	ボットムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	〃	2	〃	自動圧力調整装置	径100mm級 圧力0.4MPa	〃	1	〃	高 圧 ホ ー ス	径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7	〃	送 気 管	径100mm 長さ5.5m 圧力 1.0MPa	m		〃(ゲージ設備か らケーソンまで)	照 明 設 備		式	1	〃	諸 雑 費		〃	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	天井走行式ショベル	山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	1	表4.1 掘削面積40m ² 以上 100m ² 未満	天井走行式ショベル	山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	〃	2	〃 〃 100m ² 〃 300m ² 〃	走 行 レ ー ル (天井走行式ショベル用)	長さ2m級×1本	式	1	〃(必要数量)	諸 雑 費		〃	1		計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対 策型(第1次基準値) 50 t 吊	台	1	表4.1																																																																																																																																											
バ ケ ッ ト	1.0m ³ 級	個	2	〃																																																																																																																																											
土 砂 ホ ッ パ	10m ³ 級	基	1	〃																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																												
計																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
マテリアルロック	通過可能バケツト1.0m ³ 径×長さφ1.8~1.9×5.5 m級 圧力0.4MPa	基	1	表4.1																																																																																																																																											
マンロック (空気減圧対応型)	立型10~12人用 圧力0.4MPa	〃	1	〃																																																																																																																																											
マンロック (酸素減圧対応)	立型8人用 圧力0.4MPa	〃	1	〃																																																																																																																																											
ケーソン用エレベータ (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	〃	1	〃(必要に応じて 別途計上)																																																																																																																																											
ケーソン用エレベータシャフト (内圧用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	〃(〃)																																																																																																																																											
マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m 級 圧力0.4MP	〃	1	〃(必要数量)																																																																																																																																											
マンシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m 級 圧力0.4MPa	〃	1	〃(〃)																																																																																																																																											
スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m 級 圧力0.4MPa	個	2	〃																																																																																																																																											
ボットムドア	径1.4m級 圧力0.4MPa	〃	2	〃																																																																																																																																											
自動圧力調整装置	径100mm級 圧力0.4MPa	〃	1	〃																																																																																																																																											
高 圧 ホ ー ス	径100mm級 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7	〃																																																																																																																																											
送 気 管	径100mm 長さ5.5m 圧力 1.0MPa	m		〃(ゲージ設備か らケーソンまで)																																																																																																																																											
照 明 設 備		式	1	〃																																																																																																																																											
諸 雑 費		〃	1																																																																																																																																												
計																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																											
天井走行式ショベル	山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	1	表4.1 掘削面積40m ² 以上 100m ² 未満																																																																																																																																											
天井走行式ショベル	山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	〃	2	〃 〃 100m ² 〃 300m ² 〃																																																																																																																																											
走 行 レ ー ル (天井走行式ショベル用)	長さ2m級×1本	式	1	〃(必要数量)																																																																																																																																											
諸 雑 費		〃	1																																																																																																																																												
計																																																																																																																																															

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																							
ニューマチックケーソン工		<p>(11) 送気設備（空気圧縮機）1工事当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 241 2540 415"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>吐出量29 / 36 m³ / min 圧力0.4MPa</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2（必要数量計上）</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(12) 送気設備（その他）1工事当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 489 2540 852"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧縮空気洗浄機</td> <td>処理量 1,100m³ / h</td> <td>台</td> <td></td> <td>表4.2（必要数量計上）</td> </tr> <tr> <td>クリーニングタワー</td> <td>40～60 t / h</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃（ 〃 ）</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ</td> <td>口径80mm・全揚程30m</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃（ 〃 ）</td> </tr> <tr> <td>レシーバータンク</td> <td>容量2.5 m³ 圧力0.7～0.9MPa</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃（ 〃 ）</td> </tr> <tr> <td>送気管</td> <td>径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa</td> <td>m</td> <td></td> <td>〃（ 〃 ）</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(13) 安全設備 ケーソン1基当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 926 2540 1184"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸素集合装置</td> <td>マンロック、ホスピタルロック用</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸装置（マンロック用）</td> <td>マンロック、ホスピタルロック用</td> <td>台</td> <td>10</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>酸素（医療用）</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表10.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 酸素（医療用）費用については、共通仮設費の安全費に計上する。</p> <p>(14) 救急設備 ケーソン1工事当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1567 1293 2540 1745"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホスピタルロック（空気再圧対応型）</td> <td>〔中型〕 径×長さ φ 1.9×4m級・圧力0.5MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>ホスピタルロック（酸素再圧対応型）</td> <td>〔中型〕 径×長さ φ 1.9×4m級・圧力0.5MPa</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>酸素集合装置</td> <td>マンロック、ホスピタルロック用</td> <td>基</td> <td>1</td> <td>〃（必要に応じて別途計上）</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸装置（ホスピタルロック用）</td> <td>マンロック、ホスピタルロック用</td> <td>台</td> <td>4</td> <td>〃（ 〃 ）</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気清浄機</td> <td>処理量 650m³ / h</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高気圧下用空気呼吸器</td> <td>〔半閉鎖循環式〕 圧力 0.4MPa 使用時間30min 3ℓ級</td> <td>個</td> <td>4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	空気圧縮機	吐出量29 / 36 m ³ / min 圧力0.4MPa	台		表4.2（必要数量計上）	諸雑費		式	1		計					名称	規格	単位	数量	摘要	圧縮空気洗浄機	処理量 1,100m ³ / h	台		表4.2（必要数量計上）	クリーニングタワー	40～60 t / h	〃		〃（ 〃 ）	循環水ポンプ	口径80mm・全揚程30m	〃		〃（ 〃 ）	レシーバータンク	容量2.5 m ³ 圧力0.7～0.9MPa	〃		〃（ 〃 ）	送気管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		〃（ 〃 ）	諸雑費		式	1		計					名称	規格	単位	数量	摘要	酸素集合装置	マンロック、ホスピタルロック用	基	1	表4.1	酸素呼吸装置（マンロック用）	マンロック、ホスピタルロック用	台	10	〃	酸素（医療用）		m ³		表10.2	諸雑費		式	1		計					名称	規格	単位	数量	摘要	ホスピタルロック（空気再圧対応型）	〔中型〕 径×長さ φ 1.9×4m級・圧力0.5MPa	台	1	表4.2	ホスピタルロック（酸素再圧対応型）	〔中型〕 径×長さ φ 1.9×4m級・圧力0.5MPa	〃	1	〃	酸素集合装置	マンロック、ホスピタルロック用	基	1	〃（必要に応じて別途計上）	酸素呼吸装置（ホスピタルロック用）	マンロック、ホスピタルロック用	台	4	〃（ 〃 ）	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ / h	〃	1	〃	高気圧下用空気呼吸器	〔半閉鎖循環式〕 圧力 0.4MPa 使用時間30min 3ℓ級	個	4	〃	諸雑費		式	1		計					
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																						
空気圧縮機	吐出量29 / 36 m ³ / min 圧力0.4MPa	台		表4.2（必要数量計上）																																																																																																																																						
諸雑費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																						
圧縮空気洗浄機	処理量 1,100m ³ / h	台		表4.2（必要数量計上）																																																																																																																																						
クリーニングタワー	40～60 t / h	〃		〃（ 〃 ）																																																																																																																																						
循環水ポンプ	口径80mm・全揚程30m	〃		〃（ 〃 ）																																																																																																																																						
レシーバータンク	容量2.5 m ³ 圧力0.7～0.9MPa	〃		〃（ 〃 ）																																																																																																																																						
送気管	径150mm 長さ5.5m 圧力1.0MPa	m		〃（ 〃 ）																																																																																																																																						
諸雑費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																						
酸素集合装置	マンロック、ホスピタルロック用	基	1	表4.1																																																																																																																																						
酸素呼吸装置（マンロック用）	マンロック、ホスピタルロック用	台	10	〃																																																																																																																																						
酸素（医療用）		m ³		表10.2																																																																																																																																						
諸雑費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																						
ホスピタルロック（空気再圧対応型）	〔中型〕 径×長さ φ 1.9×4m級・圧力0.5MPa	台	1	表4.2																																																																																																																																						
ホスピタルロック（酸素再圧対応型）	〔中型〕 径×長さ φ 1.9×4m級・圧力0.5MPa	〃	1	〃																																																																																																																																						
酸素集合装置	マンロック、ホスピタルロック用	基	1	〃（必要に応じて別途計上）																																																																																																																																						
酸素呼吸装置（ホスピタルロック用）	マンロック、ホスピタルロック用	台	4	〃（ 〃 ）																																																																																																																																						
圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ / h	〃	1	〃																																																																																																																																						
高気圧下用空気呼吸器	〔半閉鎖循環式〕 圧力 0.4MPa 使用時間30min 3ℓ級	個	4	〃																																																																																																																																						
諸雑費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定
ニューマチックケーソン工

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																														
ニューマチックケーソン工	<p>(9) 仮設備組立解体単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 16 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表9.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人		表9.1	とび工		〃		〃	溶接工		〃		〃	潜かん工		〃		〃	電工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	コンクリート		m ³		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 16 t吊	日		表9.1 機械賃料	諸雑費		式	1	表9.1	計					<p>(15) 仮設備の組立・解体1台当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜かん工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値)25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表9.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人		表9.1	とび工		〃		〃	溶接工		〃		〃	潜かん工		〃		〃	電工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	コンクリート		m ³		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値)25 t吊	日		表9.1 機械賃料	諸雑費		式	1	表9.1	計					
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																												
	土木一般世話役		人		表9.1																																																																																																												
	とび工		〃		〃																																																																																																												
	溶接工		〃		〃																																																																																																												
	潜かん工		〃		〃																																																																																																												
	電工		〃		〃																																																																																																												
	普通作業員		〃		〃																																																																																																												
	コンクリート		m ³		〃																																																																																																												
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 16 t吊	日		表9.1 機械賃料																																																																																																												
	諸雑費		式	1	表9.1																																																																																																												
計																																																																																																																	
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																													
土木一般世話役		人		表9.1																																																																																																													
とび工		〃		〃																																																																																																													
溶接工		〃		〃																																																																																																													
潜かん工		〃		〃																																																																																																													
電工		〃		〃																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																													
コンクリート		m ³		〃																																																																																																													
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準 値)25 t吊	日		表9.1 機械賃料																																																																																																													
諸雑費		式	1	表9.1																																																																																																													
計																																																																																																																	
<p>(10) ケーソン構築設備1式当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>艀装設備</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>潜函用ショベル設備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>送気設備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>予備設備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	艀装設備		日		表7.1	潜函用ショベル設備		〃		〃	送気設備		〃		〃	予備設備		〃		〃	計					<p>(9) ケーソン構築設備1式当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>艀装設備</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>天井走行式 潜函用ショベル設備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>送気設備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>予備設備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	艀装設備		日		表7.1	天井走行式 潜函用ショベル設備		〃		〃	送気設備		〃		〃	予備設備		〃		〃	計																																																								
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																													
艀装設備		日		表7.1																																																																																																													
潜函用ショベル設備		〃		〃																																																																																																													
送気設備		〃		〃																																																																																																													
予備設備		〃		〃																																																																																																													
計																																																																																																																	
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																													
艀装設備		日		表7.1																																																																																																													
天井走行式 潜函用ショベル設備		〃		〃																																																																																																													
送気設備		〃		〃																																																																																																													
予備設備		〃		〃																																																																																																													
計																																																																																																																	
<p>(11) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事中用 モータポンプ</td> <td>普通型(潜水ポンプ) φ100</td> <td>機-14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50 t吊</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→122 機械賃料数量→ 2.15</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (艀装用)</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50 t吊</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→ 61 機械賃料数量→ 1.00</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	工事中用 モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) φ100	機-14		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50 t吊	機-16	燃料消費量→122 機械賃料数量→ 2.15	クローラクレーン (艀装用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50 t吊	機-16	燃料消費量→ 61 機械賃料数量→ 1.00	<p>(16) 酸素集合装置設置・撤去(マンロック・ホスピタルロック用)1基当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表10.3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	特殊作業員		人		表10.3	普通作業員		〃		〃	諸雑費		式	1	〃	計																																																																											
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																																														
工事中用 モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) φ100	機-14																																																																																																															
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50 t吊	機-16	燃料消費量→122 機械賃料数量→ 2.15																																																																																																														
クローラクレーン (艀装用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 50 t吊	機-16	燃料消費量→ 61 機械賃料数量→ 1.00																																																																																																														
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																													
特殊作業員		人		表10.3																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																													
諸雑費		式	1	〃																																																																																																													
計																																																																																																																	
	<p>(17) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事中用 モータポンプ</td> <td>普通型(潜水ポンプ) φ100</td> <td>機-14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 50 t吊</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→122 機械賃料数量→ 2.15</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (艀装用)</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 50 t吊</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→ 61 機械賃料数量→ 1.00</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	工事中用 モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) φ100	機-14		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 50 t吊	機-16	燃料消費量→122 機械賃料数量→ 2.15	クローラクレーン (艀装用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 50 t吊	機-16	燃料消費量→ 61 機械賃料数量→ 1.00																																																																																																
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																																														
工事中用 モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) φ100	機-14																																																																																																															
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 50 t吊	機-16	燃料消費量→122 機械賃料数量→ 2.15																																																																																																														
クローラクレーン (艀装用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 50 t吊	機-16	燃料消費量→ 61 機械賃料数量→ 1.00																																																																																																														

土木工事標準歩掛の改定
残存型枠工

工種名	現 行	改 定	摘 要																																																																
残存型 枠工	<p>② 残存型枠工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工事の構造物施工にかかる平均設置高30m以下の残存型枠及び残存化粧型枠の施工に適用する。本工法は、プレキャストのコンクリート二次製品による型枠を使用し、コンクリート打設・養生後の型枠の撤去を必要としない型枠工のことをいう。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="517 300 763 435" data-label="Diagram"> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <div data-bbox="577 568 696 584" data-label="Caption"> <p>表3.1 機種の選定</p> </div> <table border="1" data-bbox="423 588 846 668"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 25 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により上表により難しい場合は、現場条件にあった機械・規格を選定する。</p> <p>4. 施工歩掛 残存型枠及び残存化粧型枠の加工、組立・設置にかかる施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <div data-bbox="622 807 1010 823" data-label="Caption"> <p>表4.1 施工歩掛 (100㎡当り)</p> </div> <table border="1" data-bbox="371 826 1021 1027"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">型 枠 材 1 枚 当 り 質 量</th> </tr> <tr> <th>残 存 型 枠 60kg 以 下</th> <th>残 存 化 粧 型 枠 110kg 以 下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役 人</td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>人</td> <td>3.3</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>3.5</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 残存化粧型枠は意匠を目的とした平面・凹凸面の型枠材に適用する。 2. 上記歩掛は、水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用出来る。水抜きパイプ材料は、必要量を別途計上する。 3. 上記歩掛は、半径10m以下の円形部分には適用しない。 4. 諸雑費は、組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカット、高圧洗浄機、電気ドリル、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 型枠材は、残存型枠・残存化粧型枠及び残存型枠・残存化粧型枠用組立部材を計上する。 6. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 25 t 吊	名 称	単 位	型 枠 材 1 枚 当 り 質 量		残 存 型 枠 60kg 以 下	残 存 化 粧 型 枠 110kg 以 下	土 木 一 般 世 話 役 人	人	1.7	2.0	型 枠 工	人	3.3	3.4	普 通 作 業 員	人	3.5	3.6	ラフテレーンクレーン運転	日	1.1	1.2	諸 雑 費 率	%	13	13	<p>② 残存型枠工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工事の構造物施工にかかる平均設置高30m以下の残存型枠及び残存化粧型枠の施工、及び天端の手摺及び足場(キヤットウォーク)の設置・撤去に適用する。本工法は、プレキャストのコンクリート二次製品による型枠を使用し、コンクリート打設・養生後の型枠の撤去を必要としない型枠工のことをいう。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="1339 300 1653 435" data-label="Diagram"> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。 図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <div data-bbox="1451 568 1570 584" data-label="Caption"> <p>表3.1 機種の選定</p> </div> <table border="1" data-bbox="1296 588 1720 668"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により上表により難しい場合は、現場条件にあった機械・規格を選定する。</p> <p>4. 施工歩掛 4-1. 残存型枠及び残存化粧型枠の歩掛 残存型枠及び残存化粧型枠の加工、組立・設置にかかる施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <div data-bbox="1346 807 1861 823" data-label="Caption"> <p>表4.1 残存型枠及び残存化粧型枠の歩掛 (100㎡当り)</p> </div> <table border="1" data-bbox="1220 826 1870 1054"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">型 枠 材 1 枚 当 り 質 量</th> </tr> <tr> <th>残 存 型 枠 60kg 以 下</th> <th>残 存 化 粧 型 枠 110kg 以 下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役 人</td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>人</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>3.3</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td>人</td> <td>2.3</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td>1.7</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 残存化粧型枠は意匠を目的とした平面・凹凸面の型枠材に適用する。 2. 上記歩掛は、水抜きパイプの設置を含むものであるが、水抜きパイプの有無にかかわらず適用出来る。水抜きパイプ材料は、必要量を別途計上する。 3. 上記歩掛は、半径10m以下の円形部分には適用しない。 4. 諸雑費は、組立支持材及び電気溶接機、コンクリートカット、インパクトレンチ、電気ドリル、ディスクグラインダー、鉄筋カッター、溶接棒、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 型枠材は、残存型枠・残存化粧型枠及び残存型枠・残存化粧型枠用組立部材を計上する。 6. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 7. 狭隘等の現場条件により、クレーン据付が困難な場合、又は据付により施工に支障が生じる場合には別途考慮する。</p>	機 械 名	規 格	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25 t 吊	名 称	単 位	型 枠 材 1 枚 当 り 質 量		残 存 型 枠 60kg 以 下	残 存 化 粧 型 枠 110kg 以 下	土 木 一 般 世 話 役 人	人	2.0	2.1	型 枠 工	人	4.8	4.8	普 通 作 業 員	人	3.3	3.7	溶 接 工	人	2.3	2.5	ラフテレーンクレーン運転	日	1.7	1.9	諸 雑 費 率	%	16	16	
機 械 名	規 格																																																																		
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 25 t 吊																																																																		
名 称	単 位	型 枠 材 1 枚 当 り 質 量																																																																	
		残 存 型 枠 60kg 以 下	残 存 化 粧 型 枠 110kg 以 下																																																																
土 木 一 般 世 話 役 人	人	1.7	2.0																																																																
型 枠 工	人	3.3	3.4																																																																
普 通 作 業 員	人	3.5	3.6																																																																
ラフテレーンクレーン運転	日	1.1	1.2																																																																
諸 雑 費 率	%	13	13																																																																
機 械 名	規 格																																																																		
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25 t 吊																																																																		
名 称	単 位	型 枠 材 1 枚 当 り 質 量																																																																	
		残 存 型 枠 60kg 以 下	残 存 化 粧 型 枠 110kg 以 下																																																																
土 木 一 般 世 話 役 人	人	2.0	2.1																																																																
型 枠 工	人	4.8	4.8																																																																
普 通 作 業 員	人	3.3	3.7																																																																
溶 接 工	人	2.3	2.5																																																																
ラフテレーンクレーン運転	日	1.7	1.9																																																																
諸 雑 費 率	%	16	16																																																																

土木工事標準歩掛の改定
残存型枠工

工種名	現 行	改 定	摘 要									
残存型 枠工		<p>4-2. 残存型枠、残存化粧型枠の使用数量 残存型枠、残存化粧型枠の使用数量は、次式による。</p> <p>使用数量 (㎡) = 設計数量 (㎡) × (1 + K) ……式4.1</p> <p>K : ロス率</p> <p>表4.2 ロス率 (K)</p> <table border="1" data-bbox="1317 288 1720 360"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>残 存 型 枠</th> <th>残 存 化 粧 型 枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>60kg 以 下</td> <td>110kg 以 下</td> </tr> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td colspan="2">6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3. 天端の手摺及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去の歩掛</p> <p>1) 適用範囲 基面地盤より高さ2m以上に手摺やキャットウォークを設置する場合に適用する。</p> <p>(注) 足場を複数段設置する場合は、各段の合計延長を計上する。 図4-1 手摺、キャットウォークの施工長さ</p>	材 料 名	残 存 型 枠	残 存 化 粧 型 枠		60kg 以 下	110kg 以 下	ロ ス 率	6%		
材 料 名	残 存 型 枠	残 存 化 粧 型 枠										
	60kg 以 下	110kg 以 下										
ロ ス 率	6%											

土木工事標準歩掛の改定
残存型枠工

工種名	現 行	改 定	摘 要																											
残存型 枠工		<p>2) 施工歩掛</p> <p>天端の手摺及び足場（キャットウォーク）の設置・撤去にかかる施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.3 天端の手摺の設置・撤去歩掛 （100m当り）</p> <table border="1" data-bbox="1319 229 1767 323"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>手 摺</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>#</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、手摺、単管パイプ、クランプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>表4.4 足場（キャットウォーク）の設置・撤去歩掛 （100m当り）</p> <table border="1" data-bbox="1319 419 1767 531"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>足 場（キャットウォーク）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>#</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>#</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、インパクトレンチ、手摺、単管パイプ、クランプ、斜面用足場ブラケット、足場板、取付ボルト、取付ボルト穴の埋戻し用モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	手 摺	土 木 一 般 世 話 役	人	1.3	と び 工	#	3.4	諸 雑 費 率	%	8	名 称	単 位	足 場（キャットウォーク）	土 木 一 般 世 話 役	人	2.7	と び 工	#	5.8	普 通 作 業 員	#	5.4	諸 雑 費 率	%	23	
名 称	単 位	手 摺																												
土 木 一 般 世 話 役	人	1.3																												
と び 工	#	3.4																												
諸 雑 費 率	%	8																												
名 称	単 位	足 場（キャットウォーク）																												
土 木 一 般 世 話 役	人	2.7																												
と び 工	#	5.8																												
普 通 作 業 員	#	5.4																												
諸 雑 費 率	%	23																												

土木工事標準歩掛の改定
残存型枠工

工種名	現 行	改 定	摘 要																																																																																															
残存型 枠工	5. 単 価 表 (1) 残存型枠及び残存化粧型枠100㎡当り単価表	5. 単 価 表 (1) 残存型枠及び残存化粧型枠100㎡当り単価表																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>型 枠 材</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>100</td> <td>組立部材含む</td> </tr> <tr> <td>水 抜 き パ イ プ</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1	型 枠 工		㎡		〃	普 通 作 業 員		人		〃	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊	日		表4.1 機械賃料	型 枠 材		㎡	100	組立部材含む	水 抜 き パ イ プ		m		必要に応じ計上	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>型 枠 材</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>式4.1, 表4.2 組立部材含む</td> </tr> <tr> <td>水 抜 き パ イ プ</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1	型 枠 工		㎡		〃	普 通 作 業 員		人		〃	溶 接 工		人		〃	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表4.1 機械賃料	型 枠 材		㎡		式4.1, 表4.2 組立部材含む	水 抜 き パ イ プ		m		必要に応じ計上	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1																																																																																													
	型 枠 工		㎡		〃																																																																																													
	普 通 作 業 員		人		〃																																																																																													
	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊	日		表4.1 機械賃料																																																																																													
	型 枠 材		㎡	100	組立部材含む																																																																																													
	水 抜 き パ イ プ		m		必要に応じ計上																																																																																													
	諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																																													
計																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																														
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1																																																																																														
型 枠 工		㎡		〃																																																																																														
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																														
溶 接 工		人		〃																																																																																														
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表4.1 機械賃料																																																																																														
型 枠 材		㎡		式4.1, 表4.2 組立部材含む																																																																																														
水 抜 き パ イ プ		m		必要に応じ計上																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																																														
計																																																																																																		
	(2) 天端の手摺の設置・撤去100㎡当り単価表																																																																																																	
	(3) 足場(キャットウォーク)の設置・撤去100㎡当り単価表																																																																																																	